

何年何月何日	何被害ノ爲支出	鼠	50000	250000
何年何月何日	何何ニヨリ購入	同	100000	350000

預金ノ部

年月日	摘要	預入高	引出高	預金現在高
何年何月何日	出	100000	500000	1000000
何年何月何日	公債證券購入ノ爲引	500000	500000	500000

某銀行預金

年月日	摘要	預入高	引出高	預金現在高
何年何月何日	〃	〃	〃	〃
何年何月何日	〃	〃	〃	〃

貸金ノ部

貸付 戻入年月日	金額	擔保物件	期限	利率	事由	山
何年何月何日	50000	何公債證券	自何年何月	〃	何程宛	何年何月
何年何月何日	〃	額面何圓	至何年何月	〃	納入ノ約	〃

何國何郡(區)何町(村)

借主

何

某

貸付 戻入年月日	金額	擔保物件	期限	利率	事由	山
何年何月何日	100000	何公債證券	自何年何月	〃	何程宛	何年何月
何年何月何日	50000	額面何圓	至何年何月	〃	納入ノ約	〃
何年何月何日	50000	元金内入	〃	〃	〃	〃
何年何月何日	50000	元金内入	〃	〃	〃	〃

有價證券ノ部

區分	枚數	券面金額	年	月	日	及	事	山
何公債證券	5	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
何公債證券	5	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
何銀行株券	10	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
計	15	1500000	〃	〃	〃	〃	〃	〃
何公債證券	2	200000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
何銀行株券	5	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
現計	10	1000000	〃	〃	〃	〃	〃	〃
何公債證券	5	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
何銀行株券	5	500000	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日	何年何月何日
計	10	1000000	〃	〃	〃	〃	〃	〃

(第六號樣式)

備品送帳

何町(村)役場

一種目毎(假令ハ上等椅子、苧椅子)ニ區別シテ記載スヘシ

年月日	摘要	受	拂	残
何年何月何日	現在高	〃	〃	〃
何年何月何日	何某ヨリ買入	〃	〃	〃
何年何月何日	何何賣却	〃	〃	〃

(第七號樣式)

明治何年度

消耗品受拂簿

何町(村)役場

一 記帳方ハ備品送帳ニ同シ

年月日	摘要	受	拂	残
何年何月何日	前年度繰越高	〃	〃	〃
何年何月何日	〃	〃	〃	〃
何年何月何日	〃	〃	〃	〃

(第八號樣式)

明治何年度

收入命令簿

何町(村)役場

凡例

一 總テ收入ヲ爲ストキハ本簿ニ記入シ其ノ甲チ町村長ノ控トシテ之ヲ裁シ乙チ收入役ニ交付スヘシ

二 命令ノ様式ハ其ノ一二ヲ示スニ止マルニヨリ其ノ他諸收入モ之ニ準據シ調整スヘシ

三 用紙寸法適宜

町(村)長 助役 第何科 主任

甲 収入命令

明治何年月何日 納入 何 某

收第一號 財産ヨリ生スル 項 公債證書利子

明治何年度 款 収入

一金何圓 但何公債證書額面何千圓ニ對スル上半期利子

乙 収入命令

明治何年月何日 納入 何 某

收第一號 財産ヨリ生スル 項 公債證書利子

明治何年度 款 収入

一金何圓 但何公債證書額面何千圓ニ對スル上半期利子

右收入スヘシ

年月日 町(村)長氏名 印

収入役何某殿

町(村)長 助役 第何科 主任

甲 収入命令

明治何年月何日 納入 何 某外何百名

收第二號 町(村)税 項 何 割

明治何年度 款 區 稅

一金何圓 但町(村)稅何割第一期徵收原簿ノ通

乙 収入命令

明治何年月何日 納入 何 某外何百名

收第二號 町(村)税 項 何 割

明治何年度 款 區 稅

一金何圓 但町(村)稅何割第一期徵收原簿ノ通

右收入スヘシ

年月日 町(村)長氏名 印

収入役何某殿

(第九號様式)

明治何年度 支出命令 何町(村)役場

凡例 總テ支出ヲ爲ストキハ本簿ニ記入シ其ノ甲チ町村長ノ控トシテ之ヲ分裁シ乙チ收入役ニ交付スヘシ 命令ノ格式ハ其ノ一二ヲ示スニ止マルニヨリ其ノ他モ之ニ準據シ調製スヘシ 用紙寸法適宜

町(村)長 助役 第何科 主任

甲 支出命令

明治何年月何日 受取人 何某外何人

支第一號 役場費 項 雜給 目 報酬

明治何年度 款

一金何圓 但何年月分名譽職報酬別紙仕譯書ノ通

乙 支出命令

明治何年月何日 受取人 何某外何人

支第二號 會議費 項 需用費 目 消耗費

明治何年度 款

一金何圓 但何年月分名譽職報酬別紙仕譯書ノ通

乙 一金何圓  
但廣外何品買入代金別紙請求書何通ノ通  
右支出スヘシ

年月日

町(村)長氏名

収入役何某殿

印

明治何年度

町(村)税徴収原簿

何町(村)役場

凡例

一 本簿ハ款項ニ區分シ且ツ徴收期毎ニ調製スヘシ但項ヲ區分セサルモ妨ケナシト雖モ此場合ニ於テハ各項稅目金額ヲ區分記載スヘシ

一 夫役現品其ノ他收入金ハ本式ニ準シ調製スヘシ

一 督促令狀ヲ發スルトキ其ノ番號ハ徵稅令書ノ番號ヲ用ユルモノトス督促手數料ハ調定金ノ欄ニ外書スヘシ但其一欄ヲ設クルモ妨ケナシ

一 納期日及督促狀發布日ハ表紙ニ記載スヘシ

町(村)長印	町(村)印	徵稅令書番號	納入住所氏名	領收日	扶損金額	事出
		調定金額	大字何	日月		
			大字何	日月		
			大字何	日月		
			大字何	日月		
			大字何	日月		

(第十一號様式ノ一)

町(村)長印

徵稅令書

徵稅金當收印

期原

第一號

明治何年度 町(村)

納主 何 業

何 割

收入役印

何町(村)長氏名

印

税金領收セシトキノ例

右明治何年何月何日限收入役へ納付スヘシ

年月日

何町(村)收入役氏名

印

第一號

明治何年度 町(村)

税 第何期(又ハ前半期)

何 割

右領收候也

年月日

何町(村)收入役氏名

印

凡例

一 用紙寸法適宜

一 本式ハ現品徵收令書ニ準用ス



第三類 區町村 財務

(四)項	森林主副產物賣拂代	町村有某所森林樹木賣拂代何拾何圓某所下草賣拂代何拾何圓
(五)項	、	、
(二)款	使用料及手數料	堤塘使用料何圓何拾何圓何拾何圓
(一)項	使 用 料	春促手數料何圓何拾何圓何拾何圓何拾何圓、
(三)款	雜 收 入	堤塘使用料何圓何拾何圓何拾何圓
(一)項	不 用 品 拂 代	反古賣拂代何圓何拾何圓何拾何圓何拾何圓何拾何圓何拾何圓
(二)項	病 院 收 入	某病院醫價何百何拾何圓何拾何圓、
(三)項	小 學 校 授 業 料	某學校生徒何百人ノ内一箇月何拾錢ノ者何拾人何拾錢ノ者何拾人何拾錢ノ者何拾人、
(四)項	雜 入	過意金何圓何拾何圓何拾何圓何拾何圓
(五)項	行 旅 病 死 人 費 用 辦 償 金	
(四)款	前 年 度 繰 越 金	明治何年度ヨリ繰越スヘキ見込金額
(一)項	前 年 度 繰 越 金	
(五)款	國 庫 補 助 金	某學校補助金何拾何圓某學校何百何拾圓、
(一)項	教 育 費 補 助	某病院補助金何拾何圓、
(二)項	病 院 補 助	
(六)款	地 方 費 補 助 金	
(一)項	町 村 費 補 助	
(二)項	土 木 費 補 助	

第三類 區町村 財務

(七)款	國 庫 交 付 金	本年度國稅徵收豫算高金何程ノ百分ノ四
(一)項	國 庫 交 付 金	
(八)款	地 方 稅 交 付 金	本年度地方稅徵收豫算高金何程ノ百分ノ四
(一)項	地 方 稅 交 付 金	
(九)款	寄 付 金	某學校新築費ヘ寄付金何百何拾圓某學校教員給料ヘ寄付何拾何圓
(一)項	教 育 費 寄 付	某勤業會ヘ寄付何圓某勤業會ヘ寄付何圓
(二)項	勤 業 費 寄 付	
(三)項	、	
(十)款	町 (村) 稅	
(一)項	地 價 稅	地價金何程此地租豫算高金何程地租一圓ニ付何拾錢
(二)項	所 得 稅	所得稅金何程本稅壹圓ニ付金何程
(三)項	國 稅 營 業 稅 割	營業稅金何程本稅壹圓ニ付金何程
(四)項	戶 別 割	地方稅戶數割金何程本稅壹圓ニ付金何程
(五)項	地 方 稅 營 業 稅 割	地方稅營業稅金何程本稅壹圓ニ付金何程
(六)項	地 方 稅 雜 種 稅 割	地方稅雜種稅金何程本稅壹圓ニ付金何程
(七)項	水 產 稅 割	地方稅水產稅金何程本稅壹圓ニ付金何程
(八)項	別 割 附 加	地方稅別割金何程本稅壹圓ニ付金何程
(九)項	、	、

第三類 區町村 財務

三三二

第三類 區町村 財務		第(十二)款 夫		役	
合		計		役	
經常部		目		附	
科	目	前年度	本年度	記	
第(一)款 役場	第(一)項 給料			月俸何圓	
	(一)目 收入役給料			月俸平均何圓何人分	
	(二)目 附屬員給料			日給何拾錢何日分	
	(三)目 臨時雇給料				
第(二)項 雜給	(一)目 旅費			收入役何圓附屬員何圓	
	(二)目 實費			部長何圓何委員何圓、	
	(三)目 退隱料			、	
	(四)目 使丁給			月給何圓何人	
	(五)目 、			日給何拾錢何人	
第(三)項 需用費	(一)目 備品費			椅子何脚修繕費一何拾錢簿記帳何冊新調費一冊何圓何拾錢、	

直接町稅何種町稅一圓二付人夫何人所要人夫何百人一人二付換算金何拾錢

第三類 區町村 財務

三三三

第三類 區町村 財務		第(一)項 雜給		費	
合		計		費	
經常部		目		附	
科	目	前年度	本年度	記	
第(一)款 役場	第(一)項 雜給			議員何人一人一日金何拾錢、	
	(一)目 實費			議員何人一人一日金何拾錢、	
	(二)目 備品費			車何脚新調(修繕)一何拾錢椅子新調一何拾錢、	
	(三)目 消耗費			筆墨紙何圓茶代何拾錢炭代何拾錢何拾錢、	
	(四)目 印刷費			議案印刷費何圓何拾錢決算報告書何拾錢何拾錢、	
第(二)款 議會	(一)目 增修繕費			屋根何坪修繕一坪何圓、	
	(二)目 增修繕費			柵何間修繕一間何圓、	
第(三)項 雜給	(一)目 雜費			借家料何圓何地料何圓何何圓	
	(二)目 印刷費			筆墨紙文具代何圓薪炭油代何圓、	
	(三)目 通信運搬費			書記附屬員宿直料何圓同夜勤料何圓使丁宿直料何圓、	
	(四)目 印刷費			通信費何圓運搬費何圓	
	(五)目 、			諸送類印刷代何圓徵稅令書印刷代何圓何何圓	
	(六)目 、				
	(七)目 雜費				
第(四)款 修繕費	(一)目 役場修繕費				
	(二)目 增修繕費				
第(五)項 雜給	(一)目 雜給				
	(二)目 實費				
	(三)目 備品費				
	(四)目 消耗費				
	(五)目 印刷費				
	(六)目 、				
	(七)目 雜費				
第(六)款 道路橋梁費	(一)目 道路橋梁費				

第三類 區町村 財務

(一) 道路修繕費	某所ヨリ某所迄砂利敷何坪何圓何拾錢某所ヨリ某所迄暗渠何箇所修繕費一箇所何圓何拾錢、、、
(二) 橋梁修繕費	某橋修繕費何拾圓某所ヨリ某所迄一間以下橋梁何箇所修繕費一箇所何圓何拾錢、、、
(三) 堤岸防費	某堤防修繕費何拾圓、、、
(四) 河川改修費	某川某所河川改修費何圓、、、
(五) 河川、、、	、、、
第四款 教育費	
(一) 項 俸給	某教育費 何百何拾圓(學校一箇所ノトキ) 何百何拾圓(此附記ヲ要ス)
(二) 項 導師俸給	某學校訓導月俸何圓何人何圓何人何圓月、
(三) 項 准導師俸給	某學校准導師月俸何圓何人何圓月分、、、
(四) 項 旅費	某學校長旅費何圓何圓何圓准導師旅費何圓某學校長旅費何圓、、、
(五) 項 雇人料	某學校雇丁給料一箇月何圓何圓月分若ハ日給何拾錢何人何日分何何人夫何人一人何拾何錢
(六) 項 慰勞費	某學校教員職務勸慰勞金何圓某學校、、、
(七) 項 與金	某學校生徒賞與金何圓一人何拾何錢何人分、、、
(八) 項 教員恩給基金	某學校訓導給料年額何百何拾圓、、、百分ノ一

第三類 區町村 財務

(一) 項 備用品費	某學校椅子何脚修繕費一脚何拾錢何書格買入代何圓
(二) 項 消耗費	某學校筆紙代何圓茶代何圓炭代何圓、、、
(三) 項 通信運搬費	某學校宿直非常料職員一夜何錢使丁何錢一箇年分夜勤料一夜何錢何日分、、、
(四) 項 雜種	某學校郵便電信料何圓運送費何圓
(五) 項 修繕費	某學校借地料何圓、、、
(六) 項 校舍修繕費	某學校屋根何坪修繕一坪何圓何拾錢、、、
(七) 項 塙塙修繕費	某學校塙塙何圓何圓何拾錢、、、
(八) 項 教育補助費	私立某學校補助金何拾何圓某學校何拾何圓
(九) 項 衛生費	
(一〇) 項 痘症費	春秋手當金何拾圓何人何拾圓何人、、、
(一一) 項 藥品費	何藥何程買入代何圓一箇何錢、、、
(一二) 項 雜費	何機械何箇買入代何圓一箇何拾錢、、、
(一三) 項 傳染病豫防費	何種所借家料何圓一日何拾錢何日分、、、
(一四) 項 醫師手当當	醫師手当金何拾圓何人何拾圓何人、、、
(一五) 項 藥品及器械費	何藥何程買入代何圓一箇何錢、、、

第三類 區町村 財務

第(七)款 衛生補助費	(一)目 衛生組合費補助					助料何價代金何圓何拾錢一飯何錢、、、、
第(八)款 病院	(一)目 院長俸給					某病院院長 何百何拾何圓何拾錢(病院一箇所ノトキ)
	(二)目 醫員俸給					何百何拾何圓何拾錢(ハ此附記ヲ要セス)
第(九)款 旅	(一)目 旅費					某病院長年俸何百圓若ハ月俸何拾圓十二箇月分
第(十)款 雜	(一)目 雜費					某病院醫員月俸何拾圓何人何拾圓何人十二箇月分、、、、
第(十一)款 雇	(一)目 雇料					某病院醫員招聘旅費何圓院長旅費何圓醫員旅費何圓
第(十二)款 勞	(一)目 勞費					某病院使丁給料一箇月何圓何人何箇月分何日給何錢何人何日分何錢
第(十三)款 需	(一)目 藥品及器械費					夫何人一人何拾錢何人夫何人一人何拾錢、、、、
	(二)目 消耗費					某病院醫員職務勸慰勞金何拾圓、、、、
第(十四)款 用	(一)目 用費					、、、
第(十五)款 通	(一)目 通信運搬費					某病院何圓何價買入代何圓一箇何拾錢、、、、何器械何價買入代何拾圓一箇何圓、、、、
第(十六)款 雜	(一)目 雜料					某病院筆紙墨代何拾圓及代何拾圓白木綿何圓、、、、
	(二)目 雜費					某病院醫員何名宿直一夜何錢一箇年分使丁宿直一夜何錢一箇年分
	(三)目 雜費					某病院郵便電信料何圓運搬費何圓
	(四)目 雜費					某病院何何費何圓、、、、

第三類 區町村 財務

第(四)款 修	(一)目 院舍修繕費					某病院何圓何價修繕一坪何圓何拾錢病院數何何所算一坪何圓、、、、
第(五)款 警	(一)目 警備費					、、、
第(六)款 火	(一)目 消防夫手當					出火一度何圓若クハ年手當何圓
第(七)款 器	(一)目 器械費					何器械修繕費何圓、、、、
第(八)款 被	(一)目 被服費					、、、
第(九)款 器	(一)目 器械置場費					器械置場修繕費何圓何拾錢
第(十)款 水	(一)目 水防夫手當					出水一度何圓、、、、
第(十一)款 器	(一)目 器具費					何何箇何拾錢、、、、
第(十二)款 夜	(一)目 夜警費					番所費修繕費何圓、、、、
第(十三)款 番	(一)目 番所費					炭代何圓油代何圓、、、、
第(十四)款 消	(一)目 消耗費					、、、
第(十五)款 業	(一)目 業費					、、、
第(十六)款 項	(一)目 項、					、、、
第(十七)款 賭	(一)目 賭稅及瓦撥					、、、
第(十八)款 諸	(一)目 諸稅					、、、





明治何年何月何日提出

某町(村)長 氏名 印

様式第二號

自明治何年度某町村某費繰上額年額及支出方法

一 某費ハ明治何年度ヨリ同何年度迄繰上額トシテ之ヲ支出スルモノトス其金額左ノ如シ

一金 何程 某費總額

金何程 明治何年度支出額

右云云(議決ヲ要スル事業ノ必要及繰上額支出ト爲シタル理由ノ大要ヲ記載ス)

明治何年何月何日提出

某町(村)長 氏名 印

〇明治三十五年四月一日訓令第四十一號(支廳二級町村役場規程)

北海道二級町村會計事務規程左ノ通定ス但シ様式ハ別ニ配付ス

二級町村會計事務規程

第一條 町村ニ於ケル會計事務整理ノタメ左ノ帳簿ヲ設備スヘシ

一 現金受拂簿 第一號様式

一 歳入内譯簿 第二號様式

一 歳入歳出外現金受拂簿 第三號様式

一 基本財産原簿 第四號様式

一 備品受拂簿 第五號様式

一 消耗品受拂簿 第六號様式

一 町村ニ於テ特別會計ヲ設ケタルトキハ前項ニ依リ別ニ帳簿ヲ設備スヘシ

第二條 前條ノ帳簿ハ歳入歳出外現金受拂簿基本財産原簿及備品受拂簿除ク外毎年度之ヲ調製スヘシ

第三條 收入及支出ノ命令ハ第八號様式第九號様式ニ依ルヘシ

第四條 町村長ハ町村稅其他ノ收入ヲ測定シ徵收原簿ヲ調製スヘシ但シ町村稅徵收原簿ハ第十號様式ニ依ルモノトス

(第一號様式)

明治何年度

現金 受 拂 簿

何町(村)役場

更調製スルコトヲ得  
本號以下ノ様式ニシテ洋式ニ係ルモノハ和式ニ變  
凡 例

年月日	摘要	受	拂	残
明治 4 年 1 月 4	貸地料何某外何名納	1000 0		1000 0
4 月 1	四月一日臨時會開會議員 辨當料		150 0	850 0
7 月 1	第一期戸別割何某外何名納	3000 0		3085 0
7 月 4	四月分津給校長何某外何名渡		150 0	1585 0
4 月 2	第一期戸別割何某外何名納	3100 0	150 0	3085 0
7 月 1	何何代何某渡	1500 0		2985 0
7 月 4			100 0	2950 0
	計	1500 0	130 0	
	通計	4600 0	164 0	

第五條 歳入中一定ノ納期アルモノハ期限ノ十日前臨時ニモノハ其ノ時時徵稅令書若ハ徵收令書ヲ發スヘシ但シ町村稅及夫役現品ノ令書ハ第十一號様式ニ依ルモノトス

第六條 小學校授業料病院ノ收入其他特別ノ事由アルモノハ北海道廳支廳長ノ許可ヲ受ケ前二條ノ例ニ依ラサルコトヲ得

第七條 徵稅令書若ハ徵收令書ヲ發シタルトキハ第四條ノ徵收原簿ハ收入命令書ヲ添ヘ收入役ニ交付スヘシ

第八條 各納入口ヨリ徵稅令書若ハ徵收令書ニ現金ヲ添ヘ納入スルトキハ收入役ノ受領シ證印ヲ捺シテ之ヲ分發シテ領收證ハ納入ニ交付スヘシ但シ收入役ハ一日毎ニ令書ヲ取纏メ集計付シ町村長ニ提出スヘシ

第九條 收入役ハ町村稅其他ノ徵稅收入或ハ夫役現品ノ納期ヲ過ぎ完納ニ至ラサルモノハ其金額氏名ヲ調査シ町村長ニ提出スヘシ

第十條 出納ニ關スル證憑書ニ記載スル員數ノ文字中一二三ノ空位ニ拾ケ用フヘシ

第十一條 帳簿其他證憑書中員數ニ係ルモノハ改竄抹スヘカラス若記帳ニ誤リアルトキハ訂正シ原簿ニ朱線ニ條ヲ施シ之ヲ檢印スヘシ又誤日ニ至リ記帳ノ員數ニ誤謬アルク發見シタルトキハ其際事由ヲ詳記シ之ヲ訂正スヘシ誤謬ノ當日ニ過リ正誤スルヲ得ス

第十二條 歳入歳出外現金受拂簿ハ町村長ニ於テ告知書ヲ作り受取人ニ交付シ收入役ヲシテ之ヲ徵收セシムヘシ

第十三條 領收證ハ簿算各項ニ區別シ表紙ニ所屬年度及其ノ款項ヲ記載シ編輯スヘシ但シ一ノ證書ニシテ二項目以上ニ涉ルモノハ其費目全員事由ヲ朱書シタル寫ヲ一方ニ添付シ本簿書餘白ニ其事由ヲ附記スヘシ

第十四條 例月檢査ヲ行ヒタルトキハ現金受拂簿ノ末尾ニ何年何月何日例月ノ檢査ヲ行ヒタルトキハ前項ノ例ニ依リ何年何月何日臨時檢査ヲ了スル時檢査シ立會人ト共ニ之ヲ檢印スヘシ

第十五條 本規程ノ外村長ハ處務便宜ノ爲ニ別ニ設ケルコトヲ得

第三類 區町村 財務

第一款 財産より生スル収入				
年月日	摘要	測定額	収入額	残額

第一款 財産より生スル収入 第一項 賃地料				
年月日	摘要	測定額	収入額	残額
明治年				
4 1	何某外何名分測定	400.00 0		400.00 0
5 1	何某外何名分		15.00 0	385.00 0

三三三

(第二號様式)

明治何年度

繰入内要額

何町(村)役場

第三類 區町村 財務

収入總括				
年月日	摘要	測定額	収入額	残額

(第三號様式)

明治何年度

歳出内訳簿

何町(村)役場

支出總括

年月日	摘要	豫算額	支出額	残額

第二款 使用料及手数料

年月日	摘要	調定額	収入額	残額

第二款 川使料及手数料 第一項 使用料

年月日	摘要	調定額	収入額	残額

第三類 區町村 財務

第一款 役場費 第一項 給料 第一目 收入役給料				
年月日	摘要	豫算額	支出額	残額
明治41年	何年何月何日決議	80000 0		80000 0
"21	四月分年俸月額		6666 6	73333 4
第二款 會議費				
年月日	摘要	豫算額	支出額	残額

四七

第三類 區町村 財務

第一款 役場費				
年月日	摘要	豫算額	支出額	残額
第一款 役場費 第一項 給料				
年月日	摘要	豫算額	支出額	残額

四六

(第四號様式)

淺入淺出外現金受拂簿

何町(村)役場

年月日	摘要	受	拂	残
明治41年	契約保證金何某分	500.0		500.0
" 0	" 返付		500.0	0

第二款 會議費 第一項 雜給

年月日	摘要	豫算額	支出額	残額

第二款 會議費 第一項 雜給 第一目 職員旅費

年月日	摘要	豫算額	支出額	残額







(第九號様式)

明治何年度		支出命令簿	
町(村)役場		何町(村)役場	
<p>凡例</p> <p>一 總テ支出チ爲ストキハ本簿ニ記載シ其ノ甲ヲ町村長ノ控トシテ之ヲ分裁シ乙ヲ收入役ニ交付スヘシ          命令ノ様式ハ其ノ二ヲ示スニ止マルニヨリ其ノ他モ之ニ準據シ調製スヘシ          三 用紙寸法適宜          町(村)長印 第何科印 主任印</p>			
甲	支出命令	受取人	何某何人
明治何年月何日	第一號	何某何人	
明治何年度	款役場費	項雜	給一日辨費
一金何圓			
但何年月分名譽職費費別紙住證書ノ通			

明治何年度		支出命令簿	
町(村)役場		何町(村)役場	
<p>凡例</p> <p>一 總テ支出チ爲ストキハ本簿ニ記載シ其ノ甲ヲ町村長ノ控トシテ之ヲ分裁シ乙ヲ收入役ニ交付スヘシ          命令ノ様式ハ其ノ二ヲ示スニ止マルニヨリ其ノ他モ之ニ準據シ調製スヘシ          三 用紙寸法適宜          町(村)長印 第何科印 主任印</p>			
甲	支出命令	受取人	何某何人
明治何年月何日	第一號	何某何人	
明治何年度	款	會議費	項
一金何圓			
但何年月分名譽職費費別紙住證書ノ通			

其二

支出命令	町(村)長印	第何科印	主任印
支 第二號	受取人	何處	何某何人
明治何年度	款	會議費	項
一金何圓			
但何年月分名譽職費費別紙住證書ノ通			
右支出スヘシ	年月日	町(村)長氏名	印
收入役何某殿			

(第十號様式)

凡例

一 本簿ハ其ノ一例ヲ示タルモノナリ其ノ他ノ收入モ之ニ準スヘシ

第三類 區町村 財務

番號	税目	第一期	第二期	事由
一	地價税	金	金	地價税
二	所得税	金	金	所得税
三	戸別課税	金	金	戸別課税
四	地方税	金	金	地方税
五	地方税	金	金	地方税
六	水産税	金	金	水産税
七	反別割附加金	金	金	反別割附加金
八	計金	計金	計金	計金
九	領收	年月日	年月日	領收

(第十一號様式ノ二)

町村  
長印

徴收原  
當收金  
徴税割

徴税令書 (其の一) 徴收證書

第一	納主	何	某
明治何年度	町(村)	税	第何期(又ハ前年期)
計金	何	何	何
一金	何	何	何
一金	何	何	何
何月何日收入済	収入役印	税金徴收セシトキノ例	
右明治何年何月何日限當收入役へ納付スヘシ	何町(村)長氏名		印
年 月 日			
第一	號	役	收入
明治何年度	町(村)	税	第何期(又ハ前年期)
計金	何	何	何
一金	何	何	何
一金	何	何	何
右領收候也	何町(村)收入役氏名		印
年 月 日			
何	某	職	

凡例  
用紙寸法適正  
木式ハ現品徴收令書ニモ準用ス

(第十一號様式ノ二)

町村  
長印

徴收原  
當收金  
徴税割

徴收令書 (其の二) 徴收證書

第一	納主	何	某
明治何年度	町(村)	税	第何期(又ハ前年期)
計金	何	何	何
一金	何	何	何
一金	何	何	何
何月何日收入済	収入役印	税金徴收セシトキノ例	
右使役別ノ通常日午前何時此令書携帶某工場へ差出スヘシ	何町(村)長氏名		印
若代料納メ度者ハ三日以前ニ當收入役へ納付スヘシ			
年 月 日			
第一	號	役	收入
明治何年度	町(村)	工	事
一人夫何人	何町(村)收入役氏名		印
(未)此代料金何四郎收入役檢印			
右使役相濟候也			
年 月 日			
何	某	職	

凡例  
一 代料ヲ納メタルトキハ收入役ニ於テ朱記ノ如ク書加ヘ使役相濟トシテ領收ト改メ收入役ノ檢印ヲ捺スヘシ  
一 使役數目ニ於テ工率主任ニ於テ其ノ人員ニ日檢印シ置キ道々收入役ニ交付シ收入役ハ之ニ依リ使役済ノ證ヲ本人ニ交付スヘシ  
一 急迫ノ場合ニ際シテ代料ヲ許ササルトキハ若以下ノ文字ヲ削除スヘシ

第三類 區町村 財務

○明治三十三年七月十二日告示第二百七十號  
 區ニ於テ特ニ徵收スルモノノ内左ノ諸稅ヲ直接區稅トス  
 札幌區 耕地割 宅地割 戸別割  
 函館區 建築物 戸別割  
 小樽區 建築物 戸別割  
 (第一號)

北海道某區明治何年度歲入一覽表

費 途	附 加		稅		特 別 稅		其他ノ 計
	地價割	戸別割	營業割	何 何	段別割	何 何	
本區經常費							
本區臨時費							
本部臨時費							
合計							

(甲) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (乙) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (丙) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (丁) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (戊) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (己) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (庚) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (辛) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (壬) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (癸) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (甲) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (乙) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (丙) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (丁) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (戊) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (己) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (庚) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (辛) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (壬) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス  
 (癸) 地租金 若干 戸數何戸平均 本區金 若干 以下地價割 例ニ準シテ附 記ス

○明治三十三年十二月十一日訓令第七百二十二號(區役所宛)  
 區ノ財政上特別稅ノ新設變更若ハ直接國稅二分一ヲ超過スル附加稅又ハ  
 間接國稅ノ附加稅ヲ賦課スル等ノ必要アリテ之カ許可ヲ請フトハ左記ノ  
 書類ヲ添附遞送スヘシ

備考  
 一 豫算ノ議決ニ向以上ニ涉リタルトキハ今同議決ニ係ル分ヲ照會シ從前議決ニ係ル分ヲ差引スヘシ  
 一 其ノ他ノ收入ノ額ニハ課稅外一切ノ收入ヲ合算計入スヘシ  
 一 地價割ノ附記ハ第一回議決ノトキハ甲號式ニ依リ第二回以後議決ノトキハ乙號式ニ依ルヘシ但シ從前ノ議決ニ向以上ニ涉  
 リタル場合ニ於テ前後地租額ナ異ニスルトキハ乙號式申從前議決ノ分ハ各別ニ列記スヘシ  
 一 區内ノ各部賦課ノ稅率ヲ異ニシ又ハ各費目ニ付負擔ノ區域ヲ異ニスルトキハ本表ニ依リテ其ノ區域別ニ列記スヘシ

北海道某區明治何年度歲出表

科 目	金額	備 考
區役所費	〇、〇〇〇	給料何程 雜給何程 雜費何程
會議費	〇、〇〇〇	雜給何程 需用費何程 (以下此例ニ依リ)
土木費		
教育費		
教育補助費		
衛生費		
衛生補助費		
病院費		
警備費		
勸業費		
諸稅		
基本財産造成費		
雜支出		
合計		

備考  
 臨時費ハ本表ノ例ニ依リ別ニ列記ス  
 ○明治三十四年六月二十二日訓令第五百四十二號(區役所宛)  
 直接北海道地方稅二分一ヲ超過スル附加稅又ハ間接北海道地方稅ニ附加  
 稅ヲ賦課スル必要アリテ之レカ許可ヲ請フ場合ハ明治三十二年(十二月)訓  
 令第七百二十二號ニ準據スヘシ  
 ○明治三十四年五月十四日訓令第三百六十九號(區役所宛)  
 北海道訓令第九十二條ニ依リ區起債ノ件ハ條文ノ示ス如ク容易ニ爲スヘキ  
 事ニアラズト雖若シ財政上不得已必要アリテ許可申請ノ場合ハ調査ノ後照  
 トシテ區會ノ議決書及左記ノ事項取調添附セラルヘシ  
 右訓令ス

記  
 一 既往五箇年當該區町村一般經濟事項ノ變遷ニ關スル統計表  
 一 區町村債及利子償還ノ財源  
 一 但シ將來收入ノ生スヘキ事業ノ爲メ區町村債ヲ起シ其收入ヲ以テ償  
 還ニ充テントスルトキハ償還期限ノ終リマテ毎年收入ノ年次見込表  
 一 添附スヘキハ勿論トス  
 一 區町村債元利償還ノ年次表(第一表)

第三類 區町村 財務

第三類 區町村 財務

- 一 當該年度歳入歳出豫算表
- 一 當該年度諸稅負擔一覽表(第二表)
- 一 既往三年(起償年度ノ前年度ヨリ起算ス)ニ於ケル各年度經常費支出額
- 一 基本財産ノ有無並ニ其價額豫算

(第一表)

負債償還年次表

年 度	償還元金	利子(割合)	計
同	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
同	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇
同	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇

備考

既ニ負債アルトキハ同年度ニ於テ償還ノ分各欄内ニ米ニテ別記ヲ要ス

(第二表)

諸稅負擔一覽表

稅 目	金 額	納稅者總數		總人口ニ對スル平均		總戶數ニ對スル平均	
		均一人當	均一人當	均一人當	均一人當		
直接國稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	
北海道地方稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	
區町村稅	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	〇、〇〇〇	

備考

總人口、總戶數及納稅者ノ總數(納稅者ノ總數ハ一人ニシテ直接國稅北海道地方稅區町村稅ヲ納ムルモノモ或ハ其内一稅又ハ二稅ノミヲ納ムルモノモ凡テ一人ニ算シタル總人員ヲ云フ)ヲ備考トシテ掲載スヘシ

北海道某町(村)明治何年度歳入一覽表 (第一號)

費 途	附 加		稅	特 別 稅		其他ノ 入	計
	地價割	戶別割		何 何	何 何		
本町(村)經常費							
本町(村)臨時費							
本町(村)臨時費							
同 臨時費							
合 計							

備考  
 豫算ノ議決ニ同以上ニ涉リタルトキハ合同議決ニ係ル分ヲ豫算シ從前議決ニ係ル分ヲ朱書スヘシ  
 其ノ他ノ收入ノ際ニハ課稅外一切ノ收入ヲ合計記入スヘシ  
 地價割ノ附記ハ第一回議決ノトキハ甲號書式ニ依リ第二回以後議決ノトキハ乙號書式ニ依ルヘシ但シ從前ノ議決ニ同以上ニ涉リタル場合ニ於テ前議決額ヲ異ニスルトキハ乙號書式ニ依リ第二回以後議決ノ分ハ各別ニ列記スヘシ  
 町(村)内ノ各部賦課ノ稅率ヲ異ニスルハ各別日ニ付負擔ノ區域ヲ異ニスルトキハ本表ニ依リ其ノ區域毎ニ列記スヘシ

第三類 區町村 財務

第三類 區町村 財務

(第二號)

北海道某町(村)明治何年度歳出入一覽表

科目	金額	摘要
町(村)役場費	〇〇〇〇	給料何程 雑給何程 調費何程 修繕費何程 需用費何程
會議費	〇〇〇〇	雜給何程 (以下此例ニ依ル)
土木費		
教育費		
教育補助費		
衛生費		
衛生補助費		
病院費		
警備費		
勸業費		
諸稅		
基本財産造成費		
雜支出		
豫備費		
合計		

臨時費ハ本表ノ例ニ依リ別ニ調製ヲ要ス  
 ○明治三十四年六月二十二日訓令第五百四十二號支應町村役場ニ級町村制未施行地ノ除ク(宛)

三六三

直接北海道地方稅二分ノ一ヲ納付スル附加稅又ハ間接北海道地方稅ニ附加稅ヲ賦課スル必要アリテ之レカ許可テ請フ場合ハ明治三十三年九月訓令第五百十三號ニ準據スヘシ  
 ○明治三十五年三月十八日訓令第二十一號(支應片長役務宛)  
 北海道二級町村制實施ニ際シ町村有財產其ノ他處分心得左ノ通定ム  
 第一條 二級町村制實施ニ付町村有財產其ノ他ノ處分ハ本規程ニ準據シ豫メ引續ク準備ヲナスヘシ  
 第二條 再町村ノ財產ハ之ヲ新町村ノ所有ニ屬セシムヘシ  
 第三條 一町村ノ一部ヲ新町村ニ屬スルトキハ其ノ財產ハ關係町村ノ協議ニヨリ評價ナシシ賠償ヲ與ヘテ一方ノ專有ニ歸セシメ若ハ其現物ヲ分割シテ其ノ所有ニ屬セシムヘシ  
 第四條 舊町村ト他町村ト共有ノ財產アルトキハ前條ノ例ニ準シ處分スヘシ  
 第五條 舊町村内一部ノ所有財產若ハ營造物等ハ此際新町村全體ノ所有ニ屬セシムヘシ  
 第六條 舊町村ノ負債ハ第二條乃至第四條ニ準シテ之ヲ處分スヘシ  
 第七條 舊町村ノ負債ニシテ新町村一部限リ營造物ノ建設維持ノ爲ニ起シタルモノハ此際之ヲ新町村ノ負擔ニ移スヘシ但シ其ノ償還ハ關係者ノミニ負擔セシムルカ若ハ其ノ一部限リ有シタル財產ノ收入ニ依ル等適宜ノ方法ヲ定ムヘシ  
 ○明治三十五年六月二十七日訓令第八十三號(支應二級町村役務宛)  
 一 町村規則許可申請書ハ左記第一號ノ文例ニ依リ其ノ規定ヲ要スル理由書ヲ添付スヘシ  
 一 町村財政上特別稅ノ新設變更若ハ直接ノ國稅及地方稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅又ハ間接ノ國稅及地方稅ノ附加稅ノ賦課スルノ必要アリテ之レカ許可テ請フトキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ  
 歲入一覽表  
 左記第二號表式  
 歲出二覽表  
 左記第三號表式  
 此歲入一覽表ハ特別稅若ハ直接ノ國稅地方稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅又ハ間接ノ國稅地方稅ノ附加稅ノ賦課スルノ必要アリテ之レカ許可テ請フトキハ左ノ書類ヲ添付スヘシ  
 特別稅若ハ直接ノ國稅地方稅二分ノ一ヲ超過スル附加稅又ハ間接ノ國稅

稅地方稅ノ附加稅賦課ニ關スル町村會議決書及其ノ理由書  
 此議決書ハ賦課ノ年度稅目課率其ノ他特別稅ニ關シテハ其ノ課稅物件ヲ明記スヘシ右附加稅制限超過賦課ノ議決書ハ左記第四號ノ例ニ依ルヘシ  
 特別稅別割ノ新設ニ就テハ左記第五號表式ニ依リ地籍圖ヲ添付スヘシ  
 町村財政ノ必要上起債票請ノ場合ハ左ノ書類ヲ添付スヘシ  
 既往五箇年其ノ町村左記經濟事項ノ變遷ニ關スル統計表  
 土地ニ關スル取調(田圃宅地山林原野ノ段別及時價)  
 重要物產各收買高及其價格調  
 諸物貨物出入價格調  
 金融ニ關スル取調(預金利率其他)  
 町村民職業別調  
 労働者賃金調  
 町村債及利子償還ノ財源  
 將來收入ヲ生スヘキ事業ノ爲メ町村債ヲ起シ其ノ收入ヲ以テ償還スヘシ  
 (第二號)

北海道某町(村)明治何年度歳入一覽表

費途	附加			稅		其他ノ計
	地價割	戸別割	營業稅	何何	特別割	
本町(村)經常費	甲號地租率 若干	戸數何戸平均本税金 若干	本税金 若干	上欄各課目ノ何段別何町步 若干	何何	
本町(村)臨時費	乙號地租率 若干	戸數何戸平均本税金 若干	本税金 若干	附記ス	何何	
本町(村)臨時費	丙號地租率 若干	戸數何戸平均本税金 若干	本税金 若干	附記ス	何何	
同部臨時費	今同議決ノ分 若干	本税金 若干	本税金 若干	此地租金 若干	何何	
合計	課地租率 若干	本税金 若干	本税金 若干	此地租金 若干	何何	

第三類 區町村 財務

三六三



町村制施行以前ニ於ケル使用事由ハ明記シタル調査添付スヘシ

支廳長ハ前項品目中不用ニ歸セサルモノヲキ十番ト其意見ヲ記述シタル長官宛具申書ヲ添へ願書ヲ當廳ニ送付スヘシ

○明治三十五年三月十二日訓令第十九號（支廳區役所町村役場長役場宛）

夫區町村經濟ハ年々進歩シ住民ノ負擔從テ増加スルハ勢ヒ然ラズルニ至リト雖モ水道ノ如キ拓殖民ノ獎勵上府縣人民ノ居住ヲ待テハハカラサル地ニアリテ住民ノ負擔ヲ輕減スルノ途ヲ講セサルハカラス今本道ノ狀況ニ觀ルニ區町村ノ經費ハ愈過大ニ增加スルノ傾向ヲ來タシ人民苦痛ヲ訴フルノ聲往々耳ニスル所ナレハ區町村事業ノ如キ之レカ完備ナリ一時二期スヘカラス宜ク漸次ニ經營シ俄カニ負擔ヲ重カラシムルヲ避クヘシ殊ニ區町村事業中道路維持用水路ノ修築風防林ノ設置學校病院等ノ營繕又ハ基本財産造成ニ要スル開墾事業等ハ之レヲ區町村ノ輕減ニ便ニ夫役現品ノ賦課ニ據リ以テ住民負擔ノ輕減ト便宜ナク併セテ公共心ノ喚起ト自治精神ノ涵養トニ勉ムヘシ

○明治三十四年二月二十四日訓令第十五號（郡區長戶長宛）

本道地方ノ情況タル或ハ人口ノ蕃殖民度ノ發達漸ク自治制施行ノ要ヲ見ルニ至ルモナリ或ハ近來拓殖民ノ效其歩ヲ進メ各地村落ヲ形成スルモノ少ナカラス是亦早晚其發達ニ隨ヒ自治ノ町村タラサルヘカラス然ルニ自治タルトキハ其權利ノ伸張ニ伴ヒ其責任負擔亦重キヲ加フルハ素コト其所以ナリトス竊ニ區町内地自治町村ノ如キモ今亦往來其負擔ノ重キニ苦シムモノナキニアラスト是民

智ノ之レニ伴ハサルニ非ラス職トシテ町村ノ經濟ヲ支持スル基本財産ノ缺乏ニ由ラサルハナシ水道ノ町村ニシテ前途漸ク自治制施行ノ必要アルニ思フモ其基本財産ノ設備ヲ勉メス忽忽月ナ経過シ一朝自治制ノ施行ヲ見ルニ至ラハ恐クハ前車ノ覆轍ニ陥リ民福増進ノ目的ハ却テ傷害ノ苦運ニ遭スルモ亦知レ可カラズ豈思ハサル可クンヤ故ニ今日ニ於テ毎區町村協同一致奮力シテ之レカ準備ニ勉メ確實ナル基本財産ヲ設備シ以テ異日自治ノ基礎ヲ鞏固ニセヨトテ欲シ各官宜ク此意ヲ體シ懇ニ住民ヲ指導シテ此ノ目的ヲ達シシメンコト切望ス堪ヘサルナリ

○明治三十七年十月十五日訓令第二百八十九號（郡區役所戶長役場宛）

凡ソ市町村ノ費用ハ其基本財産ヨリ生ズル收入ヲ以テ之ニ充テ積不足アル場合ニ於テ之ヲ賦課徴收スルハ本旨トス然ルニ本道區町村費ノ實況ヲ觀ルニ概ネ賦課徴收ニ資ルニ非サルハナシ

○明治二十四年十一月八日訓令第八十五號（郡區役所戶長役場宛）

小學校ニ於テハ現有ノ資産増殖ノ方法ヲ立メ又ハ新ニ財源ヲ得ルノ途ヲ講シ漸次學校ノ基本財産ヲ造出シ一方以テ經費ノ補ハ光テ一方以テ不時ノ需ニ供スルハ教育上當務トスルニシテ亦百年ノ長計ナリ且夫小學校實業科ノ施設ニ關シテ是ニ關係シテ前年スヘキモノナレハ學田學圃其他學科等ヲ設クルハ固チ學校於テハ所ナリ當該管理ニ於テハ此際小學校資産管理規程ニ遵リシテ一層其事務ヲ整理シ併セテ資産増殖ノ規程ニ從フヘシ

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十四年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十四年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

北道區町村經濟調查會ニ於ケル規則左ノ通り相定ム

第一條 北道區町村經濟調查會ノ調査スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

- 一 區町村區域
- 二 區町村現在及將來ノ戶口數
- 三 區町村ノ生産力
- 四 區町村住民ノ業體
- 五 區町村ノ輸出入
- 六 區町村住民公課ノ負擔力
- 七 區町村ノ公共事業
- 八 區町村有財產ノ構成
- 九 公有林ノ配置付與其他長官ニ於テ特ニ調査ヲ命ジタル事項

第二條 北道區町村經濟調查會ハ左ノ委員ヲ以テ組織ス

內務部長  
殖民部長  
農事官  
技師二名  
地方課長  
拓殖課長  
農工課長

前項ノ外臨時ノ必要ニヨリ特ニ委員ヲ增加スルコトアルヘシ

第三條 北道區町村經濟調查會ハ會長一名幹事二名書記若干名ヲ置ク

第四條 會長ハ理事ヲ整理シ會務ヲ指揮ス

第五條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ受テ庶務ヲ整理ス

第六條 書記ハ幹事ノ指揮ヲ受テ庶務ニ從事ス

第七條 會長ハ內務部長タル事務官ヲ以テ之ニ充テ幹事

八 區町村長ノ職務

○明治三十二年十二月二十五日開拓使函館支廳第九十八號布達

當該管下各郡內ヘ別紙ノ通り戶長配置候補此旨布達候事

但右ノ外ハ郡區長ニ於テ戶長事務兼掌候表ト心附得ヘシ

(別紙略ス)

○明治十三年二月九日開拓使札幌支廳第十三號布達

當該管下町村戶長別紙ノ通り配置候補此旨布達候事

(別紙略ス)

○明治十三年六月二十六日開拓使札幌支廳第二十六號布達

當該管下各郡內ヘ別紙ノ通り戶長配置候補此旨布達候事

但右ノ外ハ郡區長ニ於テ戶長事務兼掌候表ト心附得ヘシ

(別紙略ス)

○明治十六年四月二十日札根縣乙第四十九號通

○明治十六年四月二十日札根縣乙第四十九號通

客年(十二月)第七十一號公達ヲ以テ戶長身分取扱ノ確定相成候ニ付明治三十二年(正月)十二日公

十四年訓令第五號ヲ以テ基本財産ノ設備ニ關シテルモ亦此旨趣ニ外ナラズ爾來各官宜ク留意セラルルヲ信ス

○明治三十四年十一月八日訓令第八十五號（郡區役所戶長役場宛）

小學校ニ於テハ現有ノ資産増殖ノ方法ヲ立メ又ハ新ニ財源ヲ得ルノ途ヲ講シ漸次學校ノ基本財産ヲ造出シ一方以テ經費ノ補ハ光テ一方以テ不時ノ需ニ供スルハ教育上當務トスルニシテ亦百年ノ長計ナリ且夫小學校實業科ノ施設ニ關シテ是ニ關係シテ前年スヘキモノナレハ學田學圃其他學科等ヲ設クルハ固チ學校於テハ所ナリ當該管理ニ於テハ此際小學校資産管理規程ニ遵リシテ一層其事務ヲ整理シ併セテ資産増殖ノ規程ニ從フヘシ

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十四年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十四年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

○明治三十六年三月十九日訓令第二百九十四號（區中一）

戶長役場 吏員

一等給	二等給	三等給	四等給	五等給
1500	1200	1000	800	600
1500	1200	1000	800	600
1500	1200	1000	800	600







様式第四號文書送付簿ニ登録シテ直ニ戸長ニ送付シ其他ノ翌日之ヲ差  
出スヘシ  
當直ニハ日誌ヲ備置キ處理ノ事務ハ細大遺洩ナク其頭末ヲ記入シ翌日  
長ニ差出シテ検印ヲ受ケヘシ  
第十三條 戸長ハ前年中取扱ヒタル事務件數ヲ別紙様式第五號ニ依リ毎年  
一月三十一日限リ郡長ニ報告スヘシ

(様式第一號)

明治何年

某(町村)戸長役場

凡例

- 一 本簿ハ口取ヲ以テ官廳、人民ノ二種ニ分ツヘシ但シ都合ニヨリ分册スルモ妨ナシ
- 二 處分要領ニハ上申、報告、回答等單簡ニ記載スヘシ
- 三 月長ハ本簿ニ登録シタル後收受月日ニ検印シテ主任者ニ渡シ主任者ハ件名ノ下ニ受印ヲ捺スヘシ戸長自處スルトキ亦同シ
- 四 本簿ハ曆年ニ依リ改製スヘシ以下毎號皆同シ
- 五 用紙ハ半紙ニ限ル以下毎號皆同シ

(官廳ノ分)

收受月日	收受番號	來書番號	件名	處分月日	處分要領	官廳名
			( )			

(人民ノ分)

收受月日	收受番號	件名	處分月日	處分要領	差出人住所氏名

明治何年

發送件名簿

凡例

- 一 本簿ハ口取ヲ以テ甲、乙、音、奧、證、經ノ六種ニ分テ記載スヘシ甲ハ上官其他諸官公署ハ發入ルモノ乙ハ合社組合總代人其他一般人民ヘノ照會應答等ニ告ハ町村内ヘノ送達及合社組合總代人其他人民ヘ特ニ通達スル類ニ奧ハ奧書ニ證ハ證明ニ經ハ經由ニ川井ルモノトス
- 二 戸長ハ發送ノ證トシテ發送月日ニ検印スヘシ

(甲號式)

發送月日	發送番號	宛所	件名	名	受領年月日
		北海道長官	何何ノ件何	何何ノ件何	何何月日
		何何署長	何何ノ件上申	何何ノ件上申	何何月日
		何何署	何何ノ件同答	何何ノ件同答	○
		何何署	何何ノ件同答	何何ノ件同答	○
		何何署	何何ノ件同答	何何ノ件同答	○

(乙號式)

發送月日	發送番號	宛所	件名	名	受領年月日
			何何ノ件何	何何ノ件何	何何月日
			何何ノ件何	何何ノ件何	○
			何何ノ件何	何何ノ件何	○
			何何ノ件何	何何ノ件何	○

(奧號式) 證明ニ關スルモノモ之ニ準ス

發行月日	發行番號	區域	件名	名
		一部内一般	何何ノ件告示	
		何何町村	何何ノ件公告(廣告)	
		何何町村	何何ノ件通知	

奥書番號 題入住所 氏名 件

(經號式)

差立月日	經由番號	差出人住所氏名	差立先	名

(様式第三號)

明治何年 送

發送月日	發送番號	件名	名	受領者氏名印

様式第五號

明治何年 一月 事務件數表

送付月日	送付番號	件名	名	取扱者印

種類	件数	種別	件数
官廳		甲類	
人民		乙類	
計		計	

○明治十七年十二月二十七日混審縣乙第四百二十七號(都役所戸長役場宛)  
 數町村ヲ管轄スル戸長役場ハ一其管内ノ町村名ヲ列擧シ何何何何何何何何何何  
 場ト稱スルハ勿論ニ候得共其町村數多クシテ列擧ニ不便ナルモノハ役場所  
 在ノ町村名ヲ掲ゲ何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何何  
 但本文ニ添付スル從前ノ送付簿ニ取消ス  
 右相違候事  
 ○明治二十年七月十一日訓令第九十號(都役所宛)  
 區町村收支豫算決算其不納公費處分濟ハ別冊様式ニ準據取調檢査ハ前  
 年度九月限決算不納公費處分濟ハ翌年度八月限當廳へ報告スヘシハ區町  
 村投ノ豫算決算ニ關スル事項ハ二十七年五月訓令第三十號ヲ以テ廢止ニ付  
 キ舊式略ス

(別冊)

明治何年度何區(郡町村)費不納公債償還分濟報告書(書式)

科目	日	不納金額	公債代金	買受人ナリトス	損失金	不納者人日
地租	何何	何何	何何	何何	何何	何何
戸別	何何	何何	何何	何何	何何	何何
商業	何何	何何	何何	何何	何何	何何
工業	何何	何何	何何	何何	何何	何何
漁業	何何	何何	何何	何何	何何	何何
何業	何何	何何	何何	何何	何何	何何
合計						

○明治三十五年三月二十日訓令第二十三號(支廳長役場宛)  
 町村制施行セサル町村ノ公債ニ關スル取扱方左ノ通心符ヘシ  
 明治二十九年(九月)北海道廳訓令第五十號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス  
 第一條 町村ニ於テ公債ヲ爲サントスルトキハ其金額借入及償還ノ方法利  
 息ノ定率ヲ定メ總代人會ノ議決ヲ經北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ  
 公債金額又ハ借入若クハ償還ノ方法又ハ利息ノ定率ヲ變更セントスルト  
 キハ前項ノ例ニ依ル

第二條 町村ノ公債ハ左記ノ場合ニ於テ通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ町村  
 住民ノ負擔ニ堪ヘスト認ムルトキニ限ルモノトス  
 一 町村ノ負債ヲ償還スルトキ  
 二 天災事變等已ムテ得サル支出ヲ爲ストキ  
 三 町村永久ノ利益トナルヘキ支出ニシテ將來利ノ見込確實ナル事業  
 ヲ起ストキ  
 四 町村有財產ヨリ生スル收入ヲ以テ償還シ得ヘキ支出ヲ爲ストキ

第三條 公債金ノ總額ハ毎年ノ利子額其町村經常支出最近三年平均額ノ三  
 分ノ一ヲ超過セサルヲ限度トス  
 第四條 償還内ノ支出ヲ爲ス爲メ其年度内ノ收入ナリテ償還スヘキ一時ノ  
 借入金ノ第一條乃至第三條ニ依クサルモノトス但此場合ニ於テハ總代人  
 會ノ議決ヲ經ヘシ  
 第五條 公債ヲ爲シタルトキハ直チニ其契約書ノ原本ヲ作リ北海道廳長官  
 ニ報告スヘシ  
 第六條 公債償還シタルトキハ直ニ其年月日金額利子額及利子計算期間  
 並ニ債主氏名ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ(三十五年五月訓令第六十九  
 號ヲ以テ本條中改正)  
 第七條 第四條ノ借入金ノ爲メノマツト、及償還ノ爲メノマツト、ハ直チニ北  
 海道廳長官ニ報告スヘシ(三十五年五月訓令第六十九號ノ本條並  
 加)

○明治十六年十二月二十六日根案照乙第百八十七號(郡役所長役場宛)  
 郡長掌管及ヒ特任條件ノ外其部下人民ヨリ當縣(可)差出願何種事(案)ト  
 七年一月ヨリ總々戸長規程(戸長規程)ヲ施行スル(郡長)候職ト可心符ヘシ  
 規則ニヨリ總々制アルモノハ其法律規則ノ屬ルヘシ此旨相違無事

○明治十七年六月二十二日訓令第二十三號(支廳長役場宛)  
 犯罪證據物トシテ戸長役場備置ノ書類ノ差押アル儀ニ付申渡手續申上中ニ  
 對シ乙號ノ通知及指令條條附後戸籍簿等ノ差押ニ付テハ右ノ手續ニ依リ取扱  
 フ可キ限ト心得可シ此旨相違無事  
 甲 號

大審院  
 裁判所  
 府廳(東京府ヲ除ク)  
 憲兵本部

犯罪證據物トシテ戸長役場備置ノ書類ノ差押アル儀ニ付申渡手續申上中ニ  
 對シ乙號ノ通知及指令條條附後戸籍簿等ノ差押ニ付テハ右ノ手續ニ依リ取扱  
 フ可キ限ト心得可シ此旨相違無事  
 甲 號

○明治十七年五月二十八日  
 内務卿山縣有朋殿  
 司法卿山田顯義殿

書面上申ノ趣開届候尤裁判所ニ於テ謄寫ヒシ謄書ヘハ戸長之ニ調印スヘシ  
 若シ其謄寫ニ拘ハル内、加除筆ヲ要スル時ハ其都度裁判所ノ許可ヲ得ヘキ  
 儀ト心得事

明治十七年五月二十八日

○明治二十七年五月十八日訓令第二十九號(郡區役所長役場宛)  
 賑町村會計ニ關スル諸帳簿様式及徵收令狀様式別冊ノ通相定メ候條本年  
 六月一日ヨリ施行スヘシ  
 (別冊ハ別ニ配付ス)

但シ收入豫算簿及支出豫算簿ハ二十七年度出納開始ノ日ニ過リ整理スヘ  
 シ  
 (別冊)

(原式第一號)(用紙美濃判以下帳簿用紙符同シ)

現金受拂目計簿

区分	月日	摘要	金額	備	金額
通計					
	四月一日	何某戸別 何某戸別 何某戸別 何某戸別		調傳何某 第何某請問 印代	1,000 1,000 1,000 1,000
	四月二日	何某營業 何某營業 何某營業		調傳何某 分發給付何 員代何名分 辨當料	1,000 1,000 1,000 1,000
計					
通計					

一 本簿ハ農地地方稅ノ除ク、外郡區長ニ於テ取扱マシメ、金銭出納  
 毎日記シ、且モ其都度記入スヘシ  
 二 本簿ハ年度毎ニ閉スルニ依リ、閉シテ、並ニ其旨相違無事  
 (表面同一)

某區役所  
 某郡某町村役場

(様式第二號)

明治何年度											
區(町村)費徵收元帳											
某區役所 某郡某(町村)役場											
凡例											
一 氏名記載ノ順序ハ戸籍又ハ通常慣用ノ順序ニ依ルヘシ											
二 氏名ノ上各科目金ハ賦課ノ金額ヲ掲ケ置キ年度内異動アルトキハ朱字訂正シ其事由ヲ欄外ニ附記スヘシ											
(裏面同一)											
地價割金何程			營業割金何程								
戸別割金何程			何何金何程								
某(町村)何某			何何何								
科目											
區分		第一期	第二期	第三期	第四期						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
地價割											
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
戶別割											
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
營業割											
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						
何何											
金額		領收月日	領收月日	領收月日	領收月日						

地價割金何程			何何金何程		
某(町村)何某			何何何		

(様式第三號)

明治何年度					
區(町村)費徵收元帳					
某區役所 某郡某(町村)役場					
凡例					
一 授業料額ハ月額ヲ掲ケ異動ナシシタルトキハ朱字訂正シ其事由及異動月日ヲ欄外ニ附記スヘシ					
二 生徒退校ノトキハ其事由及月日ヲ欄外ニ附記シ納入住所氏名及生徒氏名ヲ朱線ニテ抹殺スヘシ					
(裏面同一)					
授業料額			納入住所氏名		
何何村何某			生徒氏名		
何何何			何何何		
一月分 領收月日					
二月分 領收月日					
三月分 領收月日					
四月分 領收月日					
五月分 領收月日					
六月分 領收月日					
七月分 領收月日					
八月分 領收月日					
九月分 領收月日					

明治何年度					
夫役(現品)徵收元帳					
某區役所 某郡某(町村)役場					
凡例					
一 本帳ハ一人別ニ記入スヘシ					
二 代人料及代品料ヲ納ムル者アルトキハ其旨ヲ事由欄内ニ記入スヘシ					
(裏面同一)					
區分			賦課額		
夫役數			現品種數		
抗何水			事山		
抗何把			使用又ハ		
領收月日			納入住所氏名		
何村			何某		
同村			同村		
何人			何人		

明治何年度		
夫役現品整理簿		
某區役所 某郡某(町村)役場		
凡例		
一 本簿ハ夫役現品徵收ノ既未済及代賦代品料ノ受拂ヲ明ニスルモノニシテ豫算ニ基キ工事毎ニ口別ヲナスヘシ		
二 現品ハ品目毎ニ口別ヲナシ夫役ノ例ニ依リ記入スヘシ		
三 代品料ハ代夫料ノ例ニ依リ記入スヘシ		
(裏面同一)		
區分		
夫役		
現夫		
代夫		
現夫		
代夫		

(裏面同一)

月日		區分	夫役	徵收ノ部	工率
何年何月何日決議		摘要	豫算額		
何年何月何日決議		摘要	現夫		
何年何月何日決議		摘要	代夫		
何年何月何日決議		摘要	現夫		
何年何月何日決議		摘要	代夫		
何年何月何日決議		摘要	現夫		
何年何月何日決議		摘要	代夫		

現品		何品	
月日	區分	摘要	預算額
		現品	收入額
		代品	残額

代料金受拂ノ部

月日	區分	摘要	受	拂	残
		何某外何名夫役四人分	1000		1000
		用何ノ爲メ人夫二人使		5000	0500
					0500

代品料

月日	區分	摘要	受	拂	残

明治何年度 區町村費收入豫算整理簿 (様式第六號)

某區役所 某郡某町村役場

凡例  
 一 本簿ハ區町村費收入ノ既未済ヲ明ニスルモノニシテ豫算ニ基キ項々以テ目別スヘシ  
 二 各項トモ月別割當額ノ例ニ依テ記入スヘシ  
 三 決算ニ至リタルトキハ總計ヲ附シ整理スヘシ

區(町村)賦課

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額
四月一日		何年何月何日決議	15000			15000
四月一日		第一期			2000	13000
四月二日		第二期			2000	11000
四月二日		第三期			2000	9000
四月二日		何某外何名分			2000	7000

區(町村)賦課

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額
四月一日		何年何月何日決議	30000			30000
四月一日		第一期			1000	29000
四月二日		第二期			1000	28000
四月二日		第三期			1000	27000
四月二日		何某外何名分			1000	26000

財産ヨリ生スル收入

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額

凡例  
 一 本簿ハ區町村費支出ノ既未済ヲ明ニスルモノニシテ豫算ニ基キ日々以テ日別スルモノトス  
 二 決算ニ至リタルトキハ總計ヲ附シ整理スヘシ  
 三 豫算確定ノ後甲ノ日ヨリ乙ノ日ニ適用ナラシタルトキハ豫算ノ欄ニ甲ハ其金額ヲ朱書シ乙ハ墨書シテ整理スヘシ

會議費

月日	區分	摘要	預算額	番號	支出額	殘額
四月一日		何年何月何日決議	25000			25000
四月二日		議員總代人何ノ外何名分			1500	23500
四月二日					1500	22000

會議費

月日	區分	摘要	預算額	番號	支出額	殘額
四月一日		何年何月何日決議	5000			5000
四月一日		第何號請問案何部			500	4500
四月一日					500	4000

教育費

月日	區分	摘要	預算額	番號	支出額	殘額
四月一日		何年何月何日決議	250000			250000
四月一日		給料			250000	0
四月一日		訓練給			250000	0

財産ヨリ生スル收入

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額

雜收入

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額

雜收入

月日	區分	摘要	預算額	番號	收入額	殘額

明治何年度 區町村費支出豫算整理簿 (様式第七號)

某區役所 某郡某町村役場

第三類 戸長役場 財務

四月三十一日 給付額 〇七五〇

三八〇

四月三十一日	給付額	〇七五〇
四月三十一日	給付額	二四〇〇

(裏面同一)

月別	摘要	借付額	借入金	支出額	残額
四月一日	何年月何日決議		一〇〇〇〇		一〇〇〇〇
四月一日	訓導何某出張旅費	一〇〇		一〇〇	八九〇〇

(第八號様式)

基本財産彙報	
某 區	某 郡 某 村 役 場

凡例  
 一 本簿様式ハ役場所轄内各町村普通共有財産ノ例ヲ示シタルモノナレ  
 ハ某町村若クハ某學校某病院等所屬ノ異ニスルモノアルトキハ派  
 之ニ準シテ別スヘシ  
 二 土地建物ノ買取若クハ譲渡貸金預金ノ戻入等ハ異動欄内ニ其事由及  
 月日ヲ記入シテ採録スヘシ  
 三 建物及公債證券株券ノ異動ハ貸金預金ノ例ニ倣ヒ其都度整理スヘシ  
 四 本簿ハ年度ニ拘ラス連年使用スヘシ

第三類 戸長役場 財務

三月三十一日

三八〇

字 号	區 名	建 物	區 分	坪 數	取 得 年 月 日	異 動 年 月 日
〃	某學校	瓦葺二階建	〃	〃	〃	〃
〃	某病院	葺葺平屋	〃	〃	〃	〃
〃	倉庫	石蔵	〃	〃	〃	〃

現金ノ部

年月日	摘要	受	拂	残
何年月何日	何年月何日ヨリ現 金ニテ受			
〃	公債證券買入ノ爲メ			
〃	某貸付金利息收受			

貸付	何年月何日	金額	擔保物件	期限	事由	借主
〃	何年月何日		何	何	何	何

更 定 計	計
〃	〃
〃	〃
〃	〃

預金ノ部

預入年月日	金額	期限	事由	山
何年月何日		何年月何日	何	何
〃		〃	〃	〃

區 別	區 名	地 目	段 別	取 得 年 月 日	異 動 年 月 日
〃	〃	山 林	〃	〃	〃
〃	〃	山 林	〃	〃	〃
〃	〃	山 林	〃	〃	〃
〃	〃	田	〃	〃	〃
〃	〃	田	〃	〃	〃
〃	〃	山 林	〃	〃	〃
〃	〃	山 林	〃	〃	〃

計	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	何某預ノ分納期限 入	郵便貯金預所預ノ 内何何ノ爲メ戻入	更定計
---	----------------------------	---------------	----------------------	-----

(標式第九號)

明治何年度  
區(町村)費滯納處分明細書  
某區役所  
某町役場

(裏面同一)

番令番 號狀促	科目 區分	滞納金額	督促令狀ヲ發 シタル月日	差押命 令月日	差押物件 何品何個	處分收入金額	事	住 所 氏 名	合 計				
									一	二	三	四	
何業何業 何別何別 何何何何	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期	第第 第第 期期 期期
收入金額 上納金額	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽	△ ▽ ▽ ▽ ▽ ▽

(標式第十號)

一 區町村費ニ關スル諸收入金及夫役現品等ノ令狀ハ渾テ此令狀ノ式ニ準スヘシ

領 一金 内 金何程 金何程 金何程	狀 右何年何月何日限リ納付スヘシ 明治何年何月何日 何郡區(町村)長氏名 印	令 一金 内 賦課額 地價割 戶別割 營業割 何	明治何年度第何期區(町村)費 納入 何村 何 某
領 一金 内 金何程 金何程 金何程	狀 右何年何月何日限リ納付スヘシ 明治何年何月何日 何郡區(町村)長氏名 印	令 一金 内 賦課額 地價割 戶別割 營業割 何	明治何年度第何期區(町村)費 納入 何村 何 某
區町村費收入支出(豫算)(追加豫算)	區町村費收入支出(豫算)(追加豫算)	區町村費收入支出(豫算)(追加豫算)	區町村費收入支出(豫算)(追加豫算)

○明治二十七年五月十八日訓令第三十號(郡區役所戸長役場宛)  
區町村費收支豫算及決算書式別冊ノ通り相定メ統括自今右ニ據リ施行スヘシ  
前項豫算ハ前年度十二月二十日限リ決算ハ翌年度十二月二十日限リ追加豫算ニ係ルモノハ其時時本々製シ支應ニ報告スヘシ(二十一年十二月訓令第六十二號ヲ以テ本項中改正)  
(別冊ハ別ニ配付ス)  
但シ明治二十年(七月)當該訓令第九十號中區町村費ノ豫算決算ニ關スル事項ハ廢止ス  
(別冊)

明治何年度  
區 某郡某町區  
收入支出(豫算)(追加豫算)

(用紙半紙版)

某郡某町區明治何年度收支(總計豫算)(追加豫算)		收入	收入豫算高
一金何程		支出	
一金何程		經常費豫算高	
一金何程		臨時費豫算高	
合計金何程 (臨時費ノ豫算ナキトキハ此合計ヲ要ス)			
收支差引			
殘金何程			
(此殘金ハ翌年度繰越金ニ編入スルヲ通例ト爲スト雖モ特ニ基本財産ニ編入スル等ノ必要アルトキハ決議ノ要領ヲ附記スヘシ)			
某郡某町區明治何年度收支豫算表			
科	目	前年度豫算額	本年度豫算額
第(一)款	財産ヨリ生スル收入		
(一)項	賃地		
	賃地料		
	附		
	配		
	空地何坪賃地料何圓何拾何圓何分何厘		
	空地何坪賃地料何圓何拾何圓何分何厘		

(二)項	貸付金發利子			貸付金千圓何百圓何拾何圓何分何厘
(三)項	公債利子			公債利子千圓何百圓何拾何圓何分何厘
(四)項	森林主產物賣拂			某所森林主產物賣拂代何拾何圓何分何厘
(五)項	雜收入			反古賣拂代何拾何圓何分何厘
(一)項	不用品拂代			某病院藥箱何拾何圓何分何厘
(二)項	病院收入			某學校生徒何百圓何拾何圓何分何厘
(三)項	小學校授業料			過念金何圓何拾何圓何分何厘
(四)項	雜入			
第(三)款	前年度繰越金			
(一)項	前年度繰越金			
第(四)款	國庫補助金			
(一)項	教育費補助			某學校補助金何拾何圓何分何厘
(二)項	病院補助			某病院補助金何拾何圓何分何厘
第(五)款	寄付金			
(一)項	教育費寄付			某學校新築費(寄付金)何拾何圓何分何厘
(二)項	勸業費寄付			某勸業會(寄付金)何拾何圓何分何厘
(三)項	.....			.....
第(六)款	區(町)(村)賦課額			
(一)項	地價			地價金何圓何拾何圓何分何厘
	地價			地價金何圓何拾何圓何分何厘



科	目	前年度豫算額		本年度豫算額		附記
第一(一)項 會 議 費	第一項 雜 給					
	(一) 日 議員代理人辨當					三里末滿議員(總代人)何人一人一日金何拾錢ヲツ何日分
	(二) 日 旅 費					三里以上議員(總代人)何人一人往復電車數何程一里金何拾錢ヲツ
	(三) 日 書記給料					宿泊料一日金何拾錢何日分
	(三) 日 印刷費					書記何人日給何拾錢何日分
第二(二)項 需 用 費	(一) 日 備品費					卓何脚新調(修繕)一箇何拾錢椅子何脚新調一脚何拾錢
	(二) 日 消耗品費					筆等紙代何圓茶代何拾錢炭代何拾錢何何拾錢
	(三) 日 印刷費					筆等紙代何圓茶代何拾錢炭代何拾錢何何拾錢
第三(三)項 土 木 費	第一項 道路橋樑費					改築印刷費何圓何拾錢決算報告書何拾錢決議書何拾錢何何拾錢

科	目	前年度豫算額		本年度豫算額		附記
第一(一)項 道 路 修 繕 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
第二(二)項 治 水 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
第三(三)項 教 育 費	第一項 俸 給 費					
	(一) 日					
	(二) 日					
第四(四)項 雜 給	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					
第五(五)項 旅 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					
第六(六)項 需 用 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					
第七(七)項 備 品 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					
第八(八)項 消 耗 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					
第九(九)項 賄 費	(一) 日					
	(二) 日					
	(三) 日					
	(四) 日					
	(五) 日					



第(八)款 等備費				
(一)目 消防夫手當費				出火一度何圓若干、手當何圓
(二)目 器械費				何器械修繕費何圓
(三)目 器械置場費				置場修繕費何圓何拾錢
第(九)款 水防費				
(一)目 火防夫手當費				出水一度何圓、
(二)目 器具費				何何箇何拾錢、
第(十)款 夜警費				
(一)目 番所費				番所修繕費何圓、
(二)目 消耗費				炭代何圓油代何圓、
第(十一)款 勸業費				
(一)目 諸費				會員何人手當何圓何拾錢書記何圓小使給何拾錢
(二)目 雜費				印刷費何圓何拾錢消費費何圓何拾錢
第(十二)款 農談會費				
(一)目 諸費				試作人月手當何圓若干、手當何拾圓耕作其他雇入料何圓
(二)目 雜費				肥料何圓種苗代何圓器具費何圓、
第(十三)款 諸稅及負擔				
(一)目 諸稅				
(二)目 負擔				
第(十四)款 地租				
(一)目 地方稅地價割				共有宅地何坪何段何畝何歩、
(二)目 其他組合費				其村共同何事業新設費本村負擔額
第(十五)款 公債費				
(一)目 某公債償還費				公債總額何程ノ内本年度償還額
(二)目 元金償還				公債總額何程ノ内償還既済何程、剩餘何程ニ對スル何年何月何日迄何子
(三)目 利息				
第(十六)款 區(町村)費取扱費				
(一)目 徵收費				徵收切符配達雇入何人寄電雇入何人、
(二)目 徵收諸費				區町村費總額何程ニ對スル何分ノ何
第(十七)款 金庫費				
(一)目 手数料				某山番給何拾錢何日分、
(二)目 支出				何共有金貸付預入戻入諸費何拾錢、
第(十八)款 雜費				
(一)目 共有財產管理費				
(二)目 山番給				
(三)目 共有金取扱費				
合計				

臨時部				
第(一)款 地租				
(一)目 地方稅地價割				
(二)目 其他組合費				
第(二)款 公債費				
(一)目 某公債償還費				
(二)目 元金償還				
(三)目 利息				
第(三)款 區(町村)費取扱費				
(一)目 徵收費				
(二)目 徵收諸費				
第(四)款 金庫費				
(一)目 手数料				
(二)目 支出				
第(五)款 雜費				
(一)目 共有財產管理費				
(二)目 山番給				
(三)目 共有金取扱費				
合計				

第三類 戸長役場 財務

料				前年度豫算額	本年度豫算額	附	記
目							
第(一)款	土木	費					
第(二)項	道路橋梁費						
(一)目	道路新開費						某新道測量費何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘
(二)目	橋梁新架費						某橋梁架換費何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘、何拾何圓何角何分何厘
第(三)款	教育	費					
第(一)項	學校新築費						
(一)目	校舍新築費						某學校數地何坪何寸何分何厘、何何何何何何何何何何、何何何何何何何何何何、何何何何何何何何何何
(二)目	敷地買上費						某學校何坪何寸何分何厘、何何何何何何何何何何、何何何何何何何何何何
合計							
通計							

明治何年度

某縣(町) 某郡(村) 收入支出決算書

収入				前年度豫算額	本年度豫算額	決算額	比率
目							
第(一)款	財産ヨリ生スル収入						
(一)項	貸 地 料						
(二)項	貸付金殺利子						
(三)項	公債證書利子						
(四)項	森林主副産物賣却代						
第(二)款	雑 收 入						
(一)項	不用品拂代						
(二)項	病院 收入						
(三)項	小學校授業料						
(四)項	雑 入						
合計	以下豫算表式ニ依リ記載スヘシ						
差引(増)(減)金何程							
説明							
△ 豫算金何程							
△ 未 書							

第三類 戸長役場 財務

一金何程  
此ノ決算ノ具額ヲ以テ豫算ニ比シ金何程ナ(増)シタル所ハ貸地料ニ於テ云云貸付金發利子ニ於テ云云公債發利子ニ於テ云云森林主副産物賣却代ニ於テ云云等ニ由ル  
以下之ニ依リ科目毎ニ記載スヘシ

支出
經常部
收入ノ例ニ依リ記載スヘシ
臨時部
收入ノ例ニ依リ記載スヘシ

○明治二十年五月十日訓令第三十號(郡區役所戸長役場規程)  
區町村費ヲ以テ支辨スヘキ費目ヲ定ムルコト左ノ如シ  
但シ費目ノ増加ヲ要スルトキハ(戸長ハ郡長ヲ經テ)長官ノ指揮ヲ受クヘシ

- 一 會務費
- 二 區町村費取扱費(二十三年四月訓令第二十二號二十四年四月訓令第二十九號ヲ以テ木項追加改正)
- 三 區町村費納納庫分費(二十三年四月訓令第二十二號ヲ以テ木項追加)
- 四 土木費
- 五 教育費
- 六 教育補助費
- 七 衛生及病院費
- 八 警備費

一 基本財産建設費(二十七年十月訓令第五十六號ヲ以テ木項追加)  
一 勸業費(三十一年八月訓令第四十一號ヲ以テ木項追加)  
○明治二十二年十一月十五日訓令第五十一號(區役所戸長役場規程)  
種痘費ハ土地ノ狀況ニ依リ其町村費ヲ以テ支辨スルヲ得ヘシ  
○明治三十二年三月七日訓令第十一號(支廳戸長役場規程)  
區町村ニ於テ從來賦課シタル區町村費ノ外ニ新ニ收入課目ヲ設ケ賦課セシムルコトキハ其賦課方法ヲ規定シ區會總代人ノ評決ヲ經テ北海道廳長官ノ許可ヲ受クヘシ其賦課方法及從來賦課シタル區町村費ノ賦課方法ヲ變更スルトキ亦同シ  
前項ノ稟請書ニハ其賦課變更ノ要スル理由書及當該年度ノ收支豫算表ヲ添附スヘシ  
戸長ヨリ稟請スルモノハ支廳長ヲ經由シ支廳長ハ精密調査ノ上意見ヲ詳具シ進達スヘシ

戸長ハ來ル三月三十一日迄ニ從來賦課シタル區町村費收入課目及賦課方法ヲ支廳長ヲ經由テ提出シ支廳長ハ直轄區町村ニ係ル分ト共ニ四月十五日迄ニ進達スヘシ  
○明治十八年一月二十日札幌廳廳長第二號通(郡區役所戸長役場規程)  
別紙第九十四號ノ通告並相成候ニ付本縣町村協議費ノ派用同様可相心得此旨相達候事  
(別紙)

第九十四號  
凡ソ官有地ハ人民ニ使用ヲ許シタルモノヲ除クノ外其所在區町村費ノ賦課ニ應ゼサル儀ト心得ヘシ此旨相達候事  
但該路疏水等ノ爲メ該區町村へ手當金ヲ給與スルハ各該區町村ヘシ  
明治十七年十一月十八日  
太政大臣 三條實美

○明治二十三年三月十二日訓令號外(郡區長規程)  
當該區町村費納納庫處分方別紙訓令第一二七號內務大臣訓令アリ此旨心得ララルヘシ  
(別紙)

訓令第一二七號  
明治十七年五月第十五號布告又ハ十八年八月第二十二號布告ニ據リ十年十一月第七十九號布告ニ準シ處分シ來ル北海道區町村費ノ納納者ハ客年法律第三十二號實施以後ハ別ニ規定ヲ待タズ自然該法律ニ準シ處分スヘキ儀ト心得ララルヘシ  
右訓令(法律第三十二號)現行國稅徵收法ニ該當ス  
明治二十三年三月三日  
內務大臣 伯爵 山縣有朋  
北海道廳長官 永山武四郎殿

○明治二十九年七月二十三日訓令第三十九號(郡區役所戸長役場規程)  
區町村基本財産管理規程別冊(別冊ハ別ニ配付ス)ノ通リ相定メ明治二十九年九月一日ヨリ施行ス  
但シ明治二十年(四月)北海道廳訓令第十二號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス  
(別冊)

區町村基本財産管理規程  
第一條 此規程ニ於テ基本財産ト稱スルハ從來區町村ノ共有ニ屬スルモノ及將來區町村公共ノ爲メニ設備スル不動産並ニ金貨ノ類ヲ云フ  
第二條 基本財産ハ區ニ在テハ支廳長官ニ在テハ(戸長)支廳長官ニ在テハ(支廳長)ニ於テ管理スルモノトス  
第三條 區町村基本財産ノ管理ニ關シテハ區町村基本財産總代理人ノ評決ヲ經テ其主權ヲ行使スルモノトス(三十一年五月訓令第二十一號ヲ以テ本條改正)  
第三條 基本財産ノ確保存セシムル爲メ左ノ各號ニ依リ區會又ハ總代人ノ評決ヲ經テ増殖ヲ圖ルヘシ  
一 預金ヲ爲ス事  
但シ預金箇所ハ金庫(預金規則ニ據ルモノ)郵便貯金及確實ナル銀行ニ限ル  
二 貸金ヲ爲ス事  
但シ貸金ハ有利名公債證書若クハ確實ナル銀行存託ノ株券ヲ擔保トシテ一年以内ノ期限ニアラザレバ貸付ヲ爲スコトヲ得ス其擔保價格ハ公債證書ノ額面高、株券ハ時價十分ノ八ハ超ユヘカラス  
三 公債證書ヲ買入ルル事  
但シ公債證書ハ政府ノ發行ニ係ル有利ノモノニ限ル

第四條 土地建物ハ直接公共ノ用ニ供スルモノノ外總テ貸付利權ヲ附スルヘシ  
貸付ハ數金又ハ有利名公債證書、確實ナル銀行存託ノ株券若クハ其部内現存人ニシテ身許確實ナル者三名以上ノ連帶保證ヲ以テ貸付ノ擔保トシ土地ハ十年以内建物ハ三箇年以内ノ期限ニアラザレバ貸付ヲ爲スコトヲ得ス其擔保價格ハ第三條第三號第二號但書ノ例ニ依リ擔保價格ハ第三條第三號第二號但書ノ例ニ依リ爲シタル契約ヲ妨グ  
第六條 財產貸付ニ關スル手續ハ管理若クハ區會又ハ總代人ノ評決ヲ經テ之ヲ定ムルコトヲ得  
第七條 財産コリ生スル收入ハ預金利息トシテ總テ當該年度區町村費ノ收入ニ組込ムヘシ但シ基本財産建設費ノ目下設ケテ積立ヲ爲スヘシ但シ預金コリ生スル利息及區町村費ノ收入ニ組込ムヘキ性質ニアラザルモノ(備置基本財産コリ生スル利息ノ類)ハ直チニ元貸ニ組込ムヘシ  
第八條 財產ノ支消及買入、書入等ハ從前ノ負債元額ヲ償還スル爲メ又ハ天災時等已ムテ得ザル支出若クハ區町村永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スルニ方リ適當ノ賦課ヲ增加シ爲メニ其區町村ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リモトス  
第九條 財產ノ毀却交換讓與ハ公共ノ必要ニ原因スルカ若クハ損害賠償ハ公共ノ外之ヲ爲スコトヲ得ス(三十一年五月訓令第二十一號ヲ以テ本條改正)  
第十條 豫算內ノ支出ヲ爲スニ付必要ナル場合ハ其年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノニ限リ一時假出スルコトヲ得(三十一年五月訓令第二十一號ヲ以テ本條追加)  
第十一條 管理若クハ明治二十七年北海道廳訓令第一

二十九號様式第八號及別紙様式第一號ニ據リ帳簿ヲ製シテ財産ノ現在及  
 出納ヲ明ニスヘシ(三十二年五月訓令第二十二號ニテ本條改正)  
 第十二條 管理責任者ハ翌年度四月三十日限リ別紙様式第三號ニ據リ財産調査  
 報告書ヲ支總長ニ報告スヘシ(支總長ハ別紙様式第二號ニ據リ所轄區町村ノ  
 財産調査報告書ヲ製シ五月十五日限リ北海道支總長ニ報告スヘシ(三十二年  
 五月訓令第二十一號ニテ本條改正)  
 第十三條 管理責任者ハ以テ前項ニ依リ財産調査報告書ヲ製シ  
 シ新舊管理責任者ヲ以テ前項ニ依リ財産調査報告書ヲ製シ  
 第十四條 支總長ハ以テ前項ニ依リ財産調査報告書ヲ製シ  
 第十五條 預金證書、貸金證書、公債證書等其財産ニ關スル重要文書ハ  
 常ニ金庫ニ貯置スヘシ  
 第十六條 北海道支總長及支總長ハ隨時官吏ヲ派遣シ財産ニ關スル帳簿  
 書類及現金、物件等ヲ検査セシムルコトアルヘシ支總長ニ於テ之ヲ監督  
 兼行ハシメタルトキハ其要領ヲ北海道支總長ニ報告スヘシ  
 第十七條 第三條第七條ノ例ニ據リサハル處分及第八條第九條第十條第十四  
 條ノ處分ヲ要スル場合ハ區會又ハ代理人會ノ議決ヲ經テ戸長ハ支總長  
 支總長ハ北海道支總長官ノ認可ヲ受クヘシ(三十二年五月訓令第二十一號ニ  
 テ本條改正)  
 第十八條 小學校、病院其他事業ニ屬スル不動產金穀ノ管理ハ津テ本規程  
 ニ據ルヘシ  
 (別紙)  
 (様式第一號)

貸 下 地 登 帳  
 業 區 役 所  
 某郡某町(村) 戸長役場

三 起業方法ノ變更許可ヲ受ケタルトキハ許可ノ年月日及變更申請ノ要  
 旨ヲ備同ニ記載スルモノトス  
 四 用紙ハ美濃ニ限ルモノトス

年次	起 業 方 法						年次	年 始 明 可 許 下 貸	
	初年	二年	三年	四年	五年	六年		地 積	口 數
初年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何國何郡何村字何	何何	
二年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	一原野	壹萬坪	
三年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	内		
四年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	田	五千坪	
五年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	田	四千坪	
六年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	田	三千坪	
初年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何國何郡何村字何	何何	
二年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何何	何何	
三年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何何	何何	
四年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何何	何何	
五年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何何	何何	
六年	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	何何	何何	

(様式第二號)(三十二年五月訓令第二十一號三十二年二月訓令第五號ニテ本條改正)

明 治 何 年 度 末 區 町 村 有 財 產 集 計 表 (其 一)

郡 區	所 屬 別	何											總 計									
		郡 計			何 町 (村)			何 町 (村)			何 町 (村)											
土	田 地 別 如																					
	同 宅 地 同 山 林 同 海 産 干 場 同 原 野 同 貸 下 地 同 計																					
地	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
建	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
業 支 體	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
	校 舍 同 病 院 同 居 宅 同 倉 庫 同 何 何 同 計																					
備 考		貸 下 地 ハ 未 計 スヘシ																				
明 治 何 年 度 末 區 町 村 有 財 產 集 計 表 (其 二)																						
郡 區	所 屬 別	整理 公債			軍事 公債			何銀行 株券			何何 計			預金 貸金 計			現金 穀物 計			何何 何何 何何		

土 地 部																
在 現 末 度 年					減		増			在 現 末 度 年						
計	原野	海産干場	山林	畑	計	原野	畑	計	原野	海産干場	畑	計	原野	海産干場	山林	

明治 年度末 某郡 某村 區有財產調査

(様式第三號)(三十一年二月訓令第五號ヲ以テ本様式中改正)

凡 例

- 一 本様式ハ一區又ハ一町村有財產ノ例ヲ示シタルモノナルハ數町村ノ聯合所有ニ係ルモノ又ハ學校病院等其所屬ノ異ナルモノ
- 二 之ニ準シ調整スルモノトス
- 三 食下地成功率數ハ成功地目ヲ以テ記載スルモノトス
- 四 現金ハ前年度越高クキナ常トスルモノ預金又ハ貯金均込等ノ都合ニ依リ越金ヲ生シタル場合ニ記載スルモノトス

總 計	郡 何				郡 何			
	計	備荒基本金	何病院	何學校	何町(村)	何町何村何村	何町何村何村	何町何村何村

部ノ金貸及金預			部ノ券株及書證債公			部ノ物建						
計	貸	預	種	種	種	計	倉庫	住宅	病院	學校	種別	
											區分	區分
金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	坪數	棟數
			前年度末現在			前年度末現在						
			增			增						
			減			減						
			年度末現在			年度末現在						

第三類 戸長役場 財務

四〇〇

部ノ金現	種別	金額	備註
金	備荒組合町村	金九百八十四圓三十八錢一厘	茅部郡 谷、尾内、富野邊、松木、松部、山越、八雲村
金	札幌區	金四百四十一圓六十九錢二厘	山越郡 長萬部村
金	函館區	金五百五十四圓七十一錢九厘	山越郡 長萬部村
金	七飯、藤城、峠下、軍川、鶴野、大中山村	金四百三十三圓八十七錢一厘	山越郡 長萬部村
金	大野、市渡、本郷、文月、千代田、本木村	金三千七百四十四圓四十五錢七厘	山越郡 長萬部村
金	下湯川、上湯川、赤川、楳田、石川村	金六百八十二圓十三錢七厘	山越郡 長萬部村
金	下湯川、上湯川、赤川、楳田、石川村	金六百四十二圓九十二錢七厘	山越郡 長萬部村
金	錢龜澤、根崎、志苔、石崎村	金六百九十九圓九十五錢五厘	山越郡 長萬部村
金	戸井、小安村	金三千九百九十九圓九十五錢九厘	山越郡 長萬部村
金	尻岸内村	金九百三十二圓二錢一厘	山越郡 長萬部村
金	楳法華村	金八百六十三圓六十一錢九厘	山越郡 長萬部村
金	止磯、中野、清川、谷好、富川村	金三千三百三十三圓九錢九厘	山越郡 長萬部村
金	茂邊地、石別村	金三千三百三十三圓九錢九厘	山越郡 長萬部村
金	木古内、釜谷、泉澤、札刈村	金七百五十四圓三錢八厘	山越郡 長萬部村
金	知内、小谷石村	金七百五十四圓三錢八厘	山越郡 長萬部村
金	尼札部村	金五百七十三圓三錢八厘	山越郡 長萬部村
金	白尾、熊泊村	金五百九十五圓三錢八厘	山越郡 長萬部村
金	鹿部村	金六百九十九圓三錢八厘	山越郡 長萬部村
金	鹿部村	金七百七十八圓四十五錢二厘	山越郡 長萬部村
金	砂原、掛洞村	金千六百九十九圓三錢八厘	山越郡 長萬部村

右及報告候也

明治 年 月 日 官 氏 名 宛

管理 官 氏 名 印

第三類 戸長役場

財務

四〇一



金三百八十一圓五十五錢六厘	金四百七十三圓七十二錢四分	金五百八十八圓八十五錢九厘	金六百四十六圓九十九錢八厘	金七百四十五圓十二錢一分	金八百九十九圓九錢四分	金九百五十五圓七十一錢二分	金一千零四十九圓九錢一分	金一千一百四十三圓五錢三分	金一千二百四十四圓六錢二分	金一千三百三十七圓三錢四分	金一千四百三十七圓三錢四分	金一千五百三十七圓三錢四分	金一千六百三十七圓三錢四分	金一千七百三十七圓三錢四分	金一千八百三十七圓三錢四分	金一千九百三十七圓三錢四分
新松内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村	岩内村
金七百五十七圓三錢九厘	金六百九十四圓六錢六厘	金六百四十一圓八錢八厘	金六百五十四圓六錢三厘	金六百七十六圓四十三錢七厘	金六百九十四圓三十三錢六厘	金七百零四圓三十三錢七厘	金七百一十四圓三十三錢七厘	金七百二十四圓三十三錢七厘	金七百三十四圓三十三錢七厘	金七百四十四圓三十三錢七厘	金七百五十四圓三十三錢七厘	金七百六十四圓三十三錢七厘	金七百七十四圓三十三錢七厘	金七百八十四圓三十三錢七厘	金七百九十四圓三十三錢七厘	金八百零四圓三十三錢七厘
空知郡	夕張郡	空知郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡	夕張郡
市來知、鏡内、幾春別村	岩見澤、樺向村	角田、登川村	瀧川、奈江村	月形村	新十津川村	一圓、九町六箇村	留萌、三泊、禮受村	留萌、天登、禮受村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村	留萌、自志、泊力貴村

金千九百二十九圓六十二錢五分	金六百八十四圓四十八錢二分	金七百六十六圓六十一錢八厘	金九百五十八圓二十七錢	金千十三圓九十一錢一分	金四百二十三圓七十錢一分	金五百二十三圓三十四錢	金五百七十七圓七錢七分	金二千七百三十四圓九十四錢五分	金七百十八圓九十錢一分	金五百三十四圓五十七錢五分	金六百七十八圓八十一錢二分	金千九十一圓五十四錢六厘	金八百三十三圓六錢五分	金三百六十七圓二十八錢一分	金二千六百六十六圓三十四錢八厘	金七百四十四圓四十一錢七分	金六百三十九圓四十四錢五分	金八百六十四圓三十一錢九厘	金六百六十四圓九十二錢三分	金三百七十四圓五十一錢六厘	金五百七十七圓八錢一分
新内郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡
一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村
新内郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡	三石郡
一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村	一圓四十六箇村

議員選舉

衆議院

○明治三十五年三月十一日訓令第十八號(區役所宛)  
 衆議院議員選舉法及同施行令取扱手續左ノ通相定ム  
 衆議院議員選舉法及同施行令取扱手續  
 第一條 衆議院議員選舉法第三十二條ニ依リ選任シタル投票立會人其職ヲ  
 辭シタル場合ニ於テ選舉ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知ス  
 ルコトヲ得ヘキ餘日ヲ存スルトキハ同條ニ依リ更ニ投票立會人ヲ選任ス  
 ヘシ  
 第二條 區役所以外ニ投票所ヲ設クルノ必要アル場合ニ於テハ可成門戶ノ  
 ル場所ヲ選定シ許可ヲ請フヘシ  
 第三條 選舉人名簿投票ノ用紙及封筒投票簿用紙ハ當選コト交付スヘシ  
 以テ所要ノ員數取調名簿用紙ハ開票期日前一箇月投票用紙及封筒投票簿  
 用紙ハ選舉期日前一箇月ヲ限リ之ヲ請求スヘシ  
 投票用紙、封筒、名簿用紙ノ殘餘ハ別記書式ノ仕譯書ヲ添ヘ之ヲ返還スヘ  
 シ  
 第四條 投票所ハ概略別記書式ニ從ヒ選舉人ノ多少ニ依テ適宜之ヲ附シ  
 受付所、選舉人控所、選舉人名簿對照、投票簿捺印、及投票用紙交付所、投  
 票記帳所、投票ノ場所等ヲ設備スヘシ  
 第五條 投票ハ投票記帳ノ爲メ設ケタル桌上ニ於テ之ヲ記載セシメ其ノ記

第三類 議員選舉 衆議院

NO. 6

載終リタルトキハ直ニ投票セシムヘシ  
投票記帳ノ爲メ設ケタル卓上ニハ筆硯票ヲ備ヘ置キ投票記帳ニ支障ナカ  
ラシムヘシ

第六條 選舉人出入ノ門戶及投票所出入口等ニハ警察官吏又ハ特ニ設ケタ  
ル取締人ヲ配置シ取締ヲ爲スヘシ

第七條 衆議院議員選舉法第四十條ニ依リ投票閉鎖ノ後ハ開票所ニ送致  
スル迄ノ間投票函ハ之ヲ投票所外ニ轉送スルコトヲ得ス

第八條 投票簿、投票録、開票録及點數簿ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製スヘ  
シ

投票録開票録ハ膠木ヲ調製シ選舉人又ハ被選舉人ノ請求アリタルトキハ  
之ヲ閱覽セシムヘシ

第九條 投票所開票所ニハ各其ノ門戶ニ標札ヲ掲ケヘシ

第十條 投票所及開票所ニハ衆議院議員選舉法第四十條第三十三條乃至第三  
十九條第五章各條第六節第六十三條第十一節各條及衆議院議員選舉法施  
行令第十四條乃至第十九條ヲ貼示スヘシ（三十五年七月訓令第九十二號  
ヲ以テ本條追加）

第十一條 衆議院議員選舉法施行令第二十條ノ續編ハ投票閉鎖後之ヲ封  
緘シ投票管理者並ニ投票立會人ニ於テ封印ヲ施スヘシ（三十五年七月訓  
令第九十二號ヲ以テ本條追加）

第十二條 開票管理者ニ於テ投票ノ調査終リタルトキハ電信ヲ以テ其結果  
ノ要領ヲ報告スヘシ（三十五年七月訓令第九十二號ヲ以テ本條追加）

第十三條 區長ハ選舉期日十日前迄ニ其選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ  
總數ヲ調査報告スヘシ

第十四條 區内死亡失格六名變更者等アルトキハ其氏名事山ヲ調査シ別ニ  
之ヲ報告スヘシ（三十五年七月訓令第九十二號ヲ以テ本條追加）

第十五條 區内選舉人ニ於テ選舉會ニ參觀ヲ求ムル爲メ選舉資格ノ證明書  
ヲ請求スルモノアルトキハ之ヲ付與スヘシ（三十五年七月訓令第九十二  
號ヲ以テ本條追加）

（書式）  
一 衆議院議員選舉投票用紙受取高  
内 何 千 枚

選舉人へ交付高  
差引殘高  
内  
使用セサル殘紙  
書損汚損等ニテ引換ヘタル分  
一同封筒受取高

選舉人へ交付高  
差引殘高  
内  
使用セサル殘紙  
書損汚損等ニテ引換ヘタル分  
右ノ通りニ候也

明治 年 月 日  
長 官 宛

何 千 枚  
何 千 枚  
何 千 枚  
何 千 枚

何 千 枚  
何 百 枚  
何 十 枚

何 區 長  
何 區 長  
何 區 長  
何 區 長

何 十 枚  
何 十 枚  
何 十 枚  
何 十 枚

何 區 長  
何 區 長  
何 區 長  
何 區 長

投票簿様式(用紙美濃紙)	
選舉人名簿番號	氏名
第一號	何 某 印
第二號	〃 〃 〃 〃

一 投票簿ハ選舉人名簿ノ番號順序ニ依ラス便宜イロハ順トナラセテ妨  
ナシ

投票所様式  
選 舉 人 控 所  
所 付 受

立 會 人  
立 會 人  
理 會 人  
立 會 人  
立 會 人  
立 會 人  
立 會 人  
立 會 人  
立 會 人  
立 會 人

點數簿様式(用紙美濃紙)

得票總數	
區名	得票總數
一	〇
二	〇
三	〇
四	〇
五	〇
六	〇
七	〇
八	〇
九	〇
一〇	〇
一	〇
二	〇
三	〇
四	〇
五	〇
六	〇
七	〇
八	〇
九	〇
一〇	〇



第三類 議員選舉 衆議院

四〇八

二 投票中二人以上ノ被選人ヲ記載シタルモノ  
 三 被選人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ  
 四 何票  
 五 總計 何票  
 十 午後何時投票ノ點檢了リタルヲ以テ開票管理ノ各被選人ノ得票數ヲ明瞭シタリ  
 十一 被選人ノ得票數左ノ如シ  
 何票 氏名  
 何票 氏名  
 十二 開票管理ノ點檢投票ノ有效無効及不受理ノ決定アリタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定アリタル投票ニ在テハ得票者毎ニ之ヲ區別シ無効ノ決定アリタル投票ニ在テハ之ヲ區別シ

(別表)

衆議院議員投票立會人開票立會人費用額

職	名	日	當	宿	泊	料	車	馬	賃	汽	車	賃	船	賃
投票立會人		一日	金五拾錢	一夜	金壹圓	一里	金拾五錢	一哩	金四錢	一哩	金四錢			
開票立會人														
選舉立會人														

○明治三十五年七月二十日總令第百三號  
 衆議院議員選舉法第六十八條ニ依リ選舉會ニ參觀ヲ求ムル選舉人ハ其選舉資格ニ關スル區長ノ證明書ヲ差出スヘシ

○明治三十三年八月二十八日訓令第六十三號(支廳區役所宛)  
 衆議院議員選舉期左ノ通相定ム

發送期日選舉後十日以内

衆議院議員選舉期

テ各別ニ之ヲ封筒ニ入レ開票立會人ト共ニ之ニ封印シタリ  
 十三 午(前後)何時開票所ノ事務ヲ終了ス  
 十四 左ノ何名ハ開票所ノ事務ニ從事シタリ  
 官職 氏名  
 官職 氏名  
 十五 開票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ  
 官職 氏名  
 官職 氏名  
 十六 以上ノ外開票ニ關シ開票管理者ニ於テ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ  
 開票管理者ハ此ノ開票録ヲ作り之ヲ明瞭シタル上開票立會人ト共ニ之ヲ署名ス  
 何年何月何日  
 開票管理者 氏名  
 何區長 氏名  
 開票立會人 氏名

○明治三十五年八月五日總令第百八號  
 衆議院議員投票立會人開票立會人費用支給規程左ノ通定ム

衆議院議員投票立會人開票立會人選舉立會人費用支給規程

第一條 衆議院議員投票立會人開票立會人選舉立會人ニ支給スル費用ハ別表ニ依ル

第二條 日當及宿泊料ハ職務ニ要シタル日數及泊數ニ應ジテ支給ス

第三條 投票立會人開票立會人選舉立會人住所地ヨリ投票所開票所又ハ選舉會場迄ノ旅行ハ往復共其旅費ニ依リ車馬賃汽車賃若ハ船賃ヲ支給ス

○明治三十六年一月二十七日訓令第七十五號(區役所宛)

衆議院議員選舉法第六十一條及同施行令第二十六條ニ依リ開票ノ結果報告ノ際ハ高點者及其次點者ノ附屬ノ概要ヲ別記様式ニ依リ調製シ且選舉法第十一條乃至第十七條ノ各事項ヲ調査シ同時ニ報告スヘシ

第三類 議員選舉 道會

開票所	票納ムル者	直接國稅拾圓以上	選舉權有スル者		投票		數		被選人ノ氏名ヲ書スル能ハサル者	投票者
			華族	士族	無	有	他	計		
合計										

一 本表ハ總選舉臨時總選舉又ハ衆議院選舉法第七十八條第二項ニ依ル補缺選舉ノ都度調査スヘキモノトス

一 直接國稅拾圓以上ヲ納ムルモノ及選舉權有スルモノノ數ハ各選舉期ノ數ヲ記入スヘシ

一 假投票ニシテ受理スヘキモノト決定シタルトキハ表尾ニ其數ヲ再記スヘシ

一 假投票ニシテ受理スヘカワサルモノト決定シタルトキハ其者ヲ選舉權有スル者ノ中ヨリ控除スヘシ

一 被選人ノ氏名ヲ書スル能ハサルモノノ欄ニハ投票所ニ於テ氏名ヲ記スル能ハサルモノ又ハ氏名ヲ記スル能ハサルニ拘ハラズ假リニ投票ヲ爲サシメ受理スヘカワサルモノト決定シタルモノヲモ合記スヘシ但本件ノ場合ハ選舉權有スルモノヨリ控除ノ限アラズ

別記 履歷書様式

本籍地	官位職業(華族)士族(平民)
現住所	何 業
履歷ノ概要	生年月日
任官就職、賞罰事故、或ニ政黨政派ニ關スル重ナル關係	

○明治三十四年四月十九日訓令第三十六號(支廳區役所町村役場長役場宛)

北海道會議員選舉事務取扱手續左ノ通定ム

北海道會議員選舉事務取扱手續

第一條 支廳長役場管轄區域町村ノ境界變更アリタル爲メ選舉人名簿ニ異動ヲ生シタルト

第三類 議員選舉 道會

四〇九











第三類 公共組合

四一八

水面ノ横断面圖ハ土積計算ニ關係ナキ場合ニ於テ全部同一断面ナルトキハ一箇所ノニミチヲ測製シ區域相異ルトキハ區毎ニ一箇所ノ断面ヲ測製シ凡テ計畫水位線ヲ記入スヘシ

第二十四條 橋梁、隧道、暗渠、水揚堰、閘門、階段、橋工等ハ其ノ構造ヲ表ハスニ必要ナル圖面ヲ調製シ各部ノ寸法ヲ記入シ且水路又ハ河川ニ關スルモノニハ計畫水位、平水位、洪水位ヲ附記スヘシ但シ構造ノ同一ナルモノハ一箇所ノ外之ヲ省略スヘシ

第二十五條 一覽圖ニハ國郡町村境界其ノ他一般ノ地形ヲ表ハスニ必要ナルモノハ遺漏ナク記入シ工事施行ノ位置ハ朱線ニテ示スヘシ

第二十六條 費用概算書(第一號樣式)ニハ各工事毎ニ概算内訳書(第二號樣式)ヲ調製シテ明細ニ記シ算出ノ基礎トナルヘキ事項ハ漏レナク記入シ且摘要欄内ニハ工作物材料ノ用途ヲ示スヘシ内訳書ニテ單價ノ算出方法ヲ示シ難キトキハ別ニ單價表(第三號樣式)ヲ添付スヘシ土工ノ費用ニハ七坪計算表(第四號樣式)ヲ添付スヘシ

第二十七條 事業ノ規模極メテ輕少ナル場合ニ限リ第十九條ヨリ第二十五條ニ至ル書類中一部條項ノ省略ヲナスコトヲ得

第二十八條 組合ノ事業ニシテ數年ヲ期シ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ總會又ハ職員會ノ議決ヲ經テ其年其年各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第二十九條 收支豫算決算連續費ノ年報及支出方法ノ調製式、收支ノ年度所屬區分、毎年度収支餘金ノ處分ハ北海道ニ級町村ノ例ニ據ルニ據リ繼續費毎年度ノ仕拂殘額超過使用ノ方法モ亦前項ニ同シ

第三十條 組合ハ組合加入ニ同意セラル者ニ對シ加入ヲ命セラレシコトヲ北海道廳長官ニ申請スルコトヲ得

第三十一條 前項ノ申請ヲ爲サントスルトキハ總會又ハ議員會ノ決議ヲ經テ加入ヲ申請スル必要ヲ認ムヘキ理由書及總會又ハ議員會ノ決議書ノ謄本ヲ申請書ニ添付スヘシ

第三十二條 請求費ノ徴收ヲ區町村長又ハ戸長ニ請求セントスルトキハ滯納者ノ住所氏名滯納金ノ種類額其ノ金額及納期ヲ明カニシタル書類ヲ其區町村長又ハ戸長ニ送付スヘシ

第三十三條 前項徴收ニ關スル費用ハ區町村長戸長ノ請求ニ依リ組合ノ之ヲ償還スヘシ

第三十四條 總會又ハ職員會ノ決議若クハ選舉其ノ權限ヲ越テ法律令若クハ規約ニ背キ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ組合長ハ理由ヲ示シテ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ其ノ決議若クハ選舉ノ執行ヲ停止シ監督官廳ニ意見ヲ具申スルコトヲ得

第三十五條 組合ノ公告ハ發布ノ年月日ヲ記入シ組合長之ニ署名スヘシ

第三十六條 役員ノ認可ヲ申請セントスルトキハ其ノ履歷書及會議録ノ謄本ヲ申請書ニ添付スヘシ

第三十七條 毎年度收支豫算ノ認可ヲ申請セントスルトキハ詳細ナル說明書ヲ申請書ニ添付スヘシ豫算ノ追加又ハ更正ニ付認可ヲ請ハントスルトキ亦同シ

第三十八條 規約又ハ議決書ノ變更役員ノ解任及組合解散ノ認可ヲ申請セントスルトキハ其ノ變更解任又ハ解散ヲ要スル理由ヲ詳カニシタル書類ヲ申請書ニ添へ備組合解散ノ認可ヲ請ハントスルトキハ其ノ都度面ヲ申請書ニ添へ備組合解散ノ認可ヲ請ハントスル場合ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證明スル書類ヲ添付スヘシ

第三十九條 組合ニ於テ規則其ノ他名稱ノ何ナルヲ問ハス各種ノ規程ヲ設ケタルトキハ其ノ都度北海道廳長官ニ報告スヘシ

第四十條 組合長ハ北海道土功組合法施行法第十五條ノ規定ニ依リ毎年度ノ決算書ニ付キ通常總會又ハ議員會ノ承認ヲ受ケタルトキハ一週間以内ニ決算書ヲ添附シ北海道廳長官ニ報告スヘシ

第四十一條 監事員ハ業務執行及財務ノ狀況ヲ監査シタルトキハ其ノ狀況ヲ監督官廳ニ報告スヘシ

第四十二條 組合長辭職セントスルトキハ其ノ申立書ヲ北海道廳長官ニ提出スヘシ

第四十三條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補選候補ノ手續ヲ行フヘキ者アラサルトキハ北海道廳長官ハ臨時關係區町村長戸長ノ一人ヲ指定シ其ノ事務ヲ行ハシム

第四十四條 起債及國庫ノ補助申請ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 北海道廳長官ハ清算人其ノ任ニ適シタルモノ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトアルヘシ

第四十六條 前項ニ依リ解任シタル場合又ハ死亡其ノ他ノ事由ニ依リテ清算人ノ缺ケタルトキハ組合ハ速ニ後任清算人ヲ選任スヘシ

第四十七條 清算ノ終了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ

第四十八條 組合ニ關スル事項ニ付北海道廳長官ニ差出スヘキ書類ハ凡テ所轄支廳長ノ經手スヘシ

樣式 (第一號) 一金何程

何何費概算

金何程 何何工費

金何程 何何工費

金何程 何何工費

樣式 (第二號) 一金何程

幅、深、法、長等

何何工費

種目 寸法 (員數呼) 單價 價格

地 坑 徑長

何 何

何 何

以下皆徵之

掘削及盛土工坪計算表

項目	砂利	石	土	平均	盛乙	盛甲	掘削	盛乙	盛甲	掘削	盛乙	盛甲	掘削	盛乙	盛甲
砂利	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
石	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
土	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
平均	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛乙	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
掘削	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛乙	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
掘削	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛乙	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
盛甲	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
掘削	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

樣式 (第三號) 單價表

名稱 材料 員數 單價 計金

名稱	材料	員數	單價	計金
土砂掘削一坪	人 夫	二 人	五〇〇	一〇〇〇
岩石掘削一坪	石 工 職 人	三 人	八〇〇	二四〇〇
盛土同	人 夫	二 人	五〇〇	一〇〇〇
掘平均同	人 夫	二 人	五〇〇	一〇〇〇
粗長十三尺 三束	...	...	...	...
細長十三尺 三束	...	...	...	...

第三類 公共組合

四一九

第三類 公共組合

同	小	堤							
同	溝	渠							
同	甲	七砂掘削							

備考

一 橋梁暗渠隧道ハ別ニ内課費ヲ要スルヲ以テ本表ヘハ之ヲ除クヘシ  
 同種類ニシテ單價ヲ異ニスルモノハ甲乙又ハイロハ等適宜符合ナ  
 朱記スヘシ尤モ單價表トハ符合スルヲ要ス

明治三十五年十一月九日總令第四百四十一號  
 北海道土功組合法ニ依リ設置シタル組合ノ起債ニ關スル規程左ノ通定ム

北海道土功組合法ニ依リ設置シタル組合ノ起債ニ關スル規程左ノ通定ム

第一條 北海道土功組合ニ於テ起債ヲ爲シ得ルハ組合永久ノ利益ト爲ルヘ  
 キ事業ノ爲ニ一時ニ多額ノ支出ヲ要シ組合員ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限  
 ル

第二條 負債ヲ起スニ付總會又ハ議員會ノ議決ヲ經ルトキハ併テ借入及償  
 還ノ方法並利息ノ定率ニ付議決ヲ經ヘシ

負債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年償還ノ歩合ヲ定メ起  
 債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

第三條 起債ノ認可ヲ申請セントスルトキハ左ノ書類ヲ申請書ニ添附スヘ  
 シ負債變更ノ場合ニ於テモ亦同シ

負債及利子償還ノ財源

將來收入ヲ生スヘキ事業ノ爲負債ヲ起シ其ノ收入ヲ以テ償還ニ充テ  
 トスルトキハ償還期限ノ終リマテ毎年收入ノ年次見込書ヲ添附スヘ  
 シ

負債元利償還ノ年次表(書式第一號ニ依ルヘシ)  
 事業ヨリ生スヘキ利益調査表  
 當該年度公課金負擔一覽表(書式第二號ニ依ルヘシ)  
 既往三箇年(起債年度ノ前年度ヨリ起算ス)ニ於ケル各年度經營費支出  
 額

負債償還年次表

年	度	償還元金	利子(割合)	計
何	年	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
同	同	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
同	同	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇

備考  
 既三負債アルトキハ同年度ニ於テ償還ノ分各欄内ニ朱ニ別記ヲ要  
 ス

公課金負擔一覽表

科	目	金額	納税者總數	總人口ニ對	總戸數ニ對
直接	國稅	〇,〇〇〇	均一人當	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇

北海道地方稅

町村稅	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
町村稅	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
組合費	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇

備考

總人口、總戸數及納税者ノ總數(納税者ノ總數ハ一人ニシテ直接國稅  
 北海道地方稅、町村稅、町村費、組合費ヲ納ムルモノ或ハ其ノ内一科  
 目又ハ二科目ノミヲ納ムルモノモ凡テ一人ニ算シタル總人員ヲ云フ)  
 ナ備考トシテ掲載スヘシ  
 總人口總戸數及納税者ノ總數ハ組合員タル者ニ就テ調査スヘキモノト  
 ス

第三號

組合町村債借入報告

許可年月日	借入年月日	借入金額	利率	債主名
指令番號				

第四號

組合町村債償還報告

許可年月日	償還元金	利率	債主名
指令番號			

備考

債主數名アル場合ハ債主毎ニ各別ニ列記スヘシ  
 ○明治三十五年十二月二十八日告示第七百九十四號  
 北海道土功組合模範規約左ノ如シ  
 甲號(議員會ヲ以テ總會ニ代ヘントスル場合ニ準用スヘキモノ)  
 何國何郡何土功組合規約  
 第一章 總則

第三類 公共組合

第十二條 組合費若ハ夫役現品ニ代フル金員ヲ納期内ニ納メサルトキハ組合長ハ期限ヲ定メテ督促シ仍未完納セサルトキハ速ニ北海道土功組合法第六條ノ請求ヲ爲スモノトス

第三章 財産及會計

第十三條 組合ハ議員會ノ議決ヲ以テ積立金ヲ設クルヲ得

第十四條 積立金ハ有利益證券若ハ有利地方債證券ニ換積シ又ハ大藏省預金若ハ郵便貯金ト爲シ又ハ確實ナル銀行ニ預入シ増殖シ得ルモノトス

第十五條 組合財産ノ貸付貸與又ハ組合ノ工事及物件調達ノ購買ニシテ其ノ見積金額百圓以上ノモノハ公ノ入札ニ付スルモノトス但シ臨時急施ヲ要スルモノ又ハ豫メ議員會ノ承認ヲ得タルモノハ此ノ限ニアラス

第十六條 豫算各款ノ金額ハ甲乙流用セサルヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ限リ議員會ノ議決ヲ經テ流用スルコトヲ得豫算各項ノ金額ハ評議員會ニ諮詢シ其ノ同意ヲ得テ流用スルコトヲ得

第十七條 豫算各日ノ金額ハ組合長ニ於テ流用スルコトヲ得

第十八條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メニ豫算中ニ豫備費ヲ設クルモノトス但シ豫備費ハ議員會ノ否決シタル費用ニ充ツルコトヲ得ス

第十九條 豫算ノ認可ヲ經タルトキハ組合長ハ其ノ原本ヲ會計事務擔掌者ニ交付シ且ツ直ニ其ノ要領ヲ公告スヘシ

第二十條 會計事務擔掌者ハ組合長ノ命令アルニアラサルハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス組合長ノ命令ヲ受クルモ其支出豫算中ニ豫定ナキカ又ハ其ノ命令第五條第十六條ノ規定ニ據ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條 組合長ハ毎年二月以上臨時ニ出納ノ檢査ヲ爲スヘシ

第二十二條 出納檢査ニハ議員二名以上ノ立會ヲ要ス

第二十三條 第十七條第二項及前條ノ規定ハ戶長ノ組合長タル場合ニ適用セス

第二十四條 役員事務員及其ノ任期並職務權限

第二十五條 本組合ニ左ノ役員及事務員ヲ設ケ

一 組合長 一名

二 評議員 若干名

三 書記 若干名

四 技術員 若干名

五 書記及技術員ハ組合長之ヲ任免ス

第二十六條 組合ニ於テ選舉シタル組合長ノ任期

第二十七條 評議員ノ任期ハ二箇年トス

第二十八條 補缺選舉ニ依リ就任シタル評議員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十九條 役員任期ノ滿了ニ因リ退任シタルトキハ後任者ノ就任ニ至ルマテ尙其ノ職務ヲ行フ

第三十條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十一條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十二條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十三條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十四條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十五條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十六條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十七條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十八條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第三十九條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第四十條 役員及事務員ノ辭任ハ組合長ニ申立

第四十一條 議員會ハ組合員ニ於テ其ノ被選舉權アル者ヨリ之ヲ選舉ス其ノ定員ハ(何名)トス

第四十二條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十三條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十四條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十五條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十六條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十七條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十八條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第四十九條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十一條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十二條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十三條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十四條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十五條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十六條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十七條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十八條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第五十九條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十一條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十二條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十三條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十四條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

第六十五條 議員會ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス其ノ選舉區及選舉スヘキ議員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

投票ニ記載ノ被選舉人其ノ選舉スヘキ定数ニ足ラサルモ之ヲ無効トセス又定数ニ過ルトキハ末尾ヨリ其ノ過數ヲ順次除却ス

一人ノ氏名ヲ複記シタルモノハ一人トシテ計算ス

第四十九條 投票ノ受理及效力ニ關スル事項ハ選舉立會人ノ意見ヲ開キ選舉長之ヲ決ス

第五十條 投票ノ時間終リタルトキハ選舉長ハ選舉場ニ於テ投票ヲ檢シ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ當選トシ同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年齡ナルトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第五十一條 選舉長ハ選舉場ヲ作リテ選舉ノ顔末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後之ヲ開讀シ立會人ト共ニ記名捺印スヘシ

第五十二條 投票ハ有效無効ヲ區別シテ之ヲ封緘シ選舉立會人ニ之ヲ封印スヘシ

第五十三條 投票選舉長其ノ他選舉ニ關スル一切ノ書類ハ投票ノ效力確定スルマテ之ヲ保存スヘシ

第五十四條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉長ハ關係書類ヲ添ヘ其ノ結果ヲ組合長ニ報告スヘシ

第五十五條 當選人定マラタルトキハ組合長ハ當選者ニ當選ヲ通知スヘシ

第六十六條 一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當選シタルトキハ最後ノ通知ヲ受タル日ヨリ五日以内ニ

二何レノ選舉區ノ當選ニ應スルヤト見出サヘシ若期限内ニ其ノ届出ヲ爲ササルトキハ凡テ當選ヲ辭シタルモノト見做ス

前項ニ依リ當選區決定シタルトキハ之ヲ組合内ニ公告スヘシ

第五十七條 組合員選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ七日以内ニ組合長ニ申立ルコトヲ得

第五十八條 選舉ノ規定ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トシ更ニ選舉ヲ行フモノトス

第五十九條 組合員中選舉權ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フ

第六十條 議員ノ職務限及處理規程

第一 組合規約ヲ變更スル事

第二 組合規約ヲ改定シ及變更スル事

第三 組合規約ヲ支拂フヘキ事業

第四 決算報告ヲ承認スル事

第五 貸付料組合費及天役現品ノ賦課徴收方法ヲ定ムル事

第六 組合財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

第七 役員及事務員ノ給料及諸給與ノ額並其ノ支給方法ヲ定ムル事

第八 貸付債務額及其ノ支給方法ヲ定ムル事

第九 組合有不動産ニ關シ權利ヲ得喪サ目付トス

第十 組合規約ヲ變更スル事

第十一 收支決算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事

第十二 組合ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

第十三 組合ノ選舉ニ係ル組合員ニ屬スル會計事務擔任者ノ身元保證金ヲ徵シ其ノ金額ヲ定ムル事

第十四 其ノ他法律命令又ハ此ノ規約ノ定ムル所ニ依リ其ノ職權ニ關スル事項

第六十一條 議員會ハ組合ノ事業ニ關シ意見書ヲ組合長ニ提出スルコトヲ得

第六十二條 議員會ハ組合事業ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ組合長ノ報告ヲ請求シ事務ノ管理議決ノ施行徵收入支出ノ正否ヲ監査スルコトヲ得

第六十三條 議員選舉ノ效力若ハ議員ノ資格ニ關スル異議ハ議員會ニ於テ之ヲ決定スヘシ

第六十四條 議員會ノ會期ハ通常會ハ七日以内臨時會ハ三日以内トス

第六十五條 議員會ハ組合長ヲ以テ議長トシ組合長事務放アルトキハ出席ノ議員中ヨリ臨時議長ヲ選舉スルモノトス

第六十六條 議員會ハ組合長之ヲ招集スルノ招集ハ少クモ會議ノ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但シ急遽シテ要スル事件ハ本文ノ日限ニ依リサルコトヲ得

第六十七條 前項ノ招集ニハ會議ノ事件ヲ記載シ招集者之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第八十一條 清算ヲ終了シタルトキハ清算人ハ直ニ清算報告書ヲ總會ニ提出シ承認ヲ求ムルモノトス

乙號(議員書ヲ設ケタル場合ニ準用スヘキモノ)何國何郡何町何字何番

第一章 總則

第一條 本組合ハ何何道路(橋梁)(用水)(排水)(堤防)ノ施設維持ニ關スル(組合地内ニ於ケル農業上ノ有害物ヲ除去シ及豫防スル)事業ノ爲ニ設置スルモノトス

第二條 本組合ハ何何町何字何番ノ組合長トシ

第三條 本組合ノ區域ハ定ムルコトヲ左ノ如シ

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

何郡何町何字何番

第六十七條 議員會ハ組合長之ヲ開閉ス

第六十八條 議員會ハ議員定員半數以上出席スルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再度ニ至ルモ仍ホ半數ニ滿タルトキハ此ノ限ニテアラス

第六十九條 議員會ノ議事ハ過半数ヲ以テ決シ可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依リ但シ法律命令又ハ此ノ規約若ハ本組合ノ規則等ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニテアラス

第七十條 議員會ニ於テ役員ノ選舉ヲ行フトキハ無記名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ最多数ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年齡ナルトキハ議長抽籤シテ之ヲ定ム

第七十一條 前項ノ選舉ニハ議員會ノ議決ヲ以テ指名推薦ノ方法ヲ用非ルコトヲ得

第七十二條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第七十三條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ調製シ其ノ議決ノ顔末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

第七十四條 議員會ハ其ノ會議ニ關スル規則ヲ設ケタルコトヲ得

第六十五條 組合員ノ加入及脱退

第七十五條 新ニ組合員ニ加入スル者ハ申込書ニ署名捺印シ組合長ニ提出スヘシ

第七十六條 組合員ニ加入シタル組合員ハ其ノ規約ヲ承認シ承認書ヲ組合長ニ提出スルコトヲ得

第七十七條 規約及設計書ヲ變更セントスル議決ハ議員會ニ於テ議員定數三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ之ヲ爲スヲ得ス

第七十八條 組合ノ解散及清算

第七十九條 本組合ヲ解散シタルトキハ組合長並總會ニ於テ選舉シタル者(何名)清算人トナル

第八十條 本組合ヲ解散シタルトキハ其ノ残餘ノ財産ハ解散當時ニ於ケル現在組合員ニ分配ス其ノ分配ノ標準ハ解散ノ議決ヲ爲ス際總會ニ於テ之ヲ定ム

第八條 前條ノ組合費ハ組合員ノ所有又ハ占有ノ土地(土地及家屋)ヲ標準トシテ賦課ス

第九條 組合ハ其事業ノ爲メ夫役現品ヲ賦課スルコトアルヘシ

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外組合費ノ賦課額ヲ標準ト爲シ且ツ之ヲ金額ニ算出シテ賦課スルモノトス

夫役課課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代人ヲ出スコトヲ得

夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第十條 組合費ノ賦課額ハ其ノ事業ヨリ受ケル利益ヲ標準トシ總會ノ議決ヲ以テ區域ナリ其ノ割合ニ差等ヲ設クルコトヲ得

第十一條 組合費ノ賦課期日ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第十二條 組合費ノ納期ハ賦課期日後一箇月以内トス

期內ニ納メザルトキハ組合長ハ期限ヲ定メテ督促シ仍ホ完納セザルトキハ速ニ北海道工務組合法第六條ノ請求ヲ爲スモノトス

第十三條 組合ハ總會ノ議決ヲ以テ積立金ヲ設ケルヲ得

積立金ノ利用方法ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

積立金ハ有利國債證券ハ有利地方債證券ニ換儲シ又ハ大藏省預金若ハ郵便貯金ト爲シ又ハ確實ナル銀行ニ預入シ増殖ヲ計ルヘキモノトス

第十四條 組合財産ノ賣却貸與又ハ組合ノ工事及物件調達ノ請負ニシテ其ノ見積金額百以上ノモノハ公ノ入札ニ付スルモノトス但シ臨時急務ナリト認めタル場合ニハ此ノ限ニ依ラズ

第十五條 豫算各款ノ金額ハ甲乙流用セザルヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ限リ總會ノ議決ヲ經テ流用スルコトヲ得

豫算各款ノ金額ハ評議員會ニ諮詢シ其ノ同意ヲ得テ流用スルコトヲ得

豫算各款ノ金額ハ組合長ニ於テ流用スルコトヲ得

第十六條 組合ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫算中ニ豫備費ヲ設ケルモノトス但シ豫備費ハ總會ノ議決ヲ經テ充ツルコトヲ得

第十七條 豫算ノ認可ヲ經タルトキハ組合長ハ其ノ原本ヲ會計事務担当者ニ交付シ且ツ直ニ其要領ヲ公告スヘシ

會計事務担当者ハ組合長ノ命令アルニアラサレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ組合長ノ命令ヲ受ケルモ其ノ支出豫算中ニ限定ナキカ又ハ其ノ命令第十五條第十六條ノ規定ニ依ラザルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條 組合長ハ毎年二回以上臨時ニ出納ノ検査ヲ爲スヘシ

第十九條 第十七條第二項及前條ノ規定ハ戶長ノ組合長タル場合ニ適用セズ

第二十條 役員事務員及其ノ任期職務權限

一 組合長 一名

二 評議員 若干名

要ストキ又ハ豫メ總會ノ承認ヲ得タルトキハ此ノ限ニアラス

第二項第三項ノ處分ハ次ノ總會ニ報告スルコトヲ要ス

第十六條 組合ハ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲メ豫算中ニ豫備費ヲ設ケルモノトス但シ豫備費ハ總會ノ議決ヲ經テ充ツルコトヲ得

第十七條 豫算ノ認可ヲ經タルトキハ組合長ハ其ノ原本ヲ會計事務担当者ニ交付シ且ツ直ニ其要領ヲ公告スヘシ

會計事務担当者ハ組合長ノ命令アルニアラサレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ組合長ノ命令ヲ受ケルモ其ノ支出豫算中ニ限定ナキカ又ハ其ノ命令第十五條第十六條ノ規定ニ依ラザルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條 組合長ハ毎年二回以上臨時ニ出納ノ検査ヲ爲スヘシ

第十九條 第十七條第二項及前條ノ規定ハ戶長ノ組合長タル場合ニ適用セズ

第二十條 役員事務員及其ノ任期職務權限

一 組合長 一名

二 評議員 若干名

三 組合費ヲ以テ支拂スヘキ事業

四 收支豫算ヲ定ムル事

五 決算報告ヲ承認スル事

六 貸貸料組合費及夫役現品ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事

七 組合財産及管造物ノ管理方法ヲ定ムル事

八 役員ノ給料及諸給與ノ額並其ノ支給方法ヲ定ムル事

九 質貸有償額及其ノ支給方法ヲ定ムル事

十 組合費ノ賦課ニ關シ權利ノ得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲ス事

十一 收支豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ又ハ權利ノ拋棄ヲ爲ス事

十二 組合ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

十三 組合ノ選舉ニ係ル組合長ニ關スル會計事務担当者ノ身元保證金ヲ徵シ其金額ヲ定ムル事

十四 組合ヲ解散スル事請願ノ方法ヲ定ムル事

十五 其ノ他法律命令又ハ此ノ規約ノ定ムル所ニ依リ總會ノ職權ニ屬スル事項

第三十九條 總會ハ組合ノ事業ニ關シ意見書ヲ組合長ニ提出スコトヲ得

總會ハ組合長又ハ官廳ノ諮詢アルトキ意見ヲ答申ス

第四十條 總會ハ組合事業ニ關スル書類及計算書ヲ檢閲シ組合長ノ報告ヲ請求シ事務ノ管理豫算決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ監査スルコトヲ得

第四十一條 總會ハ組合長ヲ以テ議長トシ組合長事務アリトキハ出納ノ組合員中ヨリ臨時假議長ヲ選舉スルモノトス

第四十二條 總會ハ組合長之ヲ招集ス其ノ招集ハ

三書 記 若干名

四技術員 若干名

第二十一條 書記及技術員ハ組合長之ヲ任免ス

第二十二條 組合ニ於テ選舉シタル組合長書記及技術員ハ有給トス

評議員ハ名譽職トス

名譽職役員ハ職務取扱ノ爲メ要スル質貸ノ擔價ヲ受ケルコトヲ得

第二十三條 組合ニ於テ選舉シタル組合長ノ任期ハ就職ノ日ヨリ三箇年トス

第二十四條 評議員ノ任期ハ二箇年トス

第二十五條 補選選舉ニ依リ就任シタル評議員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十六條 役員任期ノ満了ニ因リ退任シタルトキハ後任者ノ就任ニ至ルマテ尙其ノ職務ヲ行フ

第二十七條 役員ノ辭任ハ組合長ニ申立ツヘシ

第二十八條 組合長ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 總會ノ議事ヲ準備シ其ノ議決ヲ執行スル事

二 組合ノ財産及管造物ヲ管理スル事

三 組合ノ收入ヲ管理シ收支豫算其ノ他總會ノ議決ニ依リ定マリタル收入支出ノ命令ヲ會計及出納ニ監視スル事

四 事務員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ懲責及解職トス

五 組合諸證書及其ノ他ノ書類ヲ保管スル事

六 貸貸料組合費及夫役現品ノ賦課徵收スル事

七 其ノ他組合長ノ職權ニ屬スル事

第二十九條 總會招集ニ應ゼザルトキハ組合長ハ其ノ議決ヘキ事件ヲ議決處分シスコトヲ得

少クモ會議ノ五日前 書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但シ急務ナリトシテ事件ハ本文ノ日限ニ依リテ決定スルコトヲ得

前項ノ招集ニハ會議ノ事件ヲ記載シ招集者之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第四十三條 總會ノ會期ハ七日以内ノ範圍ニ於テ組合長之ヲ定ム

第四十四條 總會ハ組合長之ヲ開閉ス

第四十五條 組合員ハ書面又ハ代人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得

代人ハ組合員タル者ニ限リ且ツ一人ニシテ數人ノ代理ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 總會ノ議事ハ組合員ノ半數以上ノ同意ヲ以テ決メ可同數ナルトキハ議長ノ決メル所ニ依リ但シ法律命令又ハ此ノ規約若ハ本組合ノ規則等ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニアラス

第四十七條 總會ニ於テ役員ノ選舉ヲ行フトキハ匿名投票ヲ以テ之ヲ爲シ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年齡ナルトキハ議長補選シテ之ヲ定ム

前項ノ選舉ニハ總會ノ議決ヲ以テ指名推薦ノ方法ヲ用ルルコトヲ得

左ノ投票ハ無効トス

一 被選人何人タルヲ確認シ難キモノ

二 被選人何人タルヲ記載シ難キモノ

投票ノ效力ニ關スル事項ハ總會之ヲ決メ

第四十八條 前條ノ規定ニ依リテハ外總會ニ於テ行フ選舉ノ規定ハ會議規則中ニ之ヲ規定スヘシ

第四十九條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

總會其ノ議決ヘキ事件ヲ議決セシメ又ハ議決セザルトキハ前項ノ例ニ依リテ之ヲ定ム

本條ノ規定ハ法律又ハ命令ニ於テ總會ノ議決ヲ要スルノ規定アル事項ニ付テハ適用スルノ限ニアラス

第三十條 評議員會ハ必要アルトキニ於テ組合長之ヲ招集ス

評議員定員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ組合長ハ必ズ評議員會ヲ招集スヘシ

第三十一條 評議員會ハ出席評議員中ヨリ議長ヲ選舉スヘシ

第三十二條 評議員會ハ定員ノ三分ノ一以上出席スルニアラザレハ會議ヲ開クコトヲ得ズ

第三十三條 評議員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決メ可同數ナルトキハ議長ノ決メル所ニ依リ

第三十四條 第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ之ヲ評議員會ニ適用ス

第三十五條 評議員會ハ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査スルカ爲メ評議員中ヨリ委員ヲ選舉スルコトヲ得

第三十六條 書記ハ組合長ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事シ技術員ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ技術ニ關スル事務ニ従事ス

組合長ハ書記シテ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第三十七條 組合長ハ本規約其ノ他ニヨリ事務ヲ執行スルカ爲メ職務ノ細則ヲ設ケルコトヲ得

第五章 總會

第三十八條 總會ノ議決ヘキ事件左ノ如シ

一 組合規約ヲ變更スル事

二 諸規則ヲ設定シ及變更スル事

第五十條 議長ハ書記ヲシテ會議ヲ調製シ其ノ議決ノ額未達出席員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

第五十二條 新ニ組合員ヲ加入スル者ハ申込書ニ署名捺印シテ組合長ニ提出スヘシ

第五十三條 組合員ハ現ニ組合事業ノ利益ヲ受クル能ハサルニ至リタル場合ニアラサレハ脱退スルヲ得ス

第五十四條 規約及設計書ヲ變更セントスル議決ハ總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ之ヲ爲スヲ得ス

第五十五條 本組合ヲ解散シタルトキハ組合長暨總會ニ於テ選舉シタル者(何名)清算人トナル

第五十六條 本組合ヲ解散シタルトキハ殘餘ノ財産ハ解散當時ニ於ル現在組合員ニ分配ス其分配

ノ標準ハ解散ノ議決ヲ爲ス際總會ニ於テ之ヲ議定ス

第五十七條 清算ヲ終了シタルトキハ清算人ハ直ニ清算報告書ヲ總會ニ提出シ承認ヲ求ムルモノトス

○明治三十六年一月十日告示第十七號  
北海道總督知事兼  
右北海道土功組合法施行令第十條ニ依リ右野田室知郡若見澤村川向土功組會長ニ指定シタリ

第五條 賑恤ヲ受居ル者死亡ノ前ハ埋葬料トシテ金一圓給與ノ事

第六條 流行病ニ罹リ日下儼然ニ迫ル者ハ第二條ノ例ニ據テ給與スヘキ事

第七條 水災風災等ノ難ニ遇ヒ日下儼然ニ迫ル者ハ日數十五日間男ハ一日米三合(六十年以上十三年以下ハ女ノ割合ヲ以テ給與)女ハ二合ツツ給與ノ事

第四類

●賑恤救濟

●窮民賑恤

○明治九年九月二十三日開拓使札帳本廳丙第五百七十六號通(各分署宛)

本使管内窮民賑恤規則別紙ノ通更更正相成候條爲心得此旨相達候事

但是迄各地窮民(前成規ニ照シ救助致來候分更正規則ニ抵觸給シ難キ者ハ速ニ停止其旨可届出

○九年九月開拓使前館支廳第七十一號ヲ以テ同様ノ達アリ略ス) (別紙)

開拓使管内窮民賑恤規則  
第一條 獨身癱瘓ニテ産業ヲ營ム能ハサル者或獨身ニテ七十歳以上及學業七十歳以上ノ者一人ニ付一箇年現米一石八斗給與ノ事

第二條 獨身ノ者重病ニ罹リ産業ヲ營ム能ハサルトキハ病氣中男ハ一日米三合(麥ハ六合雜穀ハ九合)女ハ二合(麥ハ四合雜穀ハ六合)ツツ給與ノ事(以下雜穀ヲ以テ給與スルハ此例ニ準ス)

第八條 前條ノ難ニ逢ヒ小屋掛ヲ營ム能ハサル者ハ其災害ノ景況ニ因リ一戸金五圓乃至一圓ツツ五箇年賦返納ノ積ヲ以テ貸渡スヘキ事

第九條 前條ノ場合ニ於テ農具差支ノ者ハハ銀錢等ノ類其土地相當ノ價取調一戸拾圓以内ノ金額五箇年賦返納ヲ以テ貸渡スヘキ事

第十條 連村連市一時暴災ニ罹リ日下窮困ニ迫ル者十五日以内ハ貸出米ヲ給與シ其災害ノ景況ニ因リ假リニ小屋掛ヲ營ミ一時ノ急ヲ救フハ適當タルヘキ事(假令ハ洪水ニテ數村一面水溝へ家屋流亡シ人畜死傷スルノ類)

第十一條 以上諸件ハ先ツ本支廳限リ處分シ速ニ其事情ヲ長官へ具申スヘシ

第十二條 天災地變ニテ家産蕩盡ノ節夫食糧物貸渡ノ事  
第十三條 非常ノ災變ニテ牛馬斃レ耕作差支ノ節代價貸渡ノ事  
第十四條 以上二件ハ其時時長官へ具狀シ許可ヲ經施行スヘシ

○明治十六年八月十一日札帳乙第百二十七號通(郡區役所長長發場宛)  
令般乙第百二十六號ヲ以テ同身老幼癱瘓疾病三係ル

窮民賑恤ノ義委任候ニ付有取振振事ノ可相成得此旨相達候事

第六條施行表本年ハ後半年分ヨリ差出スヘシ

第七條 獨身老幼癱瘓疾病三係ル窮民賑恤ハ能ク其事實行查査第一號式ノ通出願爲明治九年(九月)開拓使本廳開拓使管内窮民賑恤規則

第一條ヨリ第四條迄ニ照シ其種類ヲ區別シ救助ノ手續ヲナシ其時時第二號式ノ通出願ヲヘシ  
但他府縣ヨリ寄留スル者日數九十日ニ滿スルト雖モ本文ニ適スル者ハ救助ノ手續ヲナス勿論トス(十六年十月札帳乙第百八十號ヲ以テ便宜追加)

第二條 第一條ノ手續了リ賑恤米代金下渡ノ儀ハ第三號式ノ通出願ヨリ申出シ明治八年(四月)内務大臣省乙第六十三號建二據リ日給ト月給トヲ區別シ給與ノ手續ヲナスヘシ

第三條 恤救者死亡ノ節ハ埋葬料ハ第四號式ノ通出願ヨリ申請セシメ明治九年(九月)開拓使本廳開拓使管内窮民賑恤規則第五條ニ據リ給與ノ手續ヲナシ第五號式ノ通出願ヲヘシ

第四條 恤救米代金管理料ハ豫テ概算ヲ以テ會計課ヨリ受取置キ必運送ナキ様下渡シ賑恤ノ旨意ヲ失ハサル様注意スヘシ

第五條 恤救者其積年賑恤救許可届出ノ時日米額代價及ヒ毎月戸長等ノ間授受ノ濟否等調査ニ便ナラシメ第六號式ノ賑恤表ヲ製シ其都度登記スヘシ

第六條 賑恤施行濟第七號式(明治十五年十一月内務省乙第六十二號建二據ル)ニ照シ半年毎ニ取調前半年分ハ七月三十一日限リ後半年分ハ翌年一月三十一日限リ兩度ニ有無トモ届出ヘシ

第四類 賑恤救濟 窮民賑恤

(二十一年十月内務省訓令第二十號二十三年八月同省訓令第三十號ニ依リ半報ヲ年報ニ改正三十一年三月北海道廳訓令第十一號ヲ以テ報告期ヲ改ム)

第七條 恤救者疾病全快ニ及ビ又ハ孤兒他人ノ養子トナリ養育行届等ノ類ハ在官支給セサル様戶長役場ハ勿論區郡役所ニテ當ニ注意シ右ノ場合ニ於テハ直ニ給與ヲ廢止シ其官届出ツヘシ(十六年八月札幌縣乙第百三十九號ヲ以テ本條追加)

第一號式  
御賑恤米給與ノ儀願  
國郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人) 職業其父母兄弟姉妹妻子女  
何 某  
明治何年何月何日何箇月  
右何某儀何年何月何日何事故(譬ヘハ獨身老幼癩疾疾病等其名稱ニテ親戚或ハ市町村内隣保ノ情証ヨリ助力ヲ受ケ居候處右不行届ノ次第又ハ跛躄盲目ノ類ニテ手業ヲ以テ生計營ミ來リシカ終ニ爲ス能ハス去他ニ保護ヲ受クヘキモノモ之レナキ等其事實詳悉記載)ニ付相當ノ御賑恤米下賜リ度此段添願候也

年月日 右 何 某印  
又ハ親戚 鄰族族籍 何 某印  
郡區長宛 戶長奥書 願之趣簡届一箇年米一石八斗(又ハ一日米何合)給與候事(朱記)

四三〇

明治年月日 郡區長印

第二號式  
窮民賑恤ノ儀願届  
何郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人)何某(獨身老幼癩疾疾病)ニテ自ラ生活スル能ハサルニ付賑恤相成度旨願届候ニ付其情況取調候所云云ニ付開拓使管内賑恤規則第何條ニ照シ賑恤取計候條別紙書類相添此段御届仕候也  
年月日 郡區長 何 某印  
縣令宛

第三號式  
日給仕出ノ分  
住出  
國郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人)其父母兄弟姉妹妻子女  
何 某  
一金何圓何錢何厘  
此米何石何斗何升何合(但前月下來相場一石ニ付金何圓何錢何厘)  
是ハ何何ニ付御賑恤米一日何合ノ割ヲ以年月日ヨリ何日マテ日數何日分如是  
右仕出候也  
年月日 郡町村戶長 何 某印  
住出  
國郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人)其父母兄弟姉妹妻子女  
何 某  
一金何圓何錢何厘  
此米何石何斗何升何合(但前月下來相場一石ニ付金何圓何錢何厘)  
是ハ何何ニ付御賑恤米一箇年何石何斗何升何合ノ割ヲ以年月分如是

右仕出候也

第四號式  
住出  
國郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人)其父母兄弟姉妹妻子女  
何 某  
一金何圓  
是ハ何何ニ付御賑恤ニ相成居候處本月何日病死ニ付埋葬料如是  
右仕出候也  
年月日 郡町村戶長 何 某印  
第五號式  
恤救者死亡之儀願届  
國郡町村番地華土族平民(又ハ舊土人)職業其父母兄弟姉妹妻子女  
何 某  
一瘞疾(又ハ何何) 何  
右之者年月日何何ノ症ニ罹リ死亡候段該郡戶長ヨリ届出候ニ付成規ノ通埋葬料給與候條此段御届仕候也  
年月日 郡區長 何 某印  
縣令宛

第六號式

明治何年 至 何月 賑恤表		何國何郡何村何番地華土族平民(又ハ舊土人)其父母兄弟姉妹妻子女		何 某		明治何年何月何箇月	
名 稱		許可ノ時日		年給米額		死亡又ハ廢止ノ年月日	
(癩疾何何云)		明治何年何月何日		何石何斗何合		明治何年何月何日	
月名		何月何日		何月何日		何月何日	
戶長仕出書到達ノ月日		何月何日		何月何日		何月何日	
代金戶長へ交付ノ月日		何月何日		何月何日		何月何日	
領收證書到達ノ月日		何月何日		何月何日		何月何日	
月給米額		何升何合		何升何合		何升何合	
日給米額		何圓錢厘		何圓錢厘		何圓錢厘	
月給米額		何升何合		何升何合		何升何合	
月給米額		何圓錢厘		何圓錢厘		何圓錢厘	
計		通		計		通	
何石何斗何升何合		何圓何錢何厘		滿一箇年又ハ何箇月		滿一箇年又ハ何箇月	
何石何斗何升何合		何圓何錢何厘		滿一箇年又ハ何箇月		滿一箇年又ハ何箇月	
何圓何錢何厘		何圓何錢何厘		滿一箇年又ハ何箇月		滿一箇年又ハ何箇月	
何圓何錢何厘		何圓何錢何厘		滿一箇年又ハ何箇月		滿一箇年又ハ何箇月	

第四類 賑恤救濟 窮民賑恤

四三一





第四類 賑恤救濟 施療

○明治十七年三月九日根室縣第三十一號連(郡役所)長役場宛
客年(十一月)乙第百八十五號連特任條件第一項十二窮民賑恤取扱順序左ノ通可相心得此旨相違候事
窮民賑恤取扱順序
第一條 規則第一條以下第十五條迄ハ左ノ各項ニ依リ取扱モトス
一 獨身老幼癯疾疾病ニ係ル窮民賑恤ハ能ク其事實ヲ審査シ第一號式ノ通願書ヲ其種類ヲ區別シ郡役所ニ於テ救助ノ手續ヲナスヘシ

第二條 規則第六條以下第十條迄ハ適宜處分シ直ニ其景況ヲ具狀スヘシ
第三條 規則第十一條第十二條ハ稟議處分スルモ(書式)ハ前出開拓使札帳本總丙第七十六號ニ附屬シアルヲ以テ茲ニ略ス
○明治十七年十二月二十五日函館縣乙第六十五號連(郡役所)長役場宛
明治九年(九月十一日)開拓使函館支廳第七十一號送賑恤規則取扱手續左ノ通相心得此旨相違候事
第一條 第一條ノ獨身癯疾者アルトキハ戶長ハ實地ヲ點檢シ本人ノ願書ニ戶籍面寫ヲ添ヘ差出スヘシ

第二條 第二、三條ノ重病者ハ前項同斷ノ書類ハ尙醫師ノ診斷書ヲ添ヘ差出スヘシ
第三條 第四條孤兒ハ戶長ニ於テ實際ノ情狀ヲ具ヘ戶籍面寫ヲ添ヘ差出スヘシ尤尙條但書他人ノ養子トナリタルモノハ其養家ノ戸主ヨリ出願セシムヘシ
第四條 第五條賑恤ヲ受ケ居ルモノノ死亡ノ節埋葬料ヲ給スルハ其親族アルモノハ親族ヨリ孤獨者ハ其埋葬料執行スル者ヨリ出願セシムヘシ
第五條 第六、七條ノ出願者アルトキハ戶長實地ヲ調査シ郡區長ニ申立郡區長ハ委任條件ニ依リ處分ナリシ置キ連ニ具申スヘシ
第六條 第八條ハ本人出願シタルトキハ戶長ハ實地ヲ點檢シ事實相違ナキハ差出スヘシ
第七條 第九條ノ場合ニ於テハ本人ノ願書ハ麻濱馬納稻取扱肥桶等總テ要品ノ箇數ト土地相當ノ代價ヲ記シタル書類ヲ添ヘ差出スヘシ
第八條 第十條ノ場合ニ於テハ是亦委任條件ニ依リ郡區長ニ於テ直ニ適宜ノ處分ナリシ實地ノ狀況措置等連ニ具申スヘシ
第九條 第十一、第十二條ノ夫食糧物非借出願スルトキハ其耕地別及穀數等明細書牛馬ハ其代價帳ヲ添ヘ差出スヘシ
第十條 總テ貸下金給本人ハ交付スルドキハ成規ノ證書ヲ取立差出スヘシ
但本人ノ情願或ハ事務取扱ノ都合ニ因リテハ當額預金ニ添ヘ差出モ妨ケナシ
第十一條 實際ノ狀態ニ依リ以上ノ手續ヲ爲シ難キ事由アルモノハ適宜各項ニ比準シテ取扱フヘシ

○明治二十年五月二十八日總令第五十八號
○明治二十年六月三日總令第五十號(郡役所)長役場宛(立病院)宛
施療規則左ノ通相定メ本年六月一日ヨリ施行ス
但明治十七年(九月)根室縣甲第五十六號布達及同十八年(二月)函館縣甲第十號布達ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス
貧窮患者施療規則
第一條 本道人民疾病ニ罹リ貧窮ニシテ自費治療シ能ハス施療ヲ受ケントスルモノハ此規則ニ依リルヘシ
第二條 此規則ニ依リ施療ヲ受ケヘキモノハ左ノ記載シタル貧窮者ニ限ルモノトス
一 地方稅ノ口數割及區町村費ノ賦課ヲ免セラレタルモノニシテ一家ヲ爲ス能ハサル者或ハ其家族(二十一年三月總令第二十三號)ヲ以テ本項中改正)
一 賑恤規則ニ據リ教育米ノ給與ヲ仰ク者或ハ其家族
第三條 施療ヲ受ケントスル者ハ所轄郡區役所又ハ戶長役場ニ申出施療券ヲ受ケヘシ
第四條 施療券ヲ受取タル者ハ券面ニ記載スル病院又ハ開業醫ノ治療ヲ受ケルコトヲ得
第五條 施療券ハ一人一枚トシ交付ノ月ニ限リ其效チ有ス若シ翌月ニ涉リ疾病尙全癒セザルトキハ更ニ新券ヲ受ケヘシ
第六條 疾病全癒セントキ又ハ他郡區他部内へ移轉シタル時ハ已ニ受取タル施療券ヲ當額預付セシ郡區役所戶長役場ニ還納スヘシ
第七條 新券ヲ受タルトキ舊券還納ノ手續亦同シ
第七條 水火盜難若クハ遺失毀壞等ニ依リ施療券ヲ失フタルトキハ當額預付セシ郡區役所戶長役場ニ申出新券ニ施療券ヲ受ケヘシ
○明治二十年六月三日總令第五十號(郡役所)長役場宛(立病院)宛

今般總令第五十八號ヲ以テ貧窮患者施療規則相定候ニ付取扱手續左ノ通定

但公私立病院開業醫ハ郡區役所ヨリ連方取計フヘシ
貧窮患者施療取扱手續
第一條 貧窮患者施療券ヲ乞ハントスル者アルトキハ郡區役所又ハ戶長役場ニ於テ之ヲ審査シ規則第二條ニ該當スルモノハ施療券ヲ付與シ醫藥ヲ受ケヘキ病院又ハ開業醫ヲ指示スヘシ
第二條 施療券ハ限テ見積ヲ立テ郡區役所ヨリ本廳第一號ニ請求スヘシ
第三條 郡區役所戶長役場ニ於テハ施療券發給簿置キ施療券ヲ付與スルトキハ第一號式ノ如ク患者ノ族籍氏名等ヲ記載スヘシ
第四條 施療券ヲ携帶醫藥ヲ乞フ者アルトキハ病院又ハ開業醫ハ通常患者ト同ク醫藥ヲ加ヘ投藥ノ時該券裏面ヘ第二號書式ノ如ク投劑名及藥價ヲ記入押印シ本人ハ交付スヘシ
第五條 病院又ハ開業醫ハ第三號書式ニ從ヒ前月中ノ藥價請求書ヲ作リ翌月十日ヲ期シ施療券ヲ發シタル郡區役所戶長役場ニ送付スヘシ
第六條 施療券ヲ還付シタルトキハ發給簿ニ照合シ其旨ヲ記載スヘシ
第七條 郡役所戶長役場ハ病院又ハ開業醫ノ送付シタル藥價請求書ヲ審査シ金額受取方本廳第四部ニ請求スヘシ
第八條 病院又ハ開業醫藥價ヲ領收シタルトキハ第四號書式ニ從ヒ其證書ヲ差出スヘシ
第九條 水火盜難若クハ遺失毀壞ニ依リ更ニ施療券ヲ乞フモノアルトキハ其旨稟報ヘ記入シ新ニ之ヲ付與シ其醫藥ヲナス病院又ハ開業醫ヘ通知スヘシ
(別冊)
第一號書式
施療券發給帳記帳例
施療券 何年何月何日 北海道何郡區何町村何番地在籍 何郡區何番地在籍 職業 何 年 月 日 印
下剽印 施第何號

Table with columns for patient details and dates. Includes '第二號書式' and '△印ハ朱書'.

第四類 賑恤救濟 施療

第四類 賑恤救濟 行旅病人及死亡人棄兒

二十日	二十
八日	二十
三十日	三十
合計金	三十

第三號書式

何月分賑恤請求書  
 一 金何圓何錢  
 金何圓何錢  
 水藥何日分  
 金何圓何錢  
 何藥何日分  
 金何圓何錢  
 (如此一人別ニ金員ヲ區別スヘシ)  
 右之通本年何月中施療券攜帶ノモノハ藥劑相與候條右金員御渡相成度候也  
 何病院長(院長ナキトキハ首席醫員)  
 開業醫  
 年 月 日  
 會計主務官宛

第四號書式

何月分賑恤領收書  
 一 金何圓何錢  
 金何圓何錢  
 水藥何日分  
 金何圓何錢  
 何藥何日分  
 金何圓何錢  
 (如此一人別ニ金員ヲ區別スヘシ)  
 以上本年何月中施療券攜帶ノモノハ付與シタル藥劑價今同交付ノ分  
 右正ニ請取候也  
 何病院長(院長ナキトキハ首席醫員)  
 開業醫  
 年 月 日  
 會計主務官宛

●行旅病人及死亡人棄兒

○明治十六年十一月三十日札幌縣乙第二十四號建(郡區役所宛)  
 棄兒死亡ノ節埋葬料給與ノ義ニ付別紙第六十九號何ヘ米書ノ通指令相成候條爲心得此旨相達候事  
 (別紙)  
 天第六十九號  
 棄兒死亡ノ節埋葬料給與ノ義何  
 茲ニ棄兒アリ買受人又ハ養育人無之タメ其所預トナシ教育セシムルモノアリ右棄兒死亡ノ節埋葬料三圓ノ費用等支辨ノ道無之差支不足是事ハ地方費教育費ノ内ヨリ支出現費給與致シ可然哉  
 一 棄兒買受人ニ於テ成規ノ養育米ヲ受ケ居ルモノ貧困ニシテ其棄兒死亡ノ節自費埋葬料行届モノアリ右ハ當初救助ノ爲志ヨリ自己ノ貧困ヲ顧ミ養育候儀ニテ事情體諒スヘキ者ニ付金三圓以下前項同様地方費教育費ノ内ヨリ支出給與致度  
 右ハ日下差懸候義ニ付至急御指令相成度此段相候條也  
 明治十六年七月二十七日  
 札幌縣令 岡野廣次 代理  
 札幌縣大書記官 佐藤秀顯

○明治三十二年七月一日訓令第四十號(支庁長役場宛)  
 行旅病人及行旅死亡人取扱手續左ノ通定ム  
 但明治十六年(十一月)札幌縣乙第二十號建明治十六年(十二月)根室縣乙第七十六號建明治二十年(九月)北海道廳訓令第三百一十一號明治二十一年(三月)北海道廳訓令第三百一十一號明治二十四年(二月)訓令第十二號ハ廢止ス  
 行旅病人行旅死亡人取扱手續  
 第一條 戶長(戶長アラサル地ハ支庁長)ハ行旅病人引取ノ通知ヲ受ケタル

トキハ五日以内ニ救護者引取ノ手續ヲ爲スヘシ	第二條 行旅病人救護費行旅死亡人取扱費ノ辨償ヲ請求スルトキハ第一號式ノ計算書ヲ添附スヘシ	第三條 支庁長ハ行旅病人救護費及行旅死亡人取扱費辨償ノ請求ヲ受ケタルトキハ之方支拂ヲ爲スヘシ	第四條 區町村費ヲ以テ維持スヘキ行旅病人及行旅死亡人費ハ左ノ限度ニ依ル	第一 醫師診察料 各金五十錢以内(三十三年十月訓令第七十一號ヲ以テ本號中改正)	第二 醫師手術料 金一圓以内	第三 醫師舟車馬賃 一日金貳圓以内	第四 藥價 實費	第五 療養ニ關スル必要品費 實費	第六 入院料 一日金七十錢以内 一 晝夜金五十錢以内	第七 看護人費 一晝夜金五十錢以内	第八 小屋掛料 金二圓以内	第九 借家料 一日金十五錢以内	第十 被服買上料 金一圓五十錢以内	第十一 被服買入料 一晝夜一枚五錢以内	第十二 貸付器具ノ毀損辨償費 實費(三十三年十月訓令第八十六號ヲ以テ本項追加)	第十三 護送及運搬ニ關スル諸費 實費	第十四 食料 一日金十五錢以内	第十五 薪炭油費 一日金五錢以内
新入費	新聞公告料	死體檢案料及檢案費料 各金五十錢以内 (三十三年十月訓令第七十一號ヲ以テ本號中改正)	一 假主葬及火葬ニ關スル諸費 金三圓以内 (三十三年一月訓令第二號ヲ以テ本號中改正)	一 葬儀費 金貳拾錢以内 身分登記變更申請ニ要スル印紙料 金二十錢 (三十四年二月訓令第八號ヲ以テ本項追加)	前項ノ外特ニ要スル費用ハ支庁長ノ許可ヲ受ケヘシ	第五條 行旅死亡人遺留ノ有價證券及見積價格十圓未満ノ物件ハ隨意契約ヲ以テ賣却スルコトヲ得(三十三年六月訓令第四十六號ヲ以テ本條追加) 加算第五條第六條ニ從下ク)	第六條 區町村費ヲ以テ行旅病人救護費及行旅死亡人取扱費ヲ爲シ其辨償ヲ得ルトキハ戶長ハ支庁長ニ報告シ支廳ハ第三號式ニ依リ牛箇年ヲ統計シ七月十日一月十日限リ北海道廳長官ニ報告スヘシ	第七條 本規定ハ區町村ニ於テ監護スル精神病者ニ付テモ亦之ヲ準用ス(三十三年十二月訓令第八十六號ヲ以テ本條追加)	第一號式 行旅病人救護費(行旅死亡人取扱費)計算書 道府縣郡區市町村大字番地族籍 氏名(氏名不詳) 生年月(推定何年何月)	右之通相違無之候也								

第四類 賑恤救濟 行旅病人及死亡人棄兒

第二號式 何年自何月行旅病人救護費及行旅死亡人取扱費支拂報告書
第三號式 何年自何月行旅病人救護費及行旅死亡人取扱費支拂報告書
北海道舊土人保護法施行細則左ノ通相定ム
第一條 保護法第一條ニ依リ未開地ノ下付ヲ受ケ...

第九條 授業料給與ノ許可ヲ受ケタル者ハ毎年四月ヨリ九月ニ至ル六箇月分ヲ十月十日迄二十月ヨリ翌年三月ニ至ル六箇月分ヲ四月十日迄三請...

家族調 月主 何 妻 何 何 何 何
(第二號式) 所有地(何何)ノ概ニ付許可願
何國何郡何町何地(又ハ何原野何線何地)
(第三號式) 農具(種子)給與願
北海道何國何郡何(町村)何番地
(第四號式) 賑恤給與願
北海道何國何郡何(町村)何番地
(第五號式) 與被成下度此段奉願候也
(第六號式) 疾病(不具)(老衰)(幼少)ニ付救助願

第四類 賑恤救濟 北海道舊土人保護

右ハ(何年何月ヨリ何病ニ罹リ)(又ハ「何病不具」「老衰」(幼少)ノ爲メ自活ノ途難相立候ニ付(何年何月何日ヨリ開拓使管内窮民賑恤規則ニ依リ「一日米何合(又ハ一箇年米何石)宛」給與ヲ受ケ居候得共何何(給與ヲ要スル理由詳記スヘシ)ニ付一日米何合ノ割ヲ以テ(何何何何)御給與被成下度別紙家族調相添ヘ此段奉願候也

明治年月日 右ノ主 何某印  
北海道廳長官宛  
(家族調相第一號書式ニ同シ)

右ノ從來何ノ爲メ救助相受居候處何月何日死亡致候ニ付(開拓使管内窮民賑恤規則ニ依リ)金一圓給與相受候得共何何(何何何何)ノ前記ノ通り不足相立候ニ付)前記ノ埋葬料御給與被成下度此段奉願候也

明治年月日 右ノ主 何某印  
北海道廳長官宛

右ノ從來何ノ爲メ救助相受居候處何月何日死亡致候ニ付(開拓使管内窮民賑恤規則ニ依リ)金一圓給與相受候得共何何(何何何何)ノ前記ノ通り不足相立候ニ付)前記ノ埋葬料御給與被成下度此段奉願候也

明治年月日 右ノ主 何某印  
北海道廳長官宛  
(第八號書式)  
授業料給與願  
北海道何國何郡何(町村)何番地  
何ノ誰男(女)  
何ノ小學校何學生

右ノ就學爲致候處困窮ノ爲メ授業料相納兼候ニ付御給與被成下度此段奉願候也

明治年月日 右ノ保護者 何某印  
北海道廳長官宛

右ノ就學爲致候處困窮ノ爲メ授業料相納兼候ニ付御給與被成下度此段奉願候也

明治年月日 右ノ保護者 何某印  
北海道廳長官宛

右ノ就學爲致候處困窮ノ爲メ授業料相納兼候ニ付御給與被成下度此段奉願候也

右ノ就學爲致候處困窮ノ爲メ授業料相納兼候ニ付御給與被成下度此段奉願候也

右ノ就學爲致候處困窮ノ爲メ授業料相納兼候ニ付御給與被成下度此段奉願候也

救助理由一、日給給與濟未濟 居住所氏名 生年月日 不具 米何合 何月何日 幼少 何給與濟

右ノ通知候也  
明治年月日 何村戸長某宛

右ノ通知候也  
明治年月日 何村戸長某宛

右ノ通知候也  
明治年月日 何村戸長某宛

右ノ通知候也  
明治年月日 何村戸長某宛

右ノ通知候也  
明治年月日 何村戸長某宛

第四類 賑恤救濟 北海道舊土人保護

所管ニシテ北海廳長官ノ指揮ヲ受ケ(三十二年十二月廳令第八號ヲ以テ本項改正)  
第二條 舊土人共有財産ハ現金ノ備保存セズ預金貸金ヲ爲シ又ハ公債證書ヲ買入レ利殖ヲ圖ルモノトス  
前項預金ハ金庫預金郵便貯金貸金ハ公債證書若クハ確實ナル銀行會社ノ株券ヲ擔保トスルモノニ限ル(三十二年十二月廳令第八號ヲ以テ本項改正)  
第三條 舊土人共有ニ屬スル不動産ハ貸付利殖ヲ圖ルヘシ  
第四條 前條ノ外貸金ノ擔保ニシテ舊土人ノ共有

ニ歸シタルモノハ之ヲ賣却シテ元資ニ戻入ルヘシ  
第五條 舊土人共有財産ハ其ノ收益ヲ以テ其ノ指定ノ目的ニ使用スルモノトス  
第六條 舊土人共有財産ノ收入支出ハ政府ノ會計年度ニ從ヒ之ヲ計算シ收益餘アルモノハ之ヲ後年度ノ使用ニ充ツル爲メ元資ト共ニ之ヲ管理スルモノトス  
第七條 備荒ノ爲メ儲蓄スル共有財産ハ天災事變ノ場合ニ限リ第二條貸金ノ例ニ依ラス元資ヲ共有者中ノ貧困者ニ貸付スルコトヲ得  
共有財産ノ管理事務ヲ委任セラレタル支廳長戸長長ニ於テ前項ノ處分ヲササントスルトキハ北海

道廳長官ノ許可ヲ受ケハシ  
第八條 舊土人共有財産ノ出納ハ或人氏出外現金出納官更ヲシテ之ヲ取扱ハシムルモノトス  
明治三十五年八月九日廳令第七百八十四號(支廳宛)  
北海道舊土人共有財産管理規程第一條第一項ニ依リ共有財産管理ノ委任ヲ受ケタルトキハ管理規程ニ依リ外仍ホ左ノ通り心得ヘシ  
第一條 共有財産ノ管理ヲ町村(戸)長ニ委任シタルトキハ其旨直ニ報告スヘシ  
第二條 毎年一月二十日限リ別紙第一號書式ニ依リ六月二十日限リ第二號書式ニ依リ共有財産ノ調査ヲ作リ報告スヘシ

(第一號樣式) 舊土人共有財産現在表  
明治何年十二月三十一日現在  
何支廳

區分	公有債證券預金	貸金	現金	計	進家種價
何郡何町村舊土人共有	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、
計					

(第二號樣式) 差引殘金何程  
右及報告候也  
明治年月日 支廳長 長官宛

區分	公有債證券預金	利子	何	何	何	何	何	何	何	計
何郡何町村舊土人共有	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、
計										

第四類 賑恤救濟 北海道舊土人保護

共有別	財産種類	数量	財産所在地	財産ノ性質及其ノ目的
全道舊土人教育資金	公債	金六千二百六圓		貧困ナル児童ニ學校用具ヲ給與スル等就學獎勵ノ資ニ充ツルモノトス
天鹽國天鹽郡中川郡上川郡舊土人教育資金	公債	金二百六十六圓		同上
膽振國勇拂郡越川、井戸、崩別、生籠、似、櫻、栗、秘別、邊内村舊土人共有	現金	金千三十九圓		備荒ノ爲メ儲蓄スルモノトス
同國同郡昔小牧、櫻前、寛生、錦多、小絲、魚、勇拂、植苗、厚前村舊土人共有	同上	金百九十一圓		同上
同國白老郡各村舊土人共有	同上	金百三十五圓		同上
同國室蘭郡元室蘭村、輪西村舊土人共同	同上	金二十圓		同上
同國有珠郡補府、東紋、黄金、有珠、長流村、舊土人共有	同上	金五十八圓		同上
同國虻田郡虻田、辨邊、禮文村舊土人共有	同上	金四十七圓		同上
同國室蘭郡給納村舊土人共有	同上	金四十四圓		同上
日高國沙流郡各村舊土人共有	同上	金百四十九圓		同上

○明治三十五年七月二日廳令第九十四號  
 明治三十二年法律第二十七號北海道舊土人保護法第十條ニ依リ北海道廳長官ニ於テ管理スル舊土人共有財産左ノ通指定ス

共有別	地目	地積	所在地	段別坪數
石狩國札幌郡對雁村權太ヨリ移住シタル舊土人	海産	千餘坪	石狩國石狩郡生振村字トウヤウシ二十二番地	一千坪
同	同上	同上	同國同郡花畔村字ヒシヒウシ十七番地	一千七百六十五坪
同	同上	同上	同國札幌郡對雁村六十四番地	二千二十坪
同	同上	同上	同國同國同村八十三番地	三畝二十二坪
同	同上	同上	同國石狩郡新町一番地	一段二畝二十三步
同	同上	同上	同國同郡八幡町東三番地	四畝十步

共有別	財産種類	數量	財産所在地	財産ノ目的
十勝國中川郡各村舊土人共有	鮭曳網漁場	一箇所	十勝國十勝郡大津村字前濱	備荒ノ爲メ儲蓄スルモノトス
同	鮭曳網漁場	一箇所	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	海産干場	一箇所	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	郡村宅地	一畝四步	同國同郡同村字見道二番地五號	同上
同	水道証并倉庫	一棟	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	北海道製麻株式會社株式券	九十九株		同上
同	現金	二百十三圓三十三錢		同上
同	鮭曳網漁場	一箇所	十勝國十勝郡大津村字ウツナイ太	同上
同	郡村宅地	百六十二坪	同國同郡同村字三番地	同上
同	水道証并二階建築屋	一棟	同國同村同字一番三番地	同上

○明治三十五年十一月八日廳令第三百三十九號  
 明治三十二年法律第二十七號北海道舊土人保護法第十條ニ依リ北海道廳長官ニ於テ管理スル舊土人共有財産左ノ通指定ス

共有別	財産種類	數量	財産所在地	財産ノ目的
十勝國中川郡各村舊土人共有	鮭曳網漁場	一箇所	十勝國十勝郡大津村字前濱	備荒ノ爲メ儲蓄スルモノトス
同	鮭曳網漁場	一箇所	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	海産干場	一箇所	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	郡村宅地	一畝四步	同國同郡同村字見道二番地五號	同上
同	水道証并倉庫	一棟	同國同郡同村字ベトアシ	同上
同	北海道製麻株式會社株式券	九十九株		同上
同	現金	二百十三圓三十三錢		同上
同	鮭曳網漁場	一箇所	十勝國十勝郡大津村字ウツナイ太	同上
同	郡村宅地	百六十二坪	同國同郡同村字三番地	同上
同	水道証并二階建築屋	一棟	同國同村同字一番三番地	同上



員數並ニ其資本ヨリ生スル一箇年間ノ收益  
 記載ヲ要ス) 調査  
 但金員ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ルルカ又  
 ハ不動産若クハ有價証券ヲ擔保トシ預ケ  
 入レラナスヘシ  
 前項不動産ノ擔保ハ登記ヲ經テ有價証券ノ  
 擔保ハ公正證券ヲ作ルヘシ  
 氏子檀徒若クハ信徒名簿謄本  
 設立費並ニ一箇年支費豫算調査  
 但設立費ハ既集ノモノニシテ之レカ保管  
 ノ額未ヲ詳記シ預リ書アルモノハ其謄本  
 ナ添附スヘシ  
 分社ハ本社ノ承諾書  
 境内地其他ハ左ノ標準ニ依リ設備スヘシ  
 神社及ヒ分社創立再興復舊  
 境内地三百坪以上  
 社殿六百坪以上  
 一 永額資本金ハ五百圓以上若クハ所屬不動産  
 ヲリ生スル實收益一箇年七十五圓以上  
 氏子ハ百坪以上若シ信徒ナルトキハ三百人  
 以上  
 但土地ノ狀況ニ依リ此制限ニ依ラサルコ  
 トヲ得以下之レニ同シ  
 境内神社  
 一 永額資本金五十圓以上若クハ所屬不動産ヨ  
 リ生スル實收益一箇年七十圓以上  
 但主管ノ神社ニ於テ維持スルモノハ之レ  
 ナ備ヘサルコトヲ得  
 寺院創立再興復舊  
 境内地七百坪以上  
 堂宇五十坪以上  
 二 永額資本金ハ八百圓以上若クハ所屬不動産

四 ヲリ生スル實收益一箇年百二十圓以上  
 檀徒ハ百名以上若シ信徒ナルトキハ五百名  
 以上  
 境内佛堂  
 一 永額資本金百圓以上若クハ所屬不動産ヨリ  
 生スル實收益一箇年十五圓以上  
 但主管ノ寺院ニ於テ維持スルモノハ之レ  
 ナ備ヘサルコトヲ得  
 第二條 左ノ各號ノ事項ハ北海道廳長官ニ願出許  
 可ヲ受クヘシ  
 一 祭神本尊ノ變更  
 二 社號寺號堂號ノ變更  
 三 山緒ノ變更  
 四 境内坪數及ヒ名受人ノ變更  
 五 移轉及ヒ再興並ニ改築其他建築模樣換  
 移轉ノ願書ニハ左ノ各號ヲ具備スヘシ  
 一 移轉ニ要スル事項  
 移轉スヘキ境内坪數地番號並ニ地目地種  
 建物位置及ヒ四隣ノ狀況ヲ記載シタル移轉  
 境内見取圖  
 費用調査  
 三 但其費用ハ第一條第六號但書ニ同シ  
 四 移轉落成期日  
 再興其他建築額ニ要スル事項  
 建築日誌見任標榜及ヒ圖面(正面圖側面圖  
 平面圖トモ)並ニ落成期日  
 二 建物位置ヲ示シタル境内見取圖  
 費用調査  
 三 但其費用ハ第一條第六號但書ニ同シ  
 六 境外附屬地ノ減少及ヒ地目變更並ニ分裂  
 左ノ各號ノ事項ハ北海道廳長官ニ願出

但第五號ハ半箇年ニ屆出ツヘシ  
 一 宗派ノ變更  
 二 離末本寺ノ變更  
 三 境外附屬地ノ増加  
 但本項ノ願書ニハ所在地字番號地目段別  
 坪數地價等ヲ詳記スヘシ  
 四 所有地地價地種字番號ノ變更  
 五 氏子檀徒及ヒ信徒ノ増減  
 六 管轄廳ニ至ル距離里數ノ増減  
 第四條 社寺廢合ヲ爲サントスルトキハ左ノ各號  
 ナ具シシテ社寺方連署ヲ以テ北海道廳長  
 官ニ願出許可ヲ受クヘシ  
 一 祭神本尊ノ處分方  
 二 境内地及ヒ附屬地並ニ社殿堂宇其他建物ノ  
 處分方  
 三 本寺及ヒ境外ニ受持ノ佛堂アルトキハ其所  
 在地及ヒ寺域堂號並ニ處分方  
 四 處分期日  
 第五條 社殿堂宇其他建物燬失破壞等ノ變災ニ罹  
 リタルトキハ其日時額未ヲ五日以内ニ本社殿堂  
 宇ノ再興修繕ノ期限ヲ豫定シ三十日以内ニ北海  
 道廳長官ニ届出ツヘシ  
 第六條 第一條ノ許可ヲ受ケ其所在地ノ期限ヲ經過  
 シ滿二箇年ニ達ルモ社殿堂宇ノ建築落成又ハ其  
 建物及ヒ境内地寄附若クハ買得讓受ノ契約履行  
 ニ至ラサルトキハ第五條ノ變災ニ罹リ滿五年  
 ニ沙ルモ社殿堂宇再興ニ至ラサルトキハ一面許  
 可ヲ取消シ一面明細帳ヲ削除スルトコトアルヘシ  
 第七條 神職並ニ住職ハ財產其他重要ノ事項ハ氏  
 子檀徒若クハ信徒代理人ト爲定メ上之レノ處理

シ願届ハ其連署ヲ以テスヘシ  
 又寺院ニ屬スル願ハ本寺法類連署ノ上管長ノ添  
 書ヲ以テスヘシ  
 第八條 神職並ニ住職ハ其社寺ニ屬スル毎年度ノ  
 歳入出豫算ヲ調査シ年度開始前氏子檀徒若クハ  
 信徒總代會ノ議決ヲ經ヘシ  
 前項ノ年度ハ四月一日ニ起リ翌年三月三十一日  
 ニ終ル  
 第九條 毎年度ノ收支決算ハ翌年度中前條總代人  
 會ニ報告スヘシ  
 第十條 社寺ハ左ノ各號ノ書類帳簿ヲ備ヘ精察ニ  
 整理スヘシ  
 一 祭神祀文ハ縁起書  
 二 境内全圖並ニ樹木明細書  
 三 社寺明細帳  
 但左ノ記載例ニ依リ調査スヘシ  
 明細帳記載例  
 神社明細帳(分社遙拜所社社ノ之  
 レニ準ス)  
 北海道廳管下何國何郡(區)何町(村)字番地  
 社格 某神社  
 一 祭神  
 山緒  
 (創立再興廢合移轉再築及ヒ社格許可年月  
 日並ニ建築落成年月日等共社寺ニ關スル重  
 要ノ沿革ヲ記載スヘシ)  
 一 社殿坪數 本殿 何坪 拜殿 何坪  
 (本殿拜殿兼用ノモノハ坪數ノ下ニ其旨ヲ  
 又境内ニ社殿ノ外建物アルトキハ社殿ノ次  
 ニ列記シ又其建物平面圖ヲ添附スヘシ)  
 一 境内坪數並地種 何坪 官(民)有地等何種

一 境内神社何社  
 某神社  
 山緒  
 境内坪數  
 境内佛堂  
 某堂  
 本尊  
 境外附屬地  
 檀徒(信徒)人員  
 管轄廳迄ノ距離里數  
 一 境内坪數  
 境内佛堂  
 某堂  
 本尊  
 境外附屬地  
 檀徒(信徒)人員  
 管轄廳迄ノ距離里數  
 一 境内坪數  
 境内佛堂  
 某堂  
 本尊  
 境外附屬地  
 檀徒(信徒)人員  
 管轄廳迄ノ距離里數

四 境内外攝末社又ハ佛堂明細帳  
 五 建物明細帳  
 六 所有地段別帳  
 但寄附又ハ賣却者氏名並ニ取得年月日等  
 其由來ヲ一筆毎ニ記載シ且ツ之レニ對ス  
 ル地圖及ヒ土地寄帳簿本ヲ添附シ置クヘ  
 シ  
 七 氏子檀徒若クハ信徒名簿  
 但其人名ハ維持ノ負擔ヲ有スル者ニシテ  
 且ツ捺印ヲ附シ増減アル毎ニ加除スヘシ  
 八 寶物寄附書文書寄附物寄附帳  
 但高價寄附寸法及ヒ寄附者氏名並ニ取得  
 年月日等其由來ヲ品目毎ニ記載スヘシ  
 九 書籍目録  
 但寄附者氏名並ニ取得年月日等其由來ヲ  
 書目毎ニ記載スヘシ  
 十 祭具又ハ佛具寄帳  
 但其記載方ハ第九號ニ同シ  
 十一 過去帳  
 十二 米穀金銭出納簿  
 十三 願書綴  
 第十一條 永額資本金ハ第一條第四號但書ニ  
 依リ保管スヘシ  
 第十二條 風火災其他ノ事故ニ依リ永額資本金ヲ  
 消費シ又ハ地所建物有價証券等ヲ毀却若クハ之  
 レヲ擔保トシ負債ナラサントスルトキハ北海道  
 廳長官ニ願出許可ヲ受クヘシ  
 第十三條 寶物ハ其社寺外ニ持出シ又ハ賣却讓與  
 若クハ債務ノ擔保トナスコトヲ得ス  
 第十四條 一時休息所取置等ノモノ境内外人ニ  
 使用セシメントスルトキハ三箇月以内ノ期限ヲ  
 定メ使用目的ヲ具シ區ニ在テハ北海道廳長官ニ

第四類 社寺宗教 通規

其他ニ在テハ所轄支廳長ニ願出(使用區域ヲ指定シタル境内見取圖ヲ添附)許可ヲ受クヘシ...

- 第一類 風致木(日通寸尺ニ依ラス)
第二類 日通 一丈以上
第三類 同 五尺以上
第四類 同 一尺以上
第五類 同 一尺未満

四 遷葬式 五 假殿遷座
六 神社ニ特別ノ由緒アル祭祀
第十九條 縣社ニハ左ノ制札ヲ建設スヘシ

第二十條 佛像ノ持出開帳ナサントスルトキハ其他管ニ渉ルモノハ第七條ニ依リ北海道...

四四八

第二十四條 神職ニ住職二十日以上ノ旅行ヲサントスルトキハ區ニ在テハ北海道廳長官ニ其...

第二十九條 支廳區役所町村(戶長)役場ニ於テ前條ノ願出ヲ受理シタルトキハ警察調査ノ上意見...

(別紙) (川紙美濃紙)

Table with columns: 明治 年 月 日, 社寺名, 處分, 理由, 山, 願出許可可落, 成ノ年月日, 何年何月何日願出, 何年何月何日許可

右及報告候也
明治 年 月 日
長官宛
支廳長名
(川紙美濃紙)
北海道廳管下何國何郡何村何番地

Diagram showing a rectangular plot with dimensions and labels. Includes text: 一 掘込人員、名、何里何町、一 管轄距離里數、備考、備考

第四類 社寺宗教 通規



○明治二十六年二月六日訓令第二十八號(郡區役所警察署警察分署局長役場宛)

○明治三十一年三月四日告示第二號  
○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號

○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號

○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號

○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號  
○明治三十一年一月十八日訓令第三號

キハ所轄支廳長ニ届出ヘシ

○明治三十一年三月四日告示第二號  
○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

印刷物ノ配付等ノ如キ方法ニ依リテ布教スルモノハ其方法ヲ記載スヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

○明治三十一年七月(七月)內務省令第四十一號宗教ニ關スル願書ナラサントスル者ハ左ノ雜形ニ準シ各ニ通シテ差出ヘシ

六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法

六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法

六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法  
六 擔當布教者ノ資格及選定方法

- 凡例
- 一 現金越高トハ前年度蓄積異動表現在欄内ニ於ケル現金ヲ掲ケ
  - 一 本年度蓄積金トハ受拂清算表ニ於ケル貸入金積高ヲ掲ケ
  - 一 招魂社(略)費補充トハ定額ノ下減金ニテ不足ノ場合ニ於テ既ニ蓄積シタル額ヨリ補充シ必要アルコトヲ想像シタルモノニシテ若シ現金又ハ公債利子預金利子ヲ以テ尙不足ヲ補充シ能ハサルトキハ受金中ヘ別ニ「何預金同取」ノ一目ヲ設ケルコト
  - 一 招魂社下墳墓トハ各別ノ調査ヲ要ス
  - 一 招魂社墳墓監守者(略)
  - 一 招魂社墳墓監守者ヲ要スルトキハ其事由當廳へ申出認可ヲ受クヘシ
  - 一 招魂社墳墓監守者ヲ要スルトキハ其事由當廳へ申出認可ヲ受クヘシ

所轄區長ノ監督ヲ受クヘシ

○明治三十年六月二十二日訓第百二十號(函館龜田松前檜山郡區役所宛)

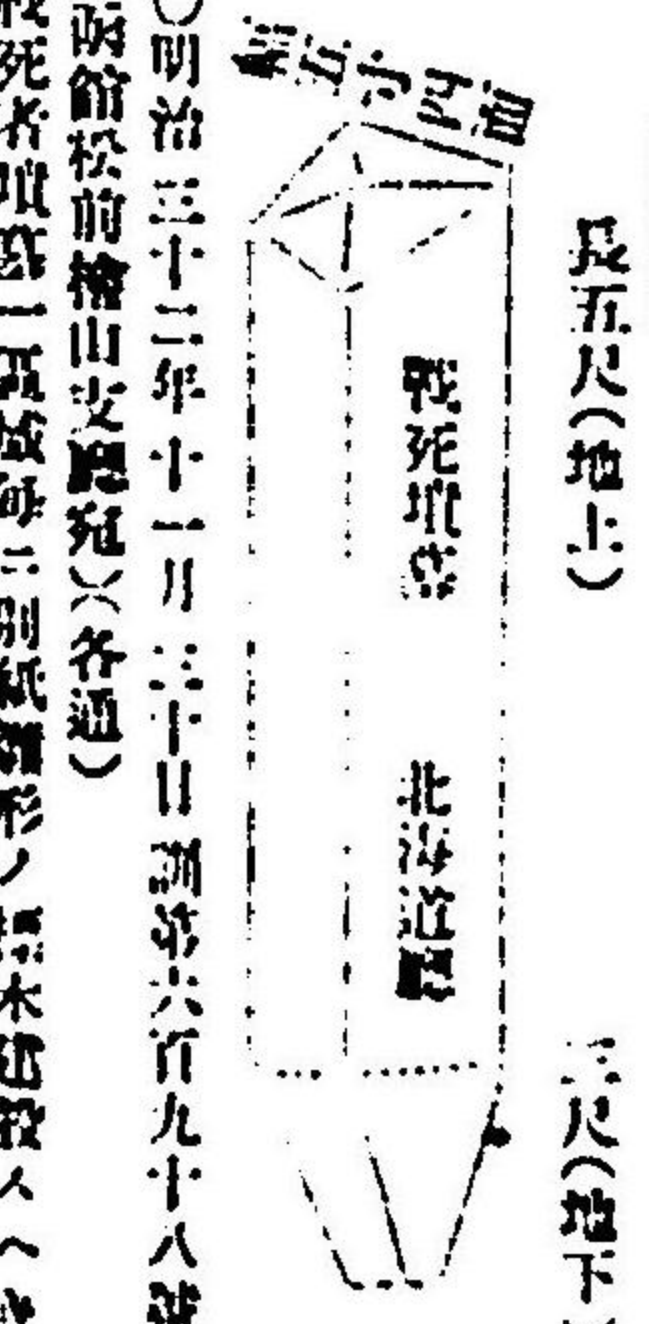
招魂社及之ニ屬スル戦死者墳墓境内取締上必要ニ付受拂神官監守者ヲシテ左ノ制札ヲ建設セシムヘシ

但シ制札建設ノ費用ハ招魂社墳墓修繕費ヨリ支辨セシムヘシ

制札 (寸方適宜)

一 馬車ヲ乘入ル事  
一 魚鳥ヲ捕ル事  
一 竹林ヲ伐ル事  
右條條於境内令禁者也

明治年月  
北海道



○明治三十二年十一月二十日訓第百九十八號(函館松前檜山支廳宛)(各通)

戦死者墳墓一區毎ニ別紙雛形ノ標木建設スヘキ旨本年十一月二十日訓第百九十七號ヲ以テ墳墓監守へ相違條條其旨心得ヘシ

(別紙雛形ハ前出訓第百九十七號ト同一ニ付略ス)

但費用ハ墳墓修繕費ヲ以テ支辨スヘシ

(別紙雛形)

長五尺(地上)  
三尺(地下)

○明治三十年二月二十六日訓第百二十四號(函館區役所松前郡區役所龜田外三郡區役所檜山外三郡區役所宛)

招魂社墳墓監守ノ内墳墓修繕費明治三十年度ヨリ左ノ通り支給ス

但シ墳墓監守者へ通過スヘシ

記

函館墳墓修繕費	一 金二十一圓四錢三分
松前同	一 金八圓四錢一分
檜山同	一 金四圓七錢四分
嶺下同	一 金四圓七錢四分
大野同	一 金四圓七錢四分
市上同	一 金四圓七錢四分
神上同	一 金三圓七錢五分

○明治七年五月二十二日開拓使第四號管内布達

札幌神代祭神每年六月十五日ヲ以テ祭典行ハセウシ候處本日休業遊藝社遊藝民遊藝ニ可取計此旨布達候事

○明治八年八月八日開拓使函館支廳元第百五號布達

明治五年(九月)二百五十三號同年(十一月)第三百五十八號ヲ以テ御達相成候式書遊藝年(六月)教部訓第百二十七號

祭典

- 區役所宛
- 官幣社以下大祭及公式祭記ノ表別紙ヲ送リ認可相成候條其部内府縣社以下神職へ相違スヘシ
- (別紙)
- 一 官幣社及國幣社ノ大祭ハ左ノ通定ム
  - 一 新年祭
  - 一 例祭
  - 一 本殿遷座
  - 二 官幣社及國幣社ノ公式ノ祭記ハ左ノ通定ム
  - 一 元始祭
  - 一 紀元節
  - 一 遷拜式
  - 一 假殿遷座
  - 一 神社ニ特別ノ由緒アル祭記
- 第三條 府縣社以下ノ神社ノ大祭及公式ノ祭記ハ官幣社及國幣社ニ準スヘシ
- 右訓令ス
- 明治二十七年五月九日
- 内務大臣臨時代理  
司法大臣 芳川顯正

省第七號送書大祝式總テ被爲廢止候條本年(四月)式部察ヨリ頒布相成候神祭式ニ準シ可取計此旨布達候事

○明治九年一月二十二日開拓使札幌本廳乙第九號送(各局宛)

神社祭典ノ節祭服禮大禮服立禮等ノ儀ニ付別紙ノ通府縣へ布達候ニ付當使ニ於テモ同様に執行可致旨式部頭坊城俊政ヨリ申來候條爲心得此旨相違候事

(九年)一月開拓使函館支廳第三號ニテ同様ノ布達アリ略ス

(別紙)

伊勢神宮及官國幣社諸陵墓祭典ノ節奉仕立禮之服股上ノ式ハ祭服禮股上ノ式ハ大禮服用立禮之事

但神官ハ明治七年正院御達第三十八號ニ依リ座禮立禮共祭服用ヲ用フヘキ事

右之通被定候條來明治九年一月ヨリ執行可致且管内ニ官國幣社等有之向ハ其旨神官へ可被相違此旨及布達候也

明治八年十二月二十日 式部頭 坊城俊政

府縣

長次官御中

○明治九年三月三日開拓使函館支廳第二十號送(正副局長宛)

明治八年十二月二十日式部察布達ニ付本年ヨリ庭上立禮ニ改式候官國幣社以下ニ限リ祭典ノ節儀前別紙ノ通奉文可致旨式部頭五辻安伸ヨリ通知有之候條區内神官へ無洩可相違此旨相違候事

(別紙)

掛卷等送

某神社大前官位苗字名恐誤致自今度更旨禮

○明治十一年三月四日內務省乙第二十一號送

諸神社神輿渡御之節供奉之者帯刀之儀ニ付明治九年(七月)舊教部省乙第五號ヲ以テ神官官國幣社ハ相違置候處右ノ府縣社以下モ同様事ヲ古代之裝飾ヲ模倣シ神輿ニ供奉來候例有之向ハ其人其儀ヲ供奉中ニ限リ帯刀不苦尤其都度其筋ハ可爲届出儀ト心得此旨相違候事

但普通祭服用者帯刀不相成候ハ勿論タル

○明治二十七年五月二十六日訓第百九十三號(郡)

○明治二十七年六月一日訓令第六十九號(札幌神代祭)

官國幣社大祭及公式祭記ノ表別紙ヲ送リ認可相成候條此旨心得ヘシ

(別紙ハ前出訓第百九十三號ト同一ニ付略ス)

○明治六年三月二十日開拓使函館支廳(第五十九號民第三十號)布達

年中御祭日御祝日別紙日限ノ通日祭神國幣社月掲舉候儀ト可相心得此旨布達候事

(別紙)

第四類 社寺宗教 神職僧侶

年中御祭日御祝日日章御旗揚儀日
一月一日 四方拜
一月三日 元始祭
一月十日 孝明天皇祭
一月三十日 紀元節
二月十一日 春季皇靈祭
四月三日 神武天皇祭
四月十七日 神嘗祭
秋分日 秋季皇靈祭
十一月三日 天長節
十一月二十三日 新嘗祭

六月十五日

札帳神社祭
(備考)
(同年同月同日第五十六號各局候殿無札帳市中戸長(送同文ニ付略ス)
(七年六月開拓使根室支廳無札帳以テ同様ノ送アリ略ス)
●神職僧侶
○明治十五年三月九日開拓使根室支廳第十號送(舊郡役所舊戸長役場宛)
本年一月内務省乙第七號ノ通省縣ニ送相成候條爲心待此旨相達候事
(別紙)
(十五年三月札帳縣乙第二號及同年同月開拓使根室支廳丙第十號ヲ以テ同文ノ送アリ略ス)
明治十五年一月二十四日内務省乙第七號送
自今神官ハ教職職ノ兼稱ヲ廢シ神祇ニ關係ヒサレモノトス此旨相達候事
但府縣社以下神官ハ當分從前ノ通
○明治十七年二月十六日札帳縣丙第十八號送(郡區役所戸長役場宛)
托鉢者心得等ノ事項明治十四年八月別紙ノ通内務省ヨリ傳道各管長ニ送相成候條萬一不都合ノ所聚有之節ハ直ニ托鉢禁止願未詳細取調本廳ニ届出ヘシ此旨相達候事
(別紙)
佛道各宗派管長
僧侶托鉢禁止ノ義令別紙甲第八號相達候條ニ付テハ自今左ノ條件遵守各宗派僧侶(教導職式補以上)ノ内托鉢ヲ爲サント欲スル者免許方法及取調規約

取調可何出此旨相達候事
明治十四年八月十五日 内務省 松方正義
一 托鉢免許方法覽托鉢者心得
一 托鉢免許方法覽トキハ左ノ様式ニ照シ免許證ヲ交付シ其都府廳者所在ノ地方廳ニ通知シ東京ハ警視廳ニモ通知スヘシ
一 托鉢者行フハ午前第七時ヨリ同十一時迄ヲ限リトス
一 租路往還ノ爲メ時間ヲ遷延スルハ此限ニアラス
一 托鉢者ハ如法ノ行装ニテ免許證ヲ携帶シ行乞スルニ當テス施者ノ請フアルニアラサレハ人家ニ接近シ遊リニ歩ヲ駐ムヘカラス且施物ハ施者ノ意ニ任セ取テ餘物ヲ乞フナラサス
一 托鉢者ハ一列三人以上十人以下タルヘン且公衆往來ノ便ヲ妨クヘカラス
一 免許證ハ何時タリトモ警察官等ノ檢閲ニ供スヘキモノトス
(別紙)
一 何處ニ住居スヘシ
一 何寺ノ住僧ニシテ傳道者ニシテ何某年月日生

○明治十七年八月二十三日函館縣乙第四十九號送(郡區役所戸長役場宛)
神佛各宗派管長及從前教導職等ノ身分取調ノ儀本年(八月)第六十九號公達(官報第三百三十六號)ノ通知相成候條此旨相達候事(第六十九號第七十號ノ誤ト認ム)
○明治二十年十月十四日訓第二百七十四號(函館八幡宮札帳神社宛)
神職職務上ノ義ニ付別記ノ通内務大臣訓令相成候條該旨ヲ體シ怠慢ノ所爲等無之様厚ク心得ヘシ
(別紙)
内務省訓令第十八號
北海道廳府縣(神祇縣ヲ除ク)
神社ハ祭典祝日等ニ付岡クヘカラサル儀式モ有之且社頭管理上ニ就テモ亦夫ノ要務有之神職ハ一切内外ノ社務ヲ併セ司ル管ニ付官署事務ハ勿論兩宜主典ト雖モ官署事務ハ月次祭典等謂ハレナク固不相成ノミナラズ且日社頭又ハ社務所ニ於テ各其職務ニ從事スヘキモノニ有之候條神職一同此趣旨ヲ體シ怠慢ノ所爲無之様訓示スヘシ
明治二十六年九月二十八日
内務大臣 伯母 井上 馨

○明治二十七年二月二十一日訓第五十九號(札幌神社神職函館八幡宮神職北海道第一部神宮取調所北海道第二部神宮取調所宛)
衆議院議員ノ選舉ニ際シ神官神職ハ自己享有ノ選舉權ヲ行フ外直接ト間接トヲ論セテ政論ニ容喙シ形骸ニ加盟シ選舉ノ競争ニ關與スヘカラス專心一志本務ニ從事セシムヘキ旨内務大臣ヨリ訓令有之候條心得違無之様部内神官ヘ嚴重示達スヘシ(札幌函館兩神社神職ヘハ候條ノ下「此旨心得ヘシ」ニ作ル)
○明治三十一年五月二十七日訓第二百一十一號(官國幣社宮司宛)
官國幣社神職ノ定員俸給等ニ關スル件左ノ通り心得ヘシ
但本年六月一日ヨリ施行ス
第一條 三十五年二月勅令第二十八號同年二月内務省令第二號ニヨリ本條
第二條 自然消滅
第三條 職員ハ宮司之ヲ命免ス
第五條 但主典缺員ノ場合ニ於テハ宮司ハ北海道廳長官ノ認可ヲ經テ主典ニ充

タル俸給ヲ流用シ職員ヲ使用スルコトヲ得
第六條 神職ハ其所在ノ社所在地ノ區町村ニ住居スヘシ
但土地ノ情況ニ依リ北海道廳長官ノ認可ヲ經テ社所在地外ニ住居スルコトヲ得
第七條 社入金出納ニ關シテハ當分ノ内從來ノ方法ニ依ルヘシ
第八條 (三十五年二月勅令第二十八號同年二月内務省令第二號ニ依リ本條自然消滅)
第九條 本訓令ニ抵觸スル從前ノ訓令ハ廢止ス
○明治三十一年五月三十日訓第二百一十四號(官國幣社宮司宛)
官國幣社神職ノ旅行及旅費ニ關スル規定左ノ通り心得ヘシ
第一條 神職旅行セントスルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ經ヘシ
第二條 旅費旅行ニシテ一泊ニ止マルトキハ第一條ノ手續若クハ届出ヲ要セス旅行スルコトヲ得
第三條 職取私費旅行若クハ忠引中節者ハ第一條ノ手續ヲ要セス北海道廳長官ニ届出旅行若クハ歸省ニシテ管外ナルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ得但宮司ノ旅行若クハ歸省ニシテ管外ナルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ得
第四條 旅行ノ申請及届出ハ旅行ノ事故日數地名ヲ詳記スヘシ
第五條 旅費ハ左表定ムル所ニ從ヒ之ヲ支給スルモノトス(三十三年六月訓令第二百八十號ヲ以テ本條中改正)
職名 種類
官司 赴任旅費 十錢 一哩汽船 一哩汽船 二付料 二付料
一哩汽船 二付料
主典 赴任旅費 五錢 一哩汽船 一哩汽船 二付料 二付料
一哩汽船 二付料
赴任旅費 五錢 一哩汽船 一哩汽船 二付料 二付料
一哩汽船 二付料
赴任旅費 五錢 一哩汽船 一哩汽船 二付料 二付料
一哩汽船 二付料
赴任旅費 五錢 一哩汽船 一哩汽船 二付料 二付料
一哩汽船 二付料

第四類 社寺宗教 神職僧侶

給スルモノトス  
 甲社ヨリ乙社ニ轉シタル者ノ赴任旅費ハ甲社所在地ヨリ直路ノ里程ヲ計算シ之ヲ支給スルモノトス  
 新補轉ニ關セス赴任スヘキ社所在地ヘノ距離一里未満ナルトキハ支給セサルモノトス  
 第八條 日當ハ汽車旅行ハ一日二百哩路水路旅行ハ一日百海里陸路旅行ハ一日十二里ノ割合ヲ以テ直路ノ行程ニ應シ支給ス其數額ノ旅行行程トシキハ各路程十二分の一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時トシ通算スヨリ生スル一日未満ノ端數ハ一日トシテ之レヲ計算ス但赴任ノ外汽車十哩未満水路十海里未満陸路六里未満ノ旅行ニハ日當ヲ支給セス(三十二年六月訓令第三百十八號ヲ以テ本條改正)  
 第九條 赴任旅費ハ本人任地到着ノ後支給スルモノトス  
 第十條 本訓令ニ抵觸スル從前ノ訓令ハ總テ廢止ス(三十二年六月訓令第三百八十號ヲ以テ第十號ヲ削除シ舊第十一條ヲ第十條ニ繰上グ)  
 ○明治三十一年五月二十七日訓令第二十號(官國幣社司宛)  
 官國幣社司ハ其職務上調製スヘキ書面ニハ明治八年大政官第百十號選ニ準シ職印ヲ押用スヘシ(三十五年二月訓令第十二號ニ依リ本項自然消滅)  
 官國幣社所有ニ依リ版權地所建物體儲蓄券兩項會社株券ノ類ニシテ向後新ニ登錄シ若クハ登錄ヲ變更スル場合ニ於テハ該社ノ名ニ於テ登錄ヲ請クヘシ  
 ○明治三十一年六月二十二日訓令第二百四十七號(支廳宛)  
 神社寺院佛堂ヨリ出火シタル場合ニ於テ法律上處分セラルルモノアルト否トニ拘ハラス其神社寺院佛堂ノ管理者ハ各其管理上ノ責任ヲ任スヘキモノナルニ依リ出火アルニ際シテハ篤ト事實ヲ審査シ警戒スヘキモノナルニ於テハ神職ニ對シテハ相當之ヲ處分シ住職僧侶ニ對シテハ其理由ヲ具シ北海道廳長官ニ上申スヘシ

**● 財產**  
 ○明治二十五年十一月二十八日訓令第二百八十一號(郡區役所宛)  
 官有地社寺境内ヲ他人ニ使用セシムルトキハ其社寺ヨリ管轄權ノ認可ヲ受ケシムヘシ但祭典等ニ際シ一時使用スルハ其社寺限リ承諾スルコトヲ得官有地社寺境内ノ竹木ヲ伐採シ及枯損木障母木處分ニ關スルモノモ前項ニ依ルヘシ  
 前二項ニ依リ社寺ヨリ認可ヲ請フトキハ府縣知事ハ從前ノ例ニ準シ其社寺尙風致ヲ保存スルコトニ注意監督スヘシ  
 社寺境内ノ使用料貯竹木其他ノ收益ハ其社寺ノ收入ニ屬スヘシ但收入財產ハ明治十四年當省乙第三十三號選ニ依リ整理セシムヘシ  
 前各項ニ關スル事項ハ從前ノ例規ニ準據取長候權ニ注意スヘシ  
 右内務大臣訓令ニ付此旨心得ヘシ  
 ○明治二十七年四月六日訓令第二百二十二號(郡區役所宛)  
 官有社寺境内地ヲ他人ニ使用セシムル場合ニ於テ其社寺ヨリ認可ヲ出願スルトキハ左ノ要旨ヲ記載シタル契約書案及四隣ノ形況ヲ明ニシタル圖面ヲ添附セシムルニ依リ見書ヲ附シテ提出スヘシ  
 一 使用セシムルヘキ境内地ノ位置區域及地積  
 一 使用者及保證人ノ住所氏名

使用ノ目的及方法  
 一 使用期限  
 使用期限及其納付期限  
 使用者ニ於テ境内地ノ風致ヲ保存スヘキ事  
 使用者ニ於テ許可ヲ受ケスシテ使用地内ノ竹木ヲ伐採シ又ハ土石ヲ採取スヘカワサル事  
 使用者ニ於テ契約書ニ定メタル目的以外ニ若クハ他ノ方法ニ依リ使用スヘカワサル事  
 使用者ニ於テ其使用權ヲ擔保貸付ニ供シ又ハ他ニ移スヘカワサル事  
 使用期限中ト雖モ官有地ニ於テ使用方法ノ變更ヲ命ジタルトキハ使用者ハ何時ニテモ無償ニ之ヲ變更スヘキ事  
 使用期限中ト雖モ官有地ニ於テ境内地ノ廢スルカ又ハ其使用ヲ停止シ若クハ禁止シタルトキハ使用者ハ何時ニテモ無償ニ之ヲ停止シ若クハ契約ヲ解除スヘキ事  
 使用者ニ於テ契約書ノ條項ニ背キタルトキハ何時ニテモ契約ヲ解除シ且ツ損害アルニ於テハ使用者若クハ保證人ヲシテ之ヲ賠償セシムヘキ事  
 契約解除ノトキ及使用期限満了ノトキ使用者ニ於テ建設シタル築造物又ハ建築物等アルトキハ使用者ノ費用ヲ以テ之ヲ撤去シ地形ヲ變更シタルモノハ之ヲ原形ニ復セシムヘキ事  
 使用者ニ於テ前項ノ手續ヲ履行セサルトキハ其社寺ニ於テ直チニ前項ノ手續ヲ爲シ其費用ハ使用者若クハ保證人ヲシテ賠償セシムヘキ事  
 契約解除若クハ使用期限満了ノ際使用者ニ於テ境内地ニ植付ケタル竹木アルモノニ於テ伐採シ若クハ撤去ルコトヲ得ス當然該境内地ノ有ニ

歸セシムヘキ事  
 一 右ノ外其社寺及使用者間ニ於テ豫メ規定シ置クノ必要アリト認ムル事項  
 ○明治二十三年五月二十四日訓令第六號(函館八幡宮宛)  
 其社保存資金ノ内ハ金三百圓下付セララルル旨内務大臣訓令アリ  
 ○明治二十三年五月二十四日訓令第六號(函館八幡宮宛)  
 今般其社保存資金下付相成候ニ付テハ左ノ通心得ヘシ  
 一 保存資金ハ大藏省預金局郵便預金取扱所國立銀行ヘ寄託スルノ外支出ヲ要スルトキハ北海道廳長官ニ申出承認ヲ受クヘシ  
 一 毎年一月三十一日迄三箇年間保存會ノ景況及保存資金受拂計算書ヲ作リ北海道廳長官ニ報告スヘシ  
 一 保存資金ノ受拂報告方ハ明治二十一年十月内務省訓令第二十號內務省例第二十式ニ準據スヘシ  
 一 來二十四年一月三十一日迄ニ報告スヘキ保存會ノ景況及保存資金受拂計算書ニハ創立以來ノ景況及資金ノ受拂ヲ記載スヘシ  
 ○明治二十三年十二月六日訓令第六號(札幌神社函館八幡宮宛)  
 官國幣社保存金配付ノ年限ハ更ニ明治二十年度ヨリ三十箇年トセラル  
 ○明治二十八年四月二十日訓令第三百二十二號(郡區役所宛)  
 社寺境内民有地使用及管理ノ方法ハ總テ明治二十五年(十一月)訓令第二百八十一號及同二十七年(四月)訓令第二百二十二號ニ準據スヘシ  
 ○明治二十九年三月二十七日訓令第七十三號(官幣中社札幌神社國幣小社函館八幡宮宛)  
 明治二十七年八年戰役陸軍戰利品中明治二十八年八月陸軍省令第十六號陸軍戰利品整理規定第三條ニ依リ別記ノ通り紀念ノ爲メ分典相成候條永久保存榮庶ノ極度ニ供スヘシ

(別記)

(札幌神社(寄付))

品	口	數量	品	口	數量
マウセル銃	二		スハンセル銃	一	
ヘンリーマルチニ銃	一		ゲベル騎兵銃	一	

品	口	數量	品	口	數量
アルミニウム銃	二		鐵製地雷電	一	
シマスボイ銃	一		長柄刀	一	
ゲベル銃	六		軍刀及劍	一	
エンビル少銃	一		彈藥帶	一	
スナイドル銃	一		三角劍	一	
火繩銃	二		方劍	一	
各種銃	五		箭	一	
劍	七		隔線電線	一	
古式入り砲	一		帽子自覆	一	
背龍刀	一		帶金物	一	
六斤山砲及引棒	二		軍衣	一	
六斤山砲榴彈	一		軍袴	一	
六斤山砲榴彈	一		前袴	一	
同赤花彈	一		附袴	一	
八瓏知米克式榴彈	一		乘袴	一	
克式二十一瓏米刺套榴彈	一		旗	一	
同十五瓏米無帶三構榴彈	一		彈	一	

品	口	數量	品	口	數量
マウセル銃	二		ヒョーギー銃	一	
ワインチヌスター銃	一		各種銃劍	一	
レモンチン軍銃銃	一		槍	一	
ゲベル騎兵銃	一		三角劍	一	
アルミニウム銃	二		角劍	一	

第四類 社寺宗教 財產

方	品	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
箭	軍刀及劍	三									
ケベル銃	喇叭	一									
エンペール銃	一發	一									
同騎銃	五隔線電線	一									
火繩銃	太陽障	一									
遠射銃	帶金物	一									
青龍刀	彈果帶	一									
六斤山砲榴彈	軍衣	一									
六斤山砲榴彈	軍袴	一									
七珊知米克式榴彈	軍袴	一									
八珊知米克式榴彈	軍袴	一									
同十五珊米無帶三條榴彈	軍袴	一									
鐵製地雷雷	軍袴	一									
各種槍	軍袴	一									

○明治二十九年四月二十四日訓第九十七號(官幣中社札製神社宛)  
明治二十八年戰役陸軍戰利品中明治二十八年八月陸軍省令第十六號陸軍戰利品整理規程第三條ニ依リ別記ノ通知ニ爲メ分與相成候條永久保存案庶ノ確證ニ供スヘシ  
(別記)  
一 藥合 一箇  
右ノ通り  
○明治三十一年一月二十八日總令第六號  
明治三十年(六月)法律第四十九號古社寺保存法第十條ニ依リ保存金管理規程左ノ通相定ム  
古社寺保存金管理規程  
第一條 保存金ノ收支ハ當該社寺又ハ其下付ヲ受ケタル者ヲシテ之ヲ取扱フハシム

四五八

第二條 保存金ハ北海道廳長官ノ指定スル銀行ニ預ケテ入保管セシム  
第三條 保存金ノ銀行預ケ入及引出ハ北海道廳長官ノ副書ヲ以テスヘシ  
第四條 保存金ノ引出ヲ要スルトキハ明細書ヲ作リ此海邊廳ノ檢定ヲ受ケ  
ヘシ  
第五條 前條ノ場合ニ於テ北海道廳長官ハ吏員ヲ派シ實地ニ臨檢セシメ又  
ハ其金額ヲ減シ若クハ引出ヲ停止スルコトアルヘシ  
第六條 保存金ノ收支ハ隨時吏員ヲシテ檢査セシム  
○明治三十一年五月二十八日訓第二百二十二號(官幣中社宮司宛)  
爾今社入金ノ内ヲ以テ皇典講究所ヘ寄贈セント欲スルトキハ其金額四ニ増  
由テ其北海道廳長官ノ認可ヲ經テ支出スルモノトス  
○明治三十一年六月四日訓第二百二十一號(官幣中社宮司宛)  
官幣中社保存金ノ金額預ケ入レ及引出ハ本年六月以後北海道廳長官ノ副書  
ヲ以テスヘシ  
○明治三十一年九月八日總令第六十六號  
明治三十一年(七月)內務省令第六號第二條ニ依リ神社寺院及佛堂ニシテ其  
嚴禁範圍外觀覽料徵收ノ者モ本令ニ依リ此際適當ノ額出ヘシ  
但シ從來ヨリ觀覽料徵收ノ者モ本令ニ依リ此際適當ノ額出ヘシ  
一 殿堂及庭園ノ觀覽料徵收シタル者ハ其殿堂及庭園者稱建築者クハ築造ノ年  
代並山形  
但シ殿堂ハ平面圖庭園ハ地形見取圖添附  
一 什寶ヲ觀覽シタル者ハ其什寶名稱所在品目數形狀寸尺構造並山形  
一 觀覽料一人ニ對シテ徵收金額  
一 觀覽期日アルモノハ其期日  
一 觀覽事務ニ從事スル者ノ職業住所氏名觀覽場内ニ於テ食物ヲ供スル  
モノハ其方法種類及代金ヲ徵スルモノハ其價額  
○明治三十四年一月十七日訓第二百二十五號(官幣中社宛)  
官幣中社各種遺物(保存金ヲ除ク)ノ管理規定左ノ通相定ム  
一 官幣中社各種遺物(金銀、證券、繪卷等)ハ中央金庫(本支金庫)又ハ日  
本銀行ニ預ケ入レ又ハ保管委託ヲナスヘシ  
一 特別ノ事情ニ依リ前項ニ依リ難キ場合ハ其預ケ入レ又ハ保管委託ノ銀  
行ヲ指定シ當該長官ノ認可ヲ受ケヘシ  
一 前項預ケ入レ又ハ保管委託ハ其神社宮司ノ職名ヲ以テ之ヲ行ヒ

第四類 社寺宗教 財產

預ケ管、委託管、引出等ノ場合ハ當該長官ノ副書ヲ  
以テスヘシ  
○明治三十四年三月二十五日訓第二百二十七號  
(官幣中社宛)  
官幣中社會計規則左ノ通り相定ム  
官幣中社會計規則  
第一條 會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三  
月三十一日ニ終ル  
會計ノ所屬年度ハ現ニ其出納ヲ執行シタル日ナ  
キテ區分スヘシ  
第二條 保存金ヲ分テ經費、經常經營費、永遠資本  
金、各社共通非常臨時經營費ノ四種トス  
其分割左ノ如シ  
經常經營費 同 配付金年額十分ノ六分  
永遠資本金 同 十分ノ一分  
各社共通非常臨時經營費 十分ノ五厘  
第三條 社入金ヲ分テ普通社入、特別社入ノ二種  
トス  
普通社入ハ賽錢、神饌料、祈禱料、神符守札料、幣  
料、神饌料、殘金及土地家屋等(枯損木障害木  
實知代金ヲ除ク)ヨリ生ズル收入トス  
特別社入ハ枯損木障害木實知代金、寄付金其他  
普通社入ニ屬セザル收入トス  
第四條 特別社入ハ別途保存金トシ蓄積スヘシ  
但シ枯損木障害木實知代金ハ當該長官ノ認可  
ヲ受ケ苗木植付費ニ充ツルコトヲ得  
第五條 永遠資本金ハ毎年度ノ初月經費及經常營  
繕費ハ毎三箇月分(自四月至六月自七月至九月  
自十月至十二月自一月至三月)毎期ノ初月ニ交  
付ス  
第六條 永遠資本金、非常準備金、別途保存金、經  
常準備金、常備蓄積金ハ中央金庫所屬ノ各地金  
庫ニ預ケ入レ永遠資本金ハ其金額三百圓以上又  
非常準備金以下ノ蓄積金ハ其金額二百圓以上又  
別途保存金ハ公債證券ヲ購入保管スヘシ  
但シ非常準備金以下ノ蓄積金ハ當該長官ノ認可  
ヲ受ケ銀行ヘ預入チ爲スコトヲ得  
第七條 經費中宮司職宜主典ノ俸給ヲ引去リ其殘  
餘十分ノ九分以下ヲ經費トシ十分ノ一分以上ヲ  
經常準備金トシ蓄積スヘシ  
第八條 保存金社入金ハ科目表(第一號)ニ依リ整  
理スヘシ  
各項ノ仕拂殘金ハ翌年度へ繰越シ臨時ノ補充ニ  
アツヘシ  
前項繰越金ノ內經營費ヲ除キ經費所屬ノ費目ハ  
經常準備金ニ社費所屬ノ費目ハ常備蓄積金ニ編  
入スヘシ  
經常準備金常備蓄積金ハ臨時所要ニ當リ當該長  
官ノ認可ヲ受ケ其所屬ノ費目又ハ經常經營費ニ  
移入スルコトヲ得  
第九條 保存金中經費ハ支出豫算書(第二號書式)  
ヲ製シ前年度三月十五日マテニ當該長官ノ認可  
ヲ受ケヘシ  
前項豫算各項ノ流用ナラバ要スルトキハ當該長官ノ  
認可ヲ受ケ又一項中各目ノ流用ハ宮司限リ之ヲ  
爲スコトヲ得  
第十條 普通社入金ヲ分テ非常準備金、常備蓄積  
金、社費、經營費、分配金ノ五種トス其分割左  
ノ如シ  
但シ社費各目ノ分割ハ宮司限リ之ヲ定メ又非常  
準備金ヲ除ク外各種ノ歩合ハ當該長官ノ認可  
ヲ受ケヘシ  
非常準備金 收入月額十分ノ一分  
常備蓄積金 同 十分ノ五厘  
社費 同 十分ノ一分  
經營費 同 十分ノ一分  
分配金 同 十分ノ一分  
第十一條 建造物ノ經營費要スルトキハ工事設計  
書及圖面ヲ添ヘ經營費(社入金ヲ以テ經營費ト  
スモノ共)ハ當該長官(各社共通臨時經營費ハ  
本道各社宮司連署ノ上當該長官ヨリ)內務大臣ヘ  
申請スヘシ經營費(社入金ヲ以テ經營費トス  
スモノ共)ニシテ金額十圓未満ノ工事ハ申請ナ  
クモ宮司限リ施行ノ上其旨當該長官(届出ヘ  
シ)但シ模範營ニ係ルモノハ此ノ限ニアラズ  
第十二條 建造物改修ノ爲メ各社共通臨時經營費  
ノ支出ヲ要スルトキハ其不用ニ歸スヘキ古材其  
他物件ノ實知代金ヲ見積リ之レヲ改修費トシ組  
入ルヘシ  
第十三條 經費經常經營費普通社入ノ現金ハ其月  
所要額ヲ見積リ殘餘ハ費用ヲ區分シ郵便貯金預  
所又ハ確實ナル銀行ニ預ケ入ルヘシ  
但シ經營費社入金經營費餘金二百圓ニ達シ  
タルトキハ公債證券ヲ購入保管スヘシ  
前項預金ヨリ生ズル經營費ノ利子ハ其目ニ其  
他ノ利子ハ所屬ニ歸ヒ經營費餘金又ハ常備蓄積  
金ニ編入スヘシ  
第十四條 分配金ハ宮司以下職員ニ至ル迄宮司ニ  
於テ其少ク定メ届出ヘシ  
第十五條 出納主任ハ當該長官ノ認可ヲ受ケヘシ  
定メ當該長官ノ認可ヲ受ケヘシ  
第十六條 現金預金預金通帳簿保管等ハ當該長  
官ノ副書ニ格納シ宮司及出納主任ハ紛失違





第四類 社寺宗教 財産

明治何年					摘要					永遠資本金又ハ(何)公債證券ノ部	
明治年	月	日	摘要	額	種類	番	受	拂	残	部	部
三十四年	四月	一日	前年度ヨリ 越	五,000	整理	一	五,000			五千四百五十拾	五千四百五十拾
何月	何日	何日	同上		軍事	二				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券
何月	何日	何日	同上		何	何				四券	四券

(第五號書式) (用紙美濃紙)

明治何年度

經費出納内訳簿

(社入金出納内訳簿)

何 社 (宮)

常 經 (項)				括		總					
明治年月日	番	證	號	摘要	受入高	仕拂高	殘高				
三十四年	四月	一日		前年度ヨリ經常準備金繰越高	五,000		五,000				
同	同	同	同	前年度経費仕拂殘金繰越高	二,三二二		六,三二二				
同	同	同	同	前年度分受入	五,950		六,772				
<p>一 總括及各項毎ニ口座ヲ設ケ記帳スヘシ</p> <p>二 過誤拂ニ係ル定額戻入ハ仕拂高ノ額ニ未書スヘシ</p> <p>三 社入金出納簿ヲ本書式ニ準シ調製記帳スヘシ</p> <p>四 社入金總括及各項受入記帳ハ收入ノ分割表ニ依リ記帳スヘシ常務費出納簿ノ受入記帳モ之ニ同シ但収入簿ヲ以テ證據ト爲スニ付要領ヲ要セス記帳スヘシ</p>				<p>凡 例</p> <p>同月同日 同第何號 現金百圓何銀行へ預入</p> <p>同月同日 同第何號 何月分俸給何某外人波</p> <p>同月二日 同第何號 何月何日支第何號ノ内誤拂戻入</p> <p>同月二日 同第何號 何月何日支第何號ノ内誤拂戻入</p> <p>(翌月以降累計ヲ付スヘシ)</p>				<p>摘要</p> <p>受入高</p> <p>仕拂高</p> <p>殘高</p> <p>現金在預金内高</p>			
<p>三十四年 四月一日 前年度ヨリ經常準備金繰越高</p> <p>同 同 前年度経費仕拂殘金繰越高</p> <p>同 同 前年度分受入</p>				<p>同月同日 同第何號 現金百圓何銀行へ預入</p> <p>同月同日 同第何號 何月分俸給何某外人波</p> <p>同月二日 同第何號 何月何日支第何號ノ内誤拂戻入</p> <p>同月二日 同第何號 何月何日支第何號ノ内誤拂戻入</p>				<p>一九九五〇</p> <p>二,三二二</p> <p>五,九五〇</p> <p>一,九七五〇〇</p> <p>一,九七五〇〇</p> <p>二,三二二</p> <p>六,三二二</p> <p>五,000</p> <p>六,322</p> <p>五,950</p> <p>六,772</p> <p>五,950</p> <p>六,772</p>			

第四類 社寺宗教 財産







科目	前年度繰越高	受 入		仕 拂		現在高	備 考
		額	枚	額	枚		
永進資本金	二九〇〇〇〇					八〇〇〇	繰高ノ内八厘ハ現金八拾四拾四拾何 金庫預ケ金 本区分受入高ノ内金六百拾五圓何 公債証券額何千何百圓三對ス何月何 利息拾九圓六拾五圓八厘ハ何金庫ハ預 ケ金何百何拾圓ノ利息 金五拾圓ハ何公債証券額何拾何月 當該金五百五拾八圓貳拾五圓本年度積 立
俸 給		一四〇〇〇		〇		〇〇〇	繰高ハ現金
雜 給		二〇〇〇〇		一〇〇〇		三〇〇	繰高ハ何銀行預金、流用増額ハ何何ノ 為メ何費ヨリ流用
何 何		一〇〇〇〇		一〇〇〇		〇	流用減額ハ何何ノ爲メ雜給ハ流用
計	二九〇〇〇〇	一四四〇〇		一〇〇〇		八〇〇〇	

凡 例  
一 公債証券ノ當該元金利息及預金利息等ハ當該科目本区分ニ受入其内譯ヲ備考欄ニ明記スヘシ  
一 第二期報告ヨリハ前年度繰越高ヲ前記繰越高ト記載スヘシ

公債証券ノ部

科目	前年度繰越高	受 入		仕 拂		現在高	備 考
		額	枚	額	枚		
永進資本金	一、〇〇〇、〇〇〇					五〇〇、〇〇〇	受入高ノ内本区分ハ何月何日何 ケ額何百何拾何圓何分何厘 借入金ノ内何月何日何分何厘 保費仕拂高ノ内本区分ハ何月何日何分何厘 ルモノ

凡 例  
一 第二期報告ヨリハ前年度繰越高ヲ記載スルニ及ハス  
(第八號書式) (川紙半紙罫紙)

現 金 ノ 部  
明治何年度 至何月何日社入金受拂報告表

何 社 (宮)

科目	前年度繰越高	受 入		仕 拂		殘 高	備 考
		額	枚	額	枚		
社 費							繰高ハ凡テ現金
營 費							
分 配 金							
何 何							
計							

凡 例  
一 本表記載方法及公債証券ノ部ハ保存金受拂表ニ準ス

第四類 社寺宗教 財産

外事

○明治三十二年七月二十六日訓第四百二十九號 (沿海) (支廳長官長官)
從來ノ特別輸出入港特別輸出入港其他外國貿易ノ爲メ日本船舶ノ出入シ得タル場所ハ本年三月法律第六十一號關稅法ノ施行セラルル迄ハ新條約實施ト同時ニ條約ノ規定ニヨリ外國船舶ニ對シテモ貿易上開放セラルル義ニシテ即チ開港ノ實ヲ呈スル次第ニ有之付テハ新條約實施後右諸港ヘハ豫テ帝國政府ノ許可ヲ受ケルニ及ハスシテ外國軍艦ニモ寄港スルコトヲ得セシムル趣ニ候條寄港ノ節ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

○明治三十二年七月二十六日訓第四百二十九號 (沿海) (支廳長官長官)
從來ノ特別輸出入港特別輸出入港其他外國貿易ノ爲メ日本船舶ノ出入シ得タル場所ハ本年三月法律第六十一號關稅法ノ施行セラルル迄ハ新條約實施ト同時ニ條約ノ規定ニヨリ外國船舶ニ對シテモ貿易上開放セラルル義ニシテ即チ開港ノ實ヲ呈スル次第ニ有之付テハ新條約實施後右諸港ヘハ豫テ帝國政府ノ許可ヲ受ケルニ及ハスシテ外國軍艦ニモ寄港スルコトヲ得セシムル趣ニ候條寄港ノ節ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

○明治三十二年七月二十六日訓第四百二十九號 (沿海) (支廳長官長官)
從來ノ特別輸出入港特別輸出入港其他外國貿易ノ爲メ日本船舶ノ出入シ得タル場所ハ本年三月法律第六十一號關稅法ノ施行セラルル迄ハ新條約實施ト同時ニ條約ノ規定ニヨリ外國船舶ニ對シテモ貿易上開放セラルル義ニシテ即チ開港ノ實ヲ呈スル次第ニ有之付テハ新條約實施後右諸港ヘハ豫テ帝國政府ノ許可ヲ受ケルニ及ハスシテ外國軍艦ニモ寄港スルコトヲ得セシムル趣ニ候條寄港ノ節ハ相當ノ便宜ヲ與フヘシ

○明治三十五年十月二十日訓第九百三十八號 (沿海) (支廳長官長官)
(別紙ハ前出三十五年訓第九百三十七號ノ各條ニ同シ依テ略ス)
○明治三十五年十月三日告示第五百二十四號
近來本邦商業團體及個人ヨリ在外帝國領事館ニ向テ直接ニ諸般ノ事項調査ヲ依頼スル者續續有之趣ノ處其事項中ニハ往來當局官廳ニ於テ既ニ調査済ノモノ少ナカラス或ハ同一事項ニ關シテ既ニ調査済ノモノニ付爾今右様ノ場合ニハ必ス當該手續ヲ外務省ヘ出願スヘシ

○明治三十六年二月七日告示第九百九十五號
冬季結氷間ニ於ケル本邦北滿洲ノ交通上御用船ノ外我軍船ノ同地方ニ航行スルモノ無之場合ニ於テハ軍事輸送上差支キ限リ陸軍省御用船ニ人民ノ便乘及手廻リ荷物ノ搭載ヲ許可セラルヘクニ付北滿洲ヨリ便乘スル者ニ在リテハ在天津帝國領事館ノ證明ヲ受ケ補給廠大沽出張所ヘ本邦ヨリ便乘スルモノニ在リテハ旅券ノ寫若クハ地方官ノ證明書ヲ添ヘ旅行理由ヲ具シ在字品運搬陸軍補給廠ヘ出願シ尙便乘者ノ本邦上船地ハ門司港トシ且ツ手廻荷物ハ旅行者自己ノ必需品ニ限ルモ賣買品ニアラサル見本商品タル稅關ノ證明アルモノ(北滿洲ヨリ搭載スルモノニ在リテハ天津領事館ノ證明アルモノ)ハ搭載ヲ許スヘクニ付該證明書ヲ添ヘ豫メ補給廠ヘ願出テ同職員ノ検査ヲ受クヘシ

ハ相當便宜ヲ與フヘシ
○明治三十二年七月二十六日訓第四百三十號 (沿海) (支廳長官長官)
從來開港ノ外今後開港トナル場所共凡テ開港ヘハ豫メ帝國政府ノ許可ヲ受ケルニ及ハスシテ外國軍艦ノ寄港スルコトヲ得セシムル趣ニ付寄港ノ際ハ相當便宜ヲ與フヘキ旨沿海支廳長官及戶長ヘ送置候條其旨心得ヘシ

○明治三十二年七月二十六日訓第四百三十一號 (沿海) (支廳長官長官)
改訂條約實施後ト雖モ帝國領海内ニ於ケル外國軍艦ニ對スル法律上ノ關係ハ從來ト變更スル所ナキヲ以テ開港以外ノ地點ニ寄港セントスル外國軍艦ハ從來ノ通リ其都度豫メ帝國政府ノ承認ヲ得ルコトヲ要スル義ニ有之候條其旨心得ヘシ

○明治三十二年八月二十六日訓第四百七十九號 (各支廳)
日領領事職務條約第三條ニ依リ賦課ノ免除スヘキモノハ好意ヲ以テ廣ク一般ノ外國領事官並ニ領事館附屬ノ外國官吏ニ對シテモ之ヲ免除スヘキ旨其筋ヨリ訓令有之候條其旨心得ヘシ

○明治三十二年十月一日訓第五百六十六號 (函館支廳)
函館開港場外國人ニ關スル事務ハ支廳長官名ヲ以テ一干八百八十一年九月十六日東シベリヤ總督府ヨリ發給ノ候條此旨告示候事
第一千八百八十一號
東シベリヤ軍務總司令大藏事務總裁トノ認可ヲ以テ薩哈連島ヘ火酒類輸入ノ儀ニ付飲料販賣規則改正迄ハ左ノ法規ヲ實施スヘキ旨東シベリヤ總督府ヨリ公布ス

本長官代理事務處理スヘシ尤モ重要事務ハ本長官ヘ經何ノ上處理シ其宗念ヲ要スル事ニシテ經何ノ暇ナク時機ヲ失スルヲ恐レアルモノハ直ニ外務大臣ニ上申スルコトヲ得此場合ニ於テハ同時ニ本長官ニ報告スヘシ

○明治三十五年十月二十日訓第九百三十七號 (沿海) (支廳長官長官)
外國領事館報告心得左ノ通り改正ス
但シ外國領事館報告心得ニ關スル從前ノ訓令ハ廢止ス

○明治三十二年十月一日訓第五百六十六號 (函館支廳)
函館開港場外國人ニ關スル事務ハ支廳長官名ヲ以テ一干八百八十一年九月十六日東シベリヤ總督府ヨリ發給ノ候條此旨告示候事

○明治三十二年十月一日訓第五百六十六號 (函館支廳)
函館開港場外國人ニ關スル事務ハ支廳長官名ヲ以テ一干八百八十一年九月十六日東シベリヤ總督府ヨリ發給ノ候條此旨告示候事
○明治三十二年十月一日訓第五百六十六號 (函館支廳)
函館開港場外國人ニ關スル事務ハ支廳長官名ヲ以テ一干八百八十一年九月十六日東シベリヤ總督府ヨリ發給ノ候條此旨告示候事

第四類 外事

第一、同地方官ヨリ受領セシ後ハ再ヒ從前ノ漁場ニ赴キ捕魚スルヲ得ヘシ
但同規則ニ於テ制禁シタル漁場ハ此限リニ非ス
第二、各漁業者若シ可ノ漁場ニ到著セル上ハ直ニ漁業免狀ヲ發給ノ警察官ヘ差出シ漁業終ル後ハ帝國領事ヲ經テ之レヲ「コルサコフ」港長官ヘ返納スヘキ事
第三、露國海產規則ニ於テ差許サレタル漁業場ノ内未ダ他人ノ著手セサル場所ニ更ニ出漁漁業ヲ爲サント欲スル者ハ其旨郵便ニテ「浦潮港經山スレハ夏秋ノ内六回定期汽船往復スルノ便アリ」コルサコフ港帝國領事ヘ出願スヘシ同領事ニ於テハ至急其旨露國地方官ヘ照會シ差支ノ有無ハ早便ニテ通知スヘシ
第四、薩島ニ航スル船舶ハ明治九年十二月一日付第四百十九號御布告ヲ遵奉シ必開港場ヨリ出船スヘシ若シ心得違ヒテ開港場ヨリ出船シ來薩スル船舶アレハ其漁業(或ハ商業)ニ關シ「コルサコフ」港帝國領事ハ露國地方官ヘ照會シ爲ササルヘシ然ル時ハ自然漁業(又ハ商業)ヲ營ム能ハサルニ立到リ之レカ爲メ損失ヲ來スヘキニ付心得違ヒナキ注意スヘキ事
第五、薩哈連島内ハ何レノ地方モ各種酒類ノ輸入ハ嚴禁ナリ且露國民或ハ土人ニ對シ酒類ヲ以テ物品ト交換スルモ同様制禁タルヘシ若シ此禁ヲ破リシ者發覺スル時ハ露國ノ法典ニ於テ露貨五百五十留ノ罰金ヲ取リ立テラレ又海產假規則第十一條ニ基キ其營業ヲ禁止メラルヘシ
但シ自己飲料ノ酒類ハ仲間組合規約ノ制限ニ依リ得ヒ行クコトヲ得ヘシ
第六、各漁業者ハ賦課ノ恩役人ヲ使役シヌヘシ

第七、薩島ヨリ「アイノ」土人ヲ本邦ヘ連レ來ルコト能ハサルヘシ
第八、露國官廳ヨリ徒利人ヘ給與サレタル毛衣並ニ太卜織物紗ノ外又ハ其切レ地帯ハ限テ地方規則ニ於テ購買制禁ノモノナリ依テ若シ右ノ制禁物ヲ所持スルモノ薩島内ニ於テ發覺スル時ハ直ニ露國官吏ヨリ取捕ケラルヘシ
第九、各漁業者船中及水邊夫ニ至ルマテ露國地方官ノ許可ヲ得テ何等ノ物品ヲリトモ商賣スルコトヲ得サルヘシ
但シ第六、第七、第八、及第九ニ記載ノ條件ニ違背スル者ハ其事情ノ輕重ニ由リ露國地方官ニ於テ將來其漁場ヘ出稼スルコトヲ禁止メラルコトアルヘシ
第十、漁業中伐木ノ爲メ山林ニ入ル時ハ失火ヒサル様注意スヘキ事
第十一、土人等自己ノ食料ノ爲メ捕獲セシ魚類ハ物品ヲ以テ之ト交換セサル様漁業者並ニ船中ヨリ其水邊夫共ヘ爲テ申開セ置ケルヘシ
○明治二十五年六月二十四日告示第四十三號
北米合衆國ニ於テ千八百八十五年二月二十六日外國人契約労働者移住禁止條例ナル者ヲ發布シ右ニ違犯ノ徒ハ何國人ニ不拘上陸拒絶ノ制規ニ有之又客年三月十三日該條例追加條文ヲ制定シ契約労働者ノ移住禁止一層嚴重施行ノ處本邦ヨリ渡來スル者陸路相繼キ本年四月十三日橫濱發向英國汽船「ベルジック」號ニ乘込タル渡來者中乘船到著横濱ニ由リ餘額逃犯ノ廉ヲ以テ上陸ヲ拒絶セラレテシテ歸國シタル者二十六名猶一層嚴重ナル檢査ヲ施行シ逃犯者ヲ送還セントスルノ狀況ニ有之必覺スルニ渡來者力未ダ若ク該條例ノ何物ヲモヤ知ラサルニ其因スルモノト雖モ其罪ヤ卑ニ其身上陸ヲ拒マルモノ不審ニ陷リ莫大ノ旅費ヲ失ヒ進退ニ窮スルノ處ナシトセラルヘシ其罪ヤ重ニテ次第有之者ヲ熟知テ要スルモノハ千八百八十五年制定ノ條例(客年六月二十九日官報外國内ニ掲載アリ)及客年制定ノ追加條例(客年六月十六日官報外國内ニ掲載アリ)ニ依リ其要領ヲ學クレハ自編瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受ケルノ虞アル者雖惡スヘキ疾病又ハ危險ナル傳染病者重罪又ハ破産罪ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ始メ或ハ直接間接ニ契約ヲ結ヒ一定ノ給料又ハ就役ノ場所ヲ定メ或ハ契約ヲ爲シ或ハ書面日答ノ勸誘ニ依リ渡來シタル者ハ契約移住者ニ該當スヘキモノト認定シ上陸ヲ禁セラルコト第三條終自今渡來サ金國スルモノハ尙一層前送ノ條例ヲ熟讀シ知シ荷ヒ他ノ勸誘等ニ依リ渡來シタル者一員ノ不幸ハ勿論我國體ニ關係テ來スカ如キ不都合無之様深ク注意致スヘシ
○明治二十六年五月四日告示第二號
今般北米合衆國ニ於テ移住若クハ契約労働者ノ爲メ同國ヘ渡航スル外國人取締方三閣申本年三月三日ヲ以テ左ノ譯文ノ通新條例制定相成該當道人民ニシテ同國ヘ出稼セントスル者ハ該條例ノ趣旨ヲ熟讀シ渡航シテ其目的ヲ誤リ不審ニ陷レルコトヲ慎ミ注意スヘシ

四七四

第一條 外國移住民ヲ搭載シテ合衆國ノ海港ニ到著スル汽船又ハ帆船ノ船長若クハ船員ハ其到

著ノ際現行法律ニ定ムル諸般ノ制規ヲ遵守スルノ外該汽船又ハ帆船ニ搭載セル外國移住民乘込ノ時日並ニ場所ニ於テ製シタル日録ヲ到著港ノ移住民検査官ニ差出スヘシ此日録ニハ其上部ニ掲ケル質問ニ對シ各移住者ニ就キ左ノ事項ヲ記載スヘシ姓名、年齢、男女、既婚又ハ未婚、職業、讀ミ書シ得ルヤ否、國籍、最後ノ住所、合衆國ノ上陸港、上陸港外ニ行先アルモノハ其行先、其行先マテノ通シ切符ノ有無、船賃ハ自辨シタルヤ又ハ他人、會社、協會、市邑若クハ政府ヨリ支拂ヒタルヤ、所持金ノ有無、若シ所持金ナキハ三トキハ三十弗以上ナルヤ又三十弗若クハ三十弗以下ナルトキハ其現額如何、親戚中ニ到リントスルモノナルヤ、若シ然リトモハ其親戚ノ姓名及ヒ住所、曾テ合衆國ニ來住セシコトアリヤ、若シ然リトモハ其時日及ヒ場所、曾テ監獄若クハ貧院ニ入り又ハ慈善救助ヲ受ケタルコトノ有無、數妻ヲ有スル者ナリヤ否、合衆國ニ於テ勞動ニ就クコトニ付明諾若クハ默諾ノ契約アリヤ否、身體及ヒ精神上ノ健康如何、若シ不具者ナルトキハ其原因如何
第二條 移住民ハ適宜ニ團列ニ分テ其日録ヲ製スヘシ而シテ各日録ニハ三十名以上ノ記載スヘカラス
各移住者又ハ其家長ニハ到着ノ際其人名證明ノ便宜ヲ計ル爲メ本人ノ姓名、日録ノ番號及ヒ其日録ニ於ケル本人ノ番號ヲ記載シタル切符ヲ交付スヘシ各日録ハ船長若クハ指揮員又ハ其配下ノ第一等若クハ第二等役員ノ署名ト其船舶ノ出發前出帆港在留ノ合衆國領事若クハ領事事務官ノ面前ニ於テ爲シタル誓言ト以テ之ヲ證明スルヲ要ス其誓言ハ左ノ如シ

第四類 外事

此日録ニ掲ケル船客ハ自カラ一之ヲ檢査シ且ツ乘込醫員ナシテ一之カ身體ノ檢査ヲ遂ケシメ而シテ自分ノ檢査並ニ該醫員ノ報告ヲ據レハ該船客中ニ病人、癡狂人、貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受ケルニ至ルヘキ虞アル者又ハ癩癧スヘキ疾病若クハ危險ナル傳染病ニ罹リ居ル者又ハ重罪若クハ其他ノ破産罪ヲ犯シ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者又ハ數妻ヲ有スル者又ハ合衆國ニ於テ勞動ニ就クコトニ付明諾若クハ默諾ノ契約アル者ハ一人モ之ナク且ツ其他總テ此日録ニ掲ケル事項ノ正確ナルヲ誠實ニ信認スル者ナリ
第三條 乘込醫員モ亦其船舶ノ出發前各日録ニ署名シ且其前記ノ領事若クハ領事事務官ノ面前ニ於テ其職業上ノ經驗及ヒ資格ヲ陳述シ右日録ニ掲ケル各船客ニ就キ自カラ檢査ヲ遂ケ其身體及ヒ精神上ノ健康ニ關スル事項ヲ充分且ツ誠實ニ記載シタル旨ヲ誓言スヘシ若シ移住民ヲ搭載スル船舶ニ乘込醫員ナキトキハ身體ノ檢査及ヒ日録ノ證明ハ其船舶持主ノ願入ルヘキ適當ノ醫員ヲシテ之ヲ擔任セシムルコトヲ得
第四條 右船舶ノ船長又ハ指揮員ニシテ其船舶ニ搭載スル外國移住民ニ關シ前記ノ事項ヲ掲載シ且ツ前記ノ證明ヲ得タル日録ヲ移住民検査官ニ差出ササルトキハ右移住民中合衆國ニ上陸スヘキ資格ヲ有スルモノ日録ニ記載ナキ者一名ニ付各十弗ノ金額ヲ到著港ノ稅關ニ納付スヘシ若シ此金額ヲ納付セサルトキハ右移住民ハ他ノ故障ニ依リ上陸ヲ拒絶セラルモノト同様ニ送還セラルヘシ
第五條 移住民中検査官ニ於テ明確ニ上陸ヲ許スヘキモノト認定得サルモノハ千八百九十一年三

月三日ノ改定外國人移住條例第一條(二十四年六月十六日官報外國内ニ掲載セラルモノ)ニ基キ特別檢査ノ爲メ之ヲ留置ケルヘシ特別檢査ハ大藏卿又ハ移住事務官若クハ特ニ命ケラルヘシ特別檢査ニ付セラル移住者ハ右檢査官ノ少クモ三名ノ同意アルニ非ラサレハ上陸ヲ許ササルモノトス但シ上陸許可ノ決定ニ對シ異議ヲ有スル檢査官ハ移住事務官ニ上訴スルヲ得又移住事務官ノ處置ハ千八百九十一年三月三日ノ改定外國人移住條例第八條ノ規定ニ準據シ大藏卿ノ審定ニ付スルヲ得
第六條 千八百九十一年三月三日ノ改定外國人移住條例第五條中「第二款ノ但書」トアルヲ「第一款ノ但書」ト改メ又同條例第八條ハ左ノ如ク之ヲ修正ス
海軍病院ノ醫員ニ於テ施行スヘキ移住民ノ身體檢査ハ該病院ノ現任醫官ニシテ大藏卿ノ指名シタル者ナシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得而シテ通常ノ醫師ハ特別檢査ノ場合ニ限り一時之ヲ雇入ルヘキモノトス
第七條 外國移住者カ公共ノ扶助ヲ受ケルニ至ルサルヘシトノ保護ハ口述ヲ以テシ又ハ書面ヲ以テスルコトヲ同ハス其都度移住事務官ノ許可ヲ受ケルニ非ラサレハ一人、會社、若クハ慈善會等ヨリ之ヲ受領スルヲ得ス但シ右許可ハ大藏卿ノ指令ヲ俟テ之ヲ與フルモノトス
第八條 汽船會社、運賃會社及ヒ其他ノ船舶持主ニシテ常ニ合衆國ヘ外國移住民ヲ運搬スルコトニ從事スルモノハ毎年兩度左ノ如キ證明書ヲ大藏卿ニ差出スヘシ
右會社等ノ在外代理人ニシテ移住民ニ切符ヲ

實測者チシテ其事務ノ最モ見易キ場所ニ掲示セシメカ爲メ千八百九十一年三月三日ノ條例及ヒ其後ノ制定ニ係ル移住ニ關スル諸條例ヲ右在留國ノ國籍ヲ以テ印刷シテ之ヲ右代理人へ交付シ且移住セントスル者ニ切符ヲ賣渡スニ先チ右掲示ニ對シ其注意ヲ促スヘキ旨ヲ命ジ置キタルモノナリ

右會社等ニシテ六十日ヲ経過スルモ前記ノ證明書ヲ差出ササルトキ又ハ偽造ノ證明書ヲ差出シタルトキハ五百弗以下ノ罰金ニ處スヘシ但シ此罰金ハ管轄聯邦裁判所ニ起訴シテ之ヲ徵收スヘシ且ツ合衆國ノ版圖内ニ在ル該會社所有ノ船舶ヲ以テ右罰金徵收ノ抵償ニ充ツルコトヲ得

第九條 「エリス」島ニ於ル兩管、船客及ヒ其荷物ノ運搬、飲食店等ニ關スル營業權及ヒ其他該島移住民取扱所ニ關スル特權ハ千八百九十三年一月一日以後ニ於テ大藏卿ノ定ムル所ノ條件及ヒ制限ニ從ヒ競賣ニ付シテ之ヲ處分スヘキモノトス

第十條 此條例ハ支那人ニ適用スルノ限ニ在ラス而シテ此條例ハ其制定ノ日ヨリ六十日以後ニ於テ合衆國ヘ向ケ外國ノ海港ヲ出發スル船舶ニ適用スルモノトス

○明治二十六年六月二十三日皆驗第四號 本年(五月)當該會社第二號ヲ以テ北米合衆國制定ニ係ル外國人移住及ヒ契約勞働ニ關スル法律施行條例ヲ示シ驗告セシ職モ有之候尙又同國ニ於テ移住民取扱細則制定相候條(細則)ハ明治二十六年六月九日官報公使館及領事官報告欄内ニ掲載アリ)當道人民ニシテ同國へ渡航セントスル者ハ該細則ヲ熟覽シ困難ヲ招カサル程篤ク注意スヘシ

○明治三十六年二月十七日訓第四百十九號(警察)

署分署宛 布哇行移民中眼病「トウホーム」ノ爲メ送還セラルル者多數有之候ニ付今後同地行移民ヨリ渡航許可方出願ノ際ハ願書ニ該病ナキ旨ノ醫師診斷書ヲ添附セシムヘキ旨外務大臣訓令ノ次第有之候條自今右ニ取扱ヘシ

○明治二十九年九月五日皆驗第七十號 露國所領地内へ渡行スル本邦人ハ凡テ在本邦同領事館ニ就キ自己ノ旅券ニ査證ヲ受ケヘキ制規ノ處往來其手續ヲ怠ル者有之候條ハ來ル明治三十年一月十三日以降ヨリ右ノ手續ヲ履行セサル者ハ薩哈連島漁業場ニ雇ハル職工ヲ除クノ外凡テ同領内へ入ルコトヲ許ササル旨其筋ヨリ通知アリ

○明治二十九年九月十一日訓第五十號 明治二十九年(五月)外務省令第三號移民保護法施行細則ニヨリ北海道廳ヲ經由スヘキ書類又ハ北海道廳長官ニ願出若クハ届出ヘキモノハ所轄警察署ヲ經由スヘシ

○明治二十九年九月十二日訓第二百三十七號(警察署同分署宛) 移民保護法施行細則ニヨリ出願スル者アルトキハ左ノ區別ニヨリ調査シ意見ヲ具シ警部長ニ進達スヘシ

一 移民ハ年齢、職業、經歷、品行、前科ノ罪實及刑期將來危險ノ程度等種類、白痴、痲瘋、癩癩、其ノ他之ハ其其產且ツ移民保護法第三條第二項ノ義務ヲ負フヘキ旨ノ保證書ヲ差出サシムルコト

二 移民取扱人又ハ代理人ハ細則第八條ニ掲グル外年齢、職業、經歷、品行、前科ノ罪實及刑期信用ノ有無將來營業上危險ノ程度等ヲ調査ス

三 許可ヲ取消サレタル者ニ其ルヤ否ノコト

○明治三十年四月二日皆驗第六十五號 露國所領地内へ渡航スル本邦人ハ薩哈連島漁業場ニ雇ハル職工ヲ除クノ外在本邦露國領事館ニ就キ自己ノ旅券ニ査證ヲ受ケヘキ制規ノ處其出願手續ハ左ノ如シ

一 旅券査證ハ本人自ラ出願シテ之ヲ出願スヘキ旨ナルモノ本邦内露國領事館ノ設ケナキ地方ヨリ在本邦露國領事館所在地ヲ經由シテ渡航セント欲スル者ハ北海道廳ノ證明書ヲ得テ便宜本邦ヨリ郵便若クハ代理人ヲ以テ最近在本邦露國領事館ニ出願スルコトヲ得

一 前項ノ場合ニ在リテ北海道廳ノ證明書ヲ得ント欲スル者ハ其願書ニ所有旅券ノ果シテ本人ノ所有ナルニ相違ナキ事實證明人出願ノ場合ニ於テハ其代理人アルコトヲ併セテ之ヲ職工ハ北海道廳ノ名宛ヲ以テ便宜在露國領事館兩館在勃北海道廳書記官ニ差出スヘシ

一 旅券査證手續料ハ旅券一枚ニ付金貨六弗(日本通貨目下ノ相場金二圓二十六錢餘ニ當ル)ノ定メタル額ヲ以テ本邦通貨ニ換算シ相當ノ額ヲ旅券査證出願ノ際納付スヘシ

一 但シ郵便ヲ以テ旅券査證出願ノ場合ハ其手数料ハ郵便若クハ其他ノ方法ヲ以テ同時納付スヘシ

○明治三十年四月二日訓第四百十七號(前館在勃北海道廳書記官宛) 今般當該會社第六十五號ヲ以テ露國所領地内へ渡航スル者ノ旅券査證手續料ニ付テハ郵便若クハ代理人ヲ以テ出願スル場合ニ要スル當該證明書下付ノ表願出ツル者アルトキハ事實調査ノ上

名當該會社證明書ヲ作り下付方本官代理處理スヘシ

○明治三十年六月二十七日皆驗第七十七號 日本臣民ニシテ佛領印度支那ニ赴カントスル者ハ其出發ノ際在本邦佛國領事館ニ就キ旅券ノ査證ヲ受ケルコトヲ其筋ヨリ通知アリ

○明治三十年八月三十一日皆驗第九十號 佛領印度支那ニ赴カントスル者ハ在本邦佛國領事館ニ就キ旅券ノ査證ヲ受ケルコトヲ其筋ヨリ通知アリ

○明治三十一年(六月)當該會社第二號ヲ以テ及告示置候佛國大使館又ハ同國領事館所在地ニ在セル者ハ自身旅券ヲ携帶シテ出願スルチ要ス該旅券ヲ郵便ニ付シ又ハ代理人ヲ以テ差出サシムルモ妨ナシ又一私人ノ旅券査證ニハ佛法六法ヲ査證料トシテ納付スルチ要ス

○明治三十一年二月十六日訓令第七號(支那宛) 海外旅券及移住民旅券下付表並ニ同表ニ添付スル報告事項報告式左ノ通相定ム但シ返納旅券ハ返納表ニ添ヘ同時ニ送付スヘシ

海外旅券及移住民旅券下付表並ニ同表ニ添付スル報告事項報告式

第一期 (自一月至三月)分 翌月五日限

第二期 (自四月至六月)分 同上

第三期 (自七月至九月)分 同上

第四期 (自十月至十二月)分 同上

報告事項報告式

一 號 (用紙美濃以下敷之)

海外旅券及移住民旅券下付表 自明治何年一月ノ類 至同 年三月ノ類

旅券 氏名 族籍 住所 年齢 主航 種類 先航 移住取扱人 旅券下付月日 納月日

合計幾人

二 號

海外旅券及移住民旅券返納表 自明治何年一月ノ類 至同 年三月ノ類

旅券 氏名 族籍 住所 年齢 主航 種類 先航 移住取扱人 旅券下付月日 納月日

合計幾人

備考

以上二表中ノ勞動種類及移住取扱人又ハ保證人ノ欄ニハ移民ノ分ノ記入ス

○明治三十一年三月三十一日訓第六六號(支那宛) 海外旅券用紙裏面ノ譯文記載方ニ關シ左記ノ通り其筋ヨリ進達有之候條此旨心得ヘシ

一 明治三十一年度又ハ下部へ西曆ヲ附記スヘシ

一 姓名ノ順序ハ名ヲ前ニシ姓ヲ後ニシ姓名トモ全然記入スヘシ

一 ○明治三十一年四月八日訓第二百二十號(支那宛) 今般當該會社第二號ヲ以テ別紙摘要ノ通り移住制限法制定ニヨリ今後同地へ渡航セントスル一般旅行者ハ該法ニ遵依スヘキ旨ニ付旅券下付ノ際不都合無之候注意スヘシ

四 旅券査證手續料(千八百九十七年十二月制定)

摘要

一 本法ヲ適用セザルモノ如左

一 西濱洲政府當該官吏ヨリ移住免狀ヲ得タル者

二 條例又ハ西濱洲長官ノ認可セシ規則ニヨリ移住手續ト定ムル種類ニ屬スル者

三 西濱洲政府當該官吏ノ手書ヲ以テ本法ノ適用ヨリ除外セザルモノ者

四 英國陸軍軍人

五 各國軍艦乘組士官及水兵

六 各國政府ヨリ西濱洲政府ニ簡派セザルモノ者

七 移入勞動者登錄法ニ依リ上陸スル者

八 舊法ニ依リ歸來免狀ヲ有スル歸來者

一 移住ヲ禁止スヘキモノ左ノ如シ

一 當該官吏ノ面前ニ於テ其指シタル英文(五十語)ヲ歐洲中一國ノ文字ニテ認メ及ヒ自國語ヲ以テ之ニ記名スルコト能ハサル者

二 窮民又ハ公共ノ負擔ト爲ルヘキ恐アル者

三 白痴癩癩

四 ハンキ又ハ危險ナル傳染病ヲ患フル者

五 三箇年内ニ重罪又ハ破廉罪ヲ判決受ケ其免狀ヲ得サル者(純然タル國事犯罪ハ比限ニ非ラズ)

六 醜業婦及ヒ之ニ依リ衣食スル者  
一 本法ニ背キ西濱洲領内ニ來ル者ハ退去セシメ  
又判決ニ依リ六箇月以内ノ醜業ニ處スヘシ  
一 前條移住禁止者ニ屬スルモ其第三以下ニ當ラ  
サル者ハ左ノ條件ヲ以テ在留ヲ許スヘシ  
一 移住者ハ上陸後ハ入來ノ際當該官吏ニ百磅  
ヲ預入ルルコト  
二 右移住者ニシテ來者後十四日間内ニ移住禁  
止者ニアラサルノ證明書ヲ當該官吏ヨリ得  
タルトキハ該預金ハ返戻スルコト  
三 移住者ニシテ右期間ニ證明書ヲ得ルコト能  
ハサルトキハ該預金ヲ沒收シ移住禁止者ト  
シテ取扱フコト  
一 移住禁止者中ノ第三以下ニ當ラサルコト及ヒ  
既往二年間西濱洲内ニ於テ價格三百磅ノ土地  
ノ永代借地權者トシテ登錄セラレ且現ニ登  
録セラレコト若クハ曾テ西濱洲ニ入籍シ又  
ハ現ニ籍ヲ有シ當該官吏ノ交付シタル歸來免  
狀ヲ有スルコトヲ當該官吏ニ證明シ得ル者ハ  
移住禁止者トシテ取扱フコトナシ  
一 移住禁止者又ハ入國禁止者ニアラサルモノ  
妻及小兒ハ移住ヲ禁止セラルコトナシ  
一 移住禁止者ヲ上陸セシメタル船舶ノ船長及船  
主ハ右移住禁止者一人毎二百磅以上五百磅以  
下ノ罰金ヲ連帶ニ課スヘシ  
一 移住禁止者ノ本法ニ違反スルヲ故意ニ幫助ス  
ル者ハ其方法ノ如何ヲ問ハズ本法違反者ト爲  
ス  
一 西濱洲長官ハ採貝業ニ従事セシムル爲メ移入  
セラルル者ニ關シテハ別ニ規定スルコトヲ得  
○明治三十一年五月十七日告示第百十七號  
露領薩哈連島西海岸北部へ魚類購入ノ爲メ渡航ス  
ル船舶ハ船體札等届出ノ爲メ最初必ラス亞歷山德  
港ニ寄留スル旨當局事務知事ヨリ通牒アリ尤  
亞歷山德港へハ寄留港ニ寄航セス直航シテ支無之  
旨在野附薩連島領事官事務代理ヨリ報告アリタル趣  
旨同外務省ヨリ通知アリ但該島西海岸北部ハ本  
邦人ニ漁業ヲ許可セサル地方ト心得ヘシ(三十一年  
六月三十日告示第百四十九號ヲ以テ本令中改  
正)  
○明治三十一年十月一日告示第百九十號  
濱洲新南威爾斯ニ於テ令般別記摘要ノ通り移住制  
限法ヲ制定シタルニ付施行期日後同洲ニ渡航スル  
者ハ總テ該法ニ遵依スヘキ旨其筋ヨリ通知アリ  
(別記)  
新南威爾斯移住制限法摘要  
(千八百九十八年八月九日公布同年十一  
月九日ヨリ施行)  
一 本法ハ左記ノ者ニ對シテハ適用セラルコト  
ナシ  
一 新南威爾斯政府當該官吏ヨリ移住免狀ヲ  
得タル者  
一 條例又ハ新南威爾斯長官ノ認可セシ規則  
ニヨリ移住手續ヲ定メタル種類ニ屬スル  
一 新南威爾斯政府當該官吏ノ手書ヲ以テ特  
ニ本法ノ適用ヨリ除外セラル者  
一 英國陸海軍人  
一 各國軍艦乗組士官及水兵  
一 其他船舶ノ新南威爾斯各港ニ停泊中上陸  
スル新員  
一 各國政府ヨリ新南威爾斯政府ニ簡派セラ  
レタル者  
一 當該官吏ヨリ英文ヲ以テ本法適用除外種ナ書  
シテ通知アリ

○明治三十一年八月五日訓令第四百五十一號(警  
察署、警察分署宛)  
(濱洲クサノストロド洲行移民取締ノ件ナリ前出  
三十二年七月訓令第三百七十五號ト同文ニ付略ス)  
○明治三十三年三月九日訓令第三百十七號(支廳宛)  
海外旅券下付取締方ニ關シテハ追道訓令致置候處  
清韓兩國ニ於テハ明治二十七年戰役後其形勢一變  
シ現時益彼我ノ交通ヲ自由且敏捷ナラシムルノ  
必要ヲ生シ殊ニ右兩國ニ在留スル帝國國民ニ對シ  
テハ明治二十九年法律第八十號、取捨法ニ有之該  
兩國駐在帝國領事官在留國民ニ對シテ充分取締ヲ屆  
候都合ニ付自今商業修學其他ノ目的ヲ以テ清韓兩  
國へ渡航スル者ニ對シテ旅券ヲ下付スル場合ニ於テ  
ハ可成手續ヲ簡略ニシ務メテ迅速ニ下付候様取扱  
方其筋ヨリ訓令相成候條其旨心得ヘシ  
○明治三十三年六月二十日告示第百二十號  
本年七月一日以後露領西比利亞及薩哈連島へ旅行  
ノ海外旅券下付ニ限リ兩箇支廳ニ於テ取扱ハシム  
○明治三十三年六月二十日訓令第三百八十八號(南  
館支廳宛)  
本年七月一日以後露領西比利亞及薩哈連島へ旅行  
ノ海外旅券下付ニ限リ其筋ニ於テ取扱フヘシ  
但シ本年六月、訓令第三百五十三號ハ本年七月一  
日ヨリ廢止ス  
○明治三十四年四月九日訓令第五百二十九號  
明治三十三年外務省令第二號外國旅券規則第二條  
ニ依リ旅券願ハ其願人未下年ナルトキハ其親族者  
連署ノ上又明治二十九法律第七十號移民保護法  
ニ依リ渡航ノ許可ヲ受ケタル者ハ其許可證原本ヲ  
添へ所在地警察署ヲ經由スヘシ  
○明治三十四年四月九日訓令第五百八十三號(警察  
署、同分署宛)  
明治三十四年(四月、當該令第五十九號ニ依リ外國  
旅券願ヲ受理シタルトキハ左ノ各條ヲ調査ノ上注意  
見書ヲ付シ其渡航地露領西比利亞東部地方及薩哈  
連島ニアリテハ領館支廳(其他ハ當該令進達スヘ  
シ)  
但清韓兩國並ニ露領西比利亞東部地方及薩哈連  
島へ渡航スル者若クハ移民保護法ニ依リ渡航ノ  
許可ヲ受ケ其許可證原本ヲ添附セル者ハ特ニ必  
要ト認ムル場合ニ限リ調査スヘシ  
一 外國旅券規則第二條ノ各條ノ具備セルトモ  
本人ノ旅行目的ニ渡航ノ一層スル懸念ノ輕重  
力ナキニ於テハ其支辨ノ方法並ニ擔保金額  
ハ保證ノ關掛並ニ其實力  
一 渡航ノ目的ハ留學又ハ商業ノ觀察等ニア  
ルモ其實移民保護法ニ依リヘキ労働ニ従事ス  
ルノ嫌疑アルモノニアラサルヲ要  
一 外國旅券規則第八條ノ各款ニ該當スルモノ  
アラサルヲ要  
○明治三十四年四月九日訓令第五百八十三號(南館  
支廳宛)  
外國旅券取扱方ニ付左記ノ通警警察署へ訓令候條  
其旨心得ヘシ  
(左記ハ前出三十四年四月九日訓令第五百八十三  
號ト同文ニ付略ス)  
○明治三十四年四月二十七日訓令第三百四十七號  
(南館支廳長官兩警察署長宛)(電報宛)  
近頃我カ漁業者ニシテ露領カムサツカ沿岸ニ赴キ  
漁業セントスル者有之該ノ處有ハ明治三十二年十  
二月中發布ノ黑龍港總督府管内海産業規則ニ  
依リ許可ヲ受ケヘキハ勿論且ツ外國漁夫ノ使用ハ  
始メテ禁止セラレアルヲ以テ若シ露領當該官衙ノ許  
可ヲクシテ同沿岸ニ赴キ漁業セントスル者アルニ  
於テハ厚ク説諭ノ上之レヲ禁止スヘシ  
○明治三十四年四月二十七日訓令第三百四十七號  
(警察署、兩警察署、同分署宛)  
(前出訓令第三百四十七號ト同文ニ付略ス)  
○明治三十四年五月四日訓令第三百七十號(南館支  
廳宛)

外國旅券規則第四條ニ依リ夫婦又ハ父子等ヲ併記シタル旅券ノ下付ヲ受ケ海外ヘ渡航セシモ...

兵事

徵兵

○明治三十年五月二十九日勅令第三十五號 (本令ハ發布以來數度ノ改正増補アリト雖モ其事實ナリトテ下ニ摘記スルノ繁キ者キ三十六年三月三十一日現行ノモノヲ掲グ)

第六章 抽籤後

第七章 雜則

第六條 抽籤後 自第四十一條至第五十一條
第七條 雜則 自第五十二條至第五十三條
徵兵事務規程
第一章 通則
第一條 本規程ハ徵兵令徵兵事務條例徵兵事務條例施行細則等ニ定メラレタルモノノ外尙ホ其細務ヲ規程シタルモノトス

第十二條 徵兵延期徵集期若クハ入營延期翌年廻下ナリタル者及令第二十五條ノ屆出後抽籤前ノ者ニシテ住所分職業氏名其他身上ニ關スル異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ區長町村(戸)長ニ届出ヘシ其轉籍ニ係ルモノハ第十二條書式ノ二ニ準スヘシ但シ處刑ヲ受ケタルトキハ其罪名刑期及宣告ノ年月日刑罰ノ消滅金額ノ納否ヲ記載スヘシ

第十三條 區長町村(戸)長ニ於テ條例第五十二條ノ現役ニ服スル屆書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ細則第二條ノ人名書調製ノ材料ト爲スヘシ
第十六條 町村(戸)長ニ於テ第十二條ノ異動届ヲ受ケタルトキハ調査ノ上該屆書ヲ添ヘ直ニ支隊長ニ報告スヘシ但シ其年ノ徵兵相當者ニシテ細則第二十六條ニ依リ原籍地ノ町村長ヨリ通知ヲ受ケタルモノニテ條例第二十一條ノ壯丁名簿進達前ナルトキハ本文屆書添付ヲ要セス又進達後ナルトキハ該屆書ニ依リ壯丁名簿ヲ作リ之ヲ添付スヘシ

備考三 何學卒業(何學年修業又ハ修業中)(何何等ノ科修ム)ト掲記シ尙左記ノ符號ヲ名簿ノ下欄外左方ニ朱記スヘシ
甲 尋常中學校卒業ノ者及之ノ同等ノ學力ト認ムル者
乙 高等小學校卒業ノ者及之ノ同等ノ學力ト認ムル者
丙 高等小學校第二、第三學年修業ノ者同上修業後一箇年以上補習科ヲ修業シタル者及ハ尋常中學校第一、二年修業ノ者及之ノ同等ノ學力ト認ムル者
丁 尋常小學校第一、第二學年修業シタル者其他稍讀書算術ヲ爲シ得ル者
無學ノ者自己ノ姓名ヲ記シ又ハ假名附キノ讀木ヲ讀ミ得ル者ハ備考欄ニ其旨ヲ記入ス



ノ通記入スヘシ  
 第二十條 細則第二條ノ人名書ハ第十四號書式ニ準シテ作ルヘシ  
 第二十一條 區長町村(戸)長ニ於テ令第二十二條ノ徵集延期願書又ハ條例第五十四條ノ徵集延期ノ事故止マサル屆書ヲ受ケタルトキハ左ノ書類ヲ其願書ニ添附スヘシ  
 一 職業及家計ノ現狀調査  
 二 財産調査  
 三 收入年額調査  
 但シ種類ヲ區別スヘシ  
 四 官ノ救助ヲ受ケタル金額及書類ノ寫  
 五 國稅及區町村費納額調査  
 但シ種類ヲ區別スヘシ  
 六 家族中ニ犯罪者アルトキハ既決犯罪表又ハ宣告書寫  
 七 其他自活シ能ハサル證明ノ材料トナルヘキ書類  
 以上ノ書類ニハ區長町村(戸)長署名調印スヘシ  
 第二十二條 區長町村(戸)長ニ於テ條例第五十六條ノ徵集延期願書ヲ受ケタルトキ其所管外ニ於テ開墾其他一定ノ生業ヲ爲スモノニシテ事實取調ヘ難キトキハ該地區長町村(戸)長ノ證明書ヲ添付シ其願書ニ添附スヘシ  
 第二十三條 區長町村(戸)長ニ於テ明治二十八年勅令第二百二十六號第三條第一項ノ徵集免除願書ヲ受ケタルトキハ左ノ調査書類ヲ添付スヘシ  
 一 屯田現役豫備役下士卒戸籍内ニアル書類  
 二 暮ア兵村ノ業務ニ従事セルヲ證スル調査  
 第二十三條 條例第二十一條ニ依リ聯隊區徵兵官ニ提出スル假決名簿ハ前年検査シタル體格等位其他所管ノ件ヲ記シタル箇所ハ白紙ヲ貼附スヘシ  
 令第二十三條第五項同第二十七條同第二十八條ニ當リタル者ハ其壯丁名簿ニ令第二十一條何項ノ相當ト記シタル附屬ヲ爲シ細則第二十一條ノ現役志願者ハ其壯丁名簿欄外上部ノ左方ニ現役志願者ノ五字ヲ朱記シ尙ホ附屬ヲ爲スヘシ  
 第二十四條 區長町村(戸)長ニ於テ第八條現役及諸生徒學生ヲ免セラルル者ノ屆書令第三十三條第五項教職ヲ罷メタル者ノ屆書令第二十五條事故止メタル屆書及七期朝シタル屆書第十條ノ轉籍屆書第十一條ノ事故止メタル屆書第三十條ノ第二項ノ失踪逃亡ノ者復歸者クハ所在列明シタルトキハ之ヲ調査シ徵兵検査前ニ保ルモノハ其都度検査後ニ保ル者ハ翌年徵兵検査ヲ受ケヘキ者ニ加ヘ町村(戸)長ハ支隊長ニ差出シ支隊長區長ハ徵集ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第二十五條 細則第三條ノ壯丁人員通知書ハ第十五號書式ニ準シテ作り毎年一月二十五日迄ニ到著スル如ク發送同時ニ其副本ヲ當廳ヘ差出スヘシ  
 第二十六條 支隊長區長ニ於テ條例第五十四條(令第二十二條ニ當ル者)及條例第五十六條(明治二十八年勅令第二百二十六號第二條及第三條第一項ニ當ル者)ノ願書ヲ受ケタルトキハ速ニ其住所氏名並其山等ヲ當該縣區徵兵委員ニ通知スヘシ  
 第四節 検査  
 第二十七條 細則第二十一條ノ現役志願者ハ第十四號書式ニ準シ願書ヲ作り抽籤前日迄ニ區長町村(戸)長ヲ經テ聯隊區徵兵官ニ差出スヘシ  
 但シ身體検査合格後兵種選定前ニ在テハ兵種ヲ希望スルコトヲ得  
 第二十八條 條例第五十三條第六十三條ニ依リ支隊長區長ニ差出スヘキ寄留地検査願書ハ第十七號書式ニ準シテ作ルヘシ  
 第二十九條 條例第五十八條ニ依リ支隊長區長ニ差出スヘキ身體検査ヲ受ケ難キ願書ハ第十八號書式ニ準シテ作ルヘシ  
 第三十條 失踪逃亡等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ者ニシテ滿七箇年迄ノ者ハ毎年戸主又ハ親族ヨリ第十九號書式ニ準シ直チニ支隊長區長ニ届出ヘシ但滿七箇年ヲ經過シタル者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス  
 前項ノ者復歸者クハ所在列明(七箇年ヲ經過シタル者ヲ含ム)シタルトキハ第十二號書式ニ準シ直チニ區長町村(戸)長ニ届出ヘシ  
 第三十一條 町村(戸)長ニ於テ條例第五十八條ニ當ル者ノ疾病傷疾犯罪等ノ爲メ身體検査ヲ受ケ難キ願書第三十條第一項ノ失踪逃亡等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ願書ヲ受ケタルトキハ成ルル徵兵検査前日迄ニ支隊長ニ差出スヘシ  
 第三十二條 區長町村(戸)長ニ於テ條例第二十一條ノ現役志願書ヲ受ケタルトキハ第二十二號書式ノ身元調査ヲ添(聯隊區徵兵官ニ差出スヘシ)第三十三號 支隊長區長ハ細則第五條ニ據リ壯丁ヲ徵兵署ヘ出頭セシムル爲メ徵兵検査ノ日時ヲ各自ニ達シ各本人ヨリ承印シ徵集スヘシ  
 條例第五十八條第二項徵集者アルトキハ其指定シタル便宜ノ徵兵署ヲ指定徵集外ニ保ルトキハ其徵集區支隊長區長ハ指定徵兵署ヲ包括シタル徵集區ノ支隊長區長ニ其名簿ヲ添ヘ通知スヘシ

前項ノ検査日割ハ便宜町村(戸)長ヲシテ壯丁ニ達セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ町村(戸)長ニ於テ承印シ徵集スヘシ  
 検査日割ヲ達スルニ當リ不在ノ者アルトキハ其旅行先ニ達スヘシ  
 第三十四條 條例第五十四條但書ニ依リ徵集延期ノ事故止マサル屆書出タル者ト雖モ徵兵署ヘ出頭スヘキモノトス  
 第三十五條 細則第十三條第一項ノ諸名簿ハ左ノ各項ニ依リ編綴シ第二十二號書式ノ表紙ヲ附スルモノトス  
 一 徵集名簿ハ一冊トシ步兵、騎兵、野戰砲兵、砲兵、輸卒、要塞砲兵、砲兵助卒、工兵、鐵道隊兵、輜重兵、輜兵、輸卒、縫工、靴工、水兵、機關兵、軍樂生、木工、鍛冶、看護、主厨等ノ順序ニ從ヒ各兵種毎ニ甲乙種ヲ分チ編綴スルモノトス  
 前項ノ名簿ハ各兵種毎ニ細則第二十二條ノ順序ニ從ヒ編綴シ且ツ兵種毎ニ其計數ヲ記シ(甲乙二分)タル界紙ヲ挿ミ厚紙ヲ以テ見出サ附スルモノトス  
 二 徵集延期名簿ハ一冊トシ令第二十二條ノモノノ令第二十一條ニ當ル者令第二十二條ニ當ル者(甲乙種二分)ノ公權停止中ノ者失踪逃亡ノ者拘留中ノ者疾病傷疾ノ者事故不參ノ者等ヲ區別シ且ツ種類毎ニ其計數ヲ記シタル界紙ヲ挿ミ厚紙ヲ以テ見出サ附スルモノトス  
 三 徵集豫備名簿ハ明治三十八年勅令第二百二十六號第二條ニ當ル者令第二十三條ニ當ル者及其他ノ者ノ二種ニ區別シ各別冊ト爲スモノトス  
 令第二十三條ニ當ル者及其他ノ者ハ令第二十三條第一項ニ當ル者同條第二項ニ當ル者種別毎ニ其計數ヲ記シタル界紙ヲ挿ミ厚紙ヲ以テ見出サ附スルモノトス  
 徵集免除名簿ハ身體検査上徵集ニ適セサルモノノ選兵上徵集ニ適セサルモノ(甲乙種二分)令第二十二條ニ當リ三箇年ヲ過ル者(甲乙種二分)六箇年現役検査ニ合格セサル者(甲乙種二分)及明治二十八年勅令第二百二十六號第三條ニ當ル者等ニ屬シ種類毎ニ其計數ヲ記シタル界紙ヲ挿ミ厚紙ヲ以テ見出サ附スルモノトス  
 兵種免除名簿ハ身長四尺八寸未滿ノ者癩疾不具ノ者六箇年現役検査ニ合格セサルモノ等ニ屬シ種類毎ニ其計數ヲ記シタル界紙ヲ挿ミ厚紙ヲ以テ見出サ附スルモノトス  
 第三十六條 條例第十一條ニ依リ聯隊區徵兵委員ヨリ聯隊區徵兵官ニ差出スヘキ意見具申書ハ第二十二號書式ニ準シテ作ルヘシ  
 第三十七條 支隊長區長ハ細則第二條ノ人名書ハ其徵集區ノ検査終了後之ヲ一括シ明治何年徵集ヲ要セサル人名書ト題シ保存スヘシ  
 第五節 抽籤  
 第三十八條 支隊長區長ハ抽籤終リタルトキハ其年徵集ニ關スル一般事務ノ狀況書及第二十三號書式ノ徵兵表ヲ作り抽籤後十五日以内ニ當廳ニ報告スヘシ  
 第三十九條 細則第十八條ニ依リ作ル可キ籤札ノ用紙ハ四ノ内ヲ以テシ凡方三寸ニ裁キ切り之ヲ横四ツ折ニシテ其中分チ括ルヘシ  
 第四十條 細則第二十條ノ選丁名簿(籤切り名簿)ハ第二十四號書式ニ準シテ作ルヘシ  
 第六節 抽籤後  
 第四十一條 條例及細則ニ依リ差出スヘキ入營又ハ徵集延期願書寄留旅行入營延期願書及診斷書等ハ左ノ例ニ準シテ作ルヘシ  
 一 條例第四十四條ノ入營延期願書ハ第二十五號書式  
 二 條例第四十八條ノ徵集延期願書ハ第二十六號書式  
 三 條例第四十九條ノ轉籍屆書ハ第二十七號書式  
 四 條例第五十條ノ寄留者クハ旅行又ハ其復歸屆書ハ第二十八號書式  
 五 條例第五十九條ノ入營シ難キ願書ハ第二十九號書式  
 六 條例第四十四條第二項及第五十九條ノ診斷書ハ第三十號書式  
 第四十二條 現役兵補充兵入營前又ハ入營中ノ者及徵集延期徵集豫備者クハ入營延期中ノ者住所身分職業氏名其他身上ニ關スル異動ヲ生シタルトキハ三日以内ニ區長町村(戸)長ニ届出ヘシ但シ處刑ヲ受ケタル者ニ在テハ顯名刑名刑期及宣告ノ年月日ヲ其願書ニ詳記スヘシ  
 前項ノ異動ニシテ現役兵徵集又ハ補充兵徵集ニ關スルモノハ其願書ニ各證書ヲ添附スヘシ  
 但シ入營中ノ者ニ在リテハ戸主ヨリ届出書ハ本人ニ通知シ本人ヨリ所屬ノ區長ニ届出サシムヘシ  
 第四十三條 細則第四十七條ニ依リ現役證書其他證書ノ下流ヲ要スルトキハ第三十號書式ニ準シ請求スヘシ

第四類 兵事 徵兵

第四十四條 入營前令第二十二條ニ當リ徵集延期ニ屆シタル者(條例第四十八條ニ當ル者)ニシテ次年ニ至ルモ其事故止マサルモノハ更ニ條例第五十四條ニ依リ願出ヘシ

第四十五條 區長町村(戶)長ニ於テ細則第四十七條ニ當リ下流ノ請求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ町村(戶)長ハ支廳長ニ差出シ支廳長區長ハ現役兵證書補充兵證書ニ在テハ聯隊區司令官ニ請求シ徵集延期證書徵集猶豫證書兵免證書書ニ在テハ之ヲ調製シ聯隊區司令官ニ送致シ聯隊區徵兵署ノ押印ヲ請求スヘシ

第四十六條 細則第四十一條ノ現役兵及第一補充兵ノ戶籍謄本ハ現役兵又ハ第一補充兵證書受領後三十日以内ニ又現役兵ニ繰上ケラレタル海軍補充兵ニアリテハ其都度支廳長區長ヨリ聯隊區司令官ニ送致スヘシ

第四十七條 條例第四十四條ニ依リ入營延期セラレタルモノ其期滿ツレハ其事故ノ解除ヲ拘ハラズ直チニ出發入營スヘシ

第四十八條 條例第四十八條ノ徵集延期願中ノ者ハ入營ノ爲メ出發ニ及ハス

第四十九條 現役兵入營ノトキハ必ス現役兵證書及實印ヲ攜帶スヘシ

第五十條 支廳長區長ハ細則第三十四條ニ依リ聯隊區司令官ヨリ現役兵入營召集ノ場所及日時ノ通知ヲ受ケタルトキ若クハ補充兵ヨリ現役兵ニ繰上ケ入營ヲ命セラレタルモノアルトキハ第三十一條書式ニ準シ當廳ニ報告スヘシ

第五十一條 條例第四十四條ノ入營延期願者同第五十九條ノ入營シ難キ者其他事故ニテ入營セサルモノアルトキハ支廳長區長ハ速ニ當廳ニ報告スヘシ

第七章 雜則

第五十二條 聯隊區徵兵署ニハ左式ノ標札ヲ門戶ニ掲クヘシ

五尺

何聯隊區何徵兵署

第五十三條 支廳長區長町村(戶)長ハ徵兵令違犯者ヲ告發シ若クハ其處分ノ結果ヲ取調ヘ町村(戶)長ハ支廳長ニ報告シ支廳長區長ハ名簿ニ記入シ現役兵又ハ補充兵ニ係ルトキハ直チニ聯隊區司令官ニ報告スヘシ

第一號書式 徵兵適齡屆

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
(本人)戶主ナレバ戶主ト記入スヘシ以下皆同

職業 氏 名  
年月日生

一 戶主家族直接因稅何圓ヲ納ム  
一 戶主家族家屋ヲ有ス  
一 年月日何罪ニ依リ何刑ニ處セラル  
一 年月日何罪ニ依リ罰金ニ處セラル  
一 素學程度  
一 學生ハ其種類ニ依リ醫學、獸醫學、電氣技術學生、漢學生、何學生或ハ何學卒業  
一 現役(豫備役)屯田兵下士卒ノ戶籍内ニ在ル者

右本年何月滿二十歳ニ相成候間此段及御屆候也

年月日 右 戶主  
(戶主不在ニシテ代人ヨリ願出ルトキハ左ノ如ク記スヘシ)  
右戶主某何々ニ付代理  
郡(區)町(村)番地  
親族 氏 名 印  
何支廳長「區長」何町村(戶)長「氏」名 印

第二號書式 徵集延期願

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右私儀明治何年徵兵相當ノ處父母共ニ(弟妹等)癱疾不具ニシテ(父某年月日ヨリ何病ニ罹リ起臥自由ナラス然ルニ他ハ幼少ノ弟妹ニシテ)產業ヲ營ムコト能ハサルノヨナラス他ニ財產モ無之私儀集ニ應ジ候ケハ忽チ家賃一同自活不能ハサル者ニ候間徵集延期相成度別紙戶籍謄本及保證書並診斷書(診斷書ハ疾病傷殘等ノ者ニ限ル)相添ヘ此段奉願候也

年月日 右  
何聯隊區司令官氏名 印  
何支廳長「區長」氏名 印  
前書ノ通り相違無之候也  
何支廳長「區長」氏名 印  
何町村(戶)長「氏」名 印

第三號書式 徵集猶豫願

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右私儀明治何年徵兵相當ノ處年月日ヨリ何府(縣)某學校ニ入學修業中(何國何地(外國ヲ云フ)ニ在留中)ニ付徵集猶豫相成度別紙證明書相添ヘ此段奉願候也

年月日 右  
何聯隊區司令官氏名 印  
何支廳長「區長」氏名 印  
前書ノ通り相違無之候也  
何支廳長「區長」氏名 印  
何町村(戶)長「氏」名 印

第四號書式 徵集猶豫事故解除願

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右何年徵兵相當ノ時何國何地(外國ヲ云フ)在留中ニテ徵集猶豫相成候處年月日歸朝致シ何何學校在留中ニテ徵集猶豫相成候處年月日卒業(退學致シ)候條此段及御屆候也

年月日 右 戶主  
何支廳長「區長」何町村(戶)長「氏」名 印

第五號書式 小學校教職退職願

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右私儀徵兵令第十三條第三項(第四項)ニ依リ服役中ノ處年月日何學校訓導退職致シ候間此段及御屆候也

年月日 右  
何支廳長「區長」何町村(戶)長「氏」名 印

第六號書式 保證書

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右ノ者徵集延期願(徵集延期ノ事故止マサル儀ニ付届)出ノ趣事實相違無之依テ保證致候也

本年徵集壯丁某父兄「條例第四十八條ニ依ルモノ」ハ(本年現役兵某父兄トス)

年月日 同 戶主 氏 名 印  
同 氏 名 印

第八號書式 現役志願許可ノ儀ニ付届

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

私儀明治何年徵兵相當ナルモ徵兵令第二十二條ニ依リ既ニ三箇年間徵集延期相成候處本年ニ至ルモ仍ホ私ヲ要セサレハ家族自活ニ難ハサルニ付別紙戶籍謄本及保證書並診斷書(診斷書ハ疾病傷殘等ノ者ニ限ル)相添ヘ此段及御屆候也

年月日 右  
何聯隊區司令官氏名 印  
何支廳長「區長」氏名 印  
前書ノ通り相違無之候也  
何支廳長「區長」氏名 印  
何町村(戶)長「氏」名 印

第九號書式 徵集猶豫願

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)  
職業 氏 名  
年月日生

右私儀徵兵令第十二條ニ依リ現役志願致シ候處檢査ノ上何兵ニ御採用年月日何兵第何聯(大)隊(何海兵團)ハ入營被命候間此段及御屆候也

年月日 右  
何支廳長「區長」何町村(戶)長「氏」名 印

第四類 兵事 徵兵

族葉長(二)男兄弟

右私儀本年徵兵相當ノ處(明治何年徵兵相當ニテ徵兵令第何條ニ依リ以來徵集猶豫相成候處)年月日何府(縣)郡(市)區町(村)ヨリ北海道郡(區)町(村)番地ハ轉籍移住シ年月日郡(區)町(村)番地ニ於テ何ノ業ヲ營ミ(開墾ニ從事致シ)居候モノニテ轉籍移住以來(年月日)郡區町村番地(轉籍セシモ)明治二十八年勅令第百二十六號第一條ノ區域外ニ轉籍セシコト無之候條徵集猶豫相成度此段奉願候也

何聯隊區徵兵官 氏名印

何聯隊區司令官氏名殿  
何支隊長(區長)氏名殿  
前書ノ通り相違無之候也

年 月 日 何支隊長(區長) 氏名印

第九號書式ノ二

徵集免除願  
郡(區)町(村)番地  
族葉長(二)男兄弟  
(戸主)

職業 氏名

右私儀明治何年徵兵相當ノ處(明治何年屯田兵召募ニ應ジ何年何月何日家族トシテ何郡何村屯田何兵第何大隊第何中隊ニ移住シ爾來專ラ兵村ノ業務ニ從事致居候ニ付明治二十八年勅令第百二十六號第三條第一項ニ依リ徵集免除相成度別紙

戸籍原本相添此段奉願候也

年 月 日 氏名印

何聯隊區司令官氏名殿

何支隊長(區長)氏名殿

前書ノ通り相違無之候也

年 月 日 何支隊長(區長) 氏名印

「何町村(戸)長」氏名印

第十號書式(其二)

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

第十號書式(其二)

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

折斷シ或ハ何何ノ部ニ何何ノ傷ヲ被リ即日何

術及何綱帶ヲ施シ或ハ何法ヲ施シ何何劑ヲ與

年 月 日 氏名印

徵兵令未行地ヨリ既行地ニ轉籍届

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

第十一號書式

徵兵令未行地ヨリ既行地ニ轉籍届

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

第十二號書式ノ一

檢査難受事故願届

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

右私儀明治何年徵兵相當ノ處(明治何年屯田兵召募ニ應ジ何年何月何日家族トシテ何郡何村屯田何兵第何大隊第何中隊ニ移住シ爾來專ラ兵村ノ業務ニ從事致居候ニ付明治二十八年勅令第百二十六號第三條第一項ニ依リ徵集免除相成度別紙

第十二號書式ノ二

徵兵適齡者(徵集延期者又ハ何何者)轉籍届

郡(區)町(村)番地

族葉長(二)男兄弟

職業 氏名

年 月 日 氏名印

右私儀何年徵兵檢査ノ節(何何ニテ)不參者ニ有之候處年月日歸宅

年 月 日 氏名印

右私儀何年徵兵檢査ノ節(何何ニテ)不參者ニ有之候處年月日歸宅

年 月 日 氏名印

右私儀何年徵兵檢査ノ節(何何ニテ)不參者ニ有之候處年月日歸宅

年 月 日 氏名印

右私儀何年徵兵檢査ノ節(何何ニテ)不參者ニ有之候處年月日歸宅

年 月 日 氏名印

右私儀何年徵兵檢査ノ節(何何ニテ)不參者ニ有之候處年月日歸宅

年 月 日 氏名印

現役何兵第何番	甲種	町(村)字番	職業	戸主ノ姓名	生年
第一(第二)補	乙種	地士族	農	戸主又ハ某長年	月
充何兵第何番	同	平民	商	(三)男兄弟何某日	年

何年壯丁人名書	何郡(區)町(村)	年月日調
何年壯丁人名書	何郡(區)町(村)	年月日調

四八七

何年現役志願何兵第何聯(大)隊ニ於テ服役中(何年一年志願兵第何聯團何兵何聯隊ニ於テ服役中)

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

何年陸(海)軍某學校ニ入學年月日豫備役ニ編入(何年六週間現役兵トナリ第何師團歩兵第何聯隊ニ於テ服役)

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

現役(豫備役)屯田兵下士卒ノ戸籍内ニ在ル者(陸海軍何學校ニ年月日ヨリ入校尙ホ在在)

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

右ノ通り相違無之候也

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

第十五號書式

明治何年壯丁人員通知書

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

現役(豫備役)屯田兵下士卒ノ戸籍内ニ在ル者(陸海軍何學校ニ年月日ヨリ入校尙ホ在在)

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

右ノ通り相違無之候也

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

第十六號書式

現役志願書

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

右私儀本年徵兵相當ノ處北海道郡(區)町(村)字何何番地ニ寄留ニ付何地ニ於テ身體検査相受度候間此段奉願候也

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

第十八號書式

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

右私儀本年徵兵相當ノ處北海道郡(區)町(村)字何何番地ニ寄留ニ付何地ニ於テ身體検査相受度候間此段奉願候也

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

第十九號書式

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

右來ル日身體検査ヲ受クヘキノ處年月日失踪(逃亡)今ニ居所不明ニ付此段及御届候也

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

百二十六號第三條相當者ヲ除ク檢丁人員(合第二十三條ニ當ルモノ及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條出願者ヲ除キ其年検査ヲ受クヘキ人員ヲ記スヘシ)

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

前年ヨリ繼續ノ失踪逃亡者ハ其人員及移住後五箇年未滿者ノ總人員ヲ備考ニ記スヘシ

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

右私儀甲(乙)種何兵ニ合格致候ニ付テハ抽籤ノ法ニ依ラズ現役ニ服シ度候間御許可相成度此段奉願候也

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

第十七號書式

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

右徵集延期(免除)ノ當否ヲ審議スルニ親父某ハ八十歳餘ノ老衰且シ父母共ニ何病ニ罹リ産業ヲ營ムコト能ハス弟アルモ幼少ニシテ殊ニ財産モ無之本人ノ勞動ニ賴リ稍々生活ヲ爲シ居ルモノニシテ本人徵集ニ應スルコトキハ家族自活シ能ハサルモノト(父老衰且シ何病ニ罹リ財産ハ少シシテ本人徵集ニ應スルコトキハ家族自活シ能ハサルモノト)病弱ニアルヲ母強壯ナラズト雖モ産業ヲ營ムコト能ハサルモノト認メ難ク殊ニ相當ノ財産モアルモノニシテ本人徵集ニ應スルコトキハ家族自活シ能ハサルモノト(父老衰且シ何病ニ罹リ財産ハ少シシテ本人徵集ニ應スルコトキハ家族自活シ能ハサルモノト)認メ難ク殊ニ相當ノ見及其申候也

郡(區)町(村)番地  
族某長(二)男兄(弟)

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生

何支隊長(區長)氏名  
何町(村)長(區長)氏名

氏名  
年月日生







第三條ノ車馬賃ハ一里ニ付金十錢  
 第四條第一號ノ陸路雜費ハ一里ニ付金八錢  
 第二條第四條ノ滞在日當及宿泊料ハ各金四拾錢  
 ○明治二十九年四月十一日總令第二十一號  
 明治二十九年(三月)勅令第四百十二號徵兵事務條例  
 第十二條ニ依リ聯隊區徵兵參事員ノ資格並選舉方  
 法及任期等左ノ通り定ム但シ本令ハ發布ノ當日ヨ  
 リ施行ス  
 明治二十九年(二月)當總令第六號ハ本令發布ノ日  
 ヲリ廢止ス  
 前項總令第六號ニ依リ任命シタル大隊區徵兵參事  
 員ハ別ニ辭令ヲ用ヒテ聯隊區徵兵參事員ニ任命シ  
 タルモノトス  
 一 聯隊區徵兵參事員ハ各徵集區内郡若クハ町村  
 總代人及町村會議員(札幌函館小樽區ハ區會  
 議員以下同シ)ノ内ヲ以テ之ニ充テ(三十一  
 年一月總令第五號及三十二年十月總令第八十  
 四號三十二年八月總令第七十一號ヲ以テ本項  
 中改正)  
 一 聯隊區徵兵參事員ノ薦命ハ郡區長ヲシテ各徵  
 集區内ノ郡若クハ町村總代人及町村會議員中  
 ヲリ推薦セシメ其内ニ就キ之ヲ命ス(三十一  
 年一月總令第五號及三十二年八月總令第七十  
 一號ヲ以テ本項中改正)  
 一 郡區長ハ徵集區内ノ町村總代人及町村會議員  
 ニ就キ聯隊區徵兵參事員ニ適當ト認ムル者ハ  
 名ヲ推薦ス(三十二年八月總令第七十一  
 號ヲ以テ本項中改正)  
 一 聯隊區徵兵參事員任期滿限若クハ臨時缺員ア  
 ルトキハ其郡區長ハ要員ノ二倍ヲ推薦ス  
 (三十二年八月總令第七十一號ヲ以テ本項中改正)  
 一 聯隊區徵兵參事員ノ任期ハ郡若クハ町村總代  
 人及町村會議員ノ任期ニ從テ其任期滿限ノ後  
 下選トモ後任者就職ノ日迄在職スルモノトス  
 參事員タル總代人或ハ町村會議員任期滿限ノ  
 者再選ノ場合ニ在テハ參事員ノ職務ハ依然繼  
 續スルモノトス(三十二年四月總令第三十號  
 同八月總令第七十一號ヲ以テ本項追加改正)  
 ○明治三十三年二月二十八日訓令第九十三號(支隊  
 區役所聯隊區徵兵參事員宛)  
 聯隊區徵兵參事員職務心得ノ通改正ス  
 一 聯隊區徵兵參事員職務心得  
 第一條 徵兵參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵  
 集區及徵集免除並明治二十八年勅令第二百二十  
 六號第二條ノ徵集免除及同第三條ノ徵集免除ニ  
 關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ  
 任務トス(三十四年一月)訓令第十四號ヲ以テ本  
 條中改正)  
 第二條 徵兵參事員ハ支隊區長又ハ區長ヨリ前條ニ  
 當ル事故者ヲ豫メ通知ヲ受ケタルトキハ便宜ノ  
 方法ヲ以テ之ヲ力調ヲ爲シ審議上遺漏ナキヲ期  
 ス  
 第三條 徵兵參事員ハ支隊區長又ハ區長ヨリ檢査抽  
 籤ノ日時及徵兵署設置場所ノ通知ヲ受ケタルト  
 キハ其指定ノ日時ニ連ルルコトヲ義務ス(三十一  
 年一月總令第五號及三十二年十月總令第八十  
 四號)書面ヲ以テ豫メ其旨徵兵官ニ届出ツヘシ  
 第四條 徵兵參事員職務ノ爲メ徵兵署所在地ニ到  
 達シタルトキハ發着月日ヲ詳記シ其旨速ニ支隊  
 區長又ハ區長ニ届出ツヘシ  
 第五條 徵兵參事員徵兵署ニ出務シタルトキハ出  
 勤簿ニ押印スヘシ  
 第六條 徵兵參事員出務中ハ預リニ其席ヲ離レ又  
 ハ雜話ヲ爲スコトヲ勞メテ廢止ニ從事スヘシ  
 第七條 徵兵參事員出務中ハ洋服又ハ羽織袴ヲ著  
 用スヘシ  
 第八條 徵兵參事員職務手續簿置放處ハ明治三十年  
 內務省令第三十號ニ依リ當該支隊區(既徵集區  
 ノ分ハ區長ヲ經由シ)ニ請求スヘシ  
 第九條 徵兵參事員或ハ兵名其他職務ニ關スル身上  
 ノ異動ヲ生ゼシトキハ速ニ支隊區長又ハ區長ヲ經  
 テ北海道區長官ニ届出ツヘシ  
 第十條 徵兵參事員任期滿限若クハ辭職等ニ依リ  
 後任者就職ノ上ハ參事員職務心得書ヲ當該支隊  
 區長又ハ區長ニ送付シ支隊區長又ハ區長ハ之ヲ新任  
 徵兵參事員ニ交付スヘシ  
 ○明治三十五年四月一日總令第五十號  
 町村總代人ニシテ徵兵參事員タル者ノ内本年四月  
 一日一級町村制及二級町村制施行ノ際現ニ徵兵參  
 事員ノ職ニ在ル者ハ町村總代人ノ資格消滅スルモ  
 後任者就職ノ日迄在職スルモノトス  
 ○明治三十三年十二月十三日訓令第八十三號(支  
 隊區役所町村役場長長役場宛)  
 明治二十八年勅令第二百二十六號第三條第一項但書  
 該當者ニ係ル件左ノ通り取扱フヘシ  
 第一條 明治三十三年十月陸軍省令第三十號第一  
 條ノ但書ハ總テ徵兵事務條例第二十二條ニ  
 依リ町村(戶)長ハ支隊區長ニ差出シ支隊區長  
 ハ徵兵署ニ提出スヘシ但書丁名簿ニハ明治二十  
 八年勅令第二百二十六號第三條第一項相當ト記シ  
 タル附屬ヲナシ他ノ但書丁名簿ニ分カスル必要  
 第二條 區長村町長月長ハ前條但書丁内其村ノ業  
 務ニ從事セザル者ヲ當該隊長ニ同令セ七尙必要ノ  
 場合ハ白リ之ヲ調査シ該隊長アルトキハ其事由  
 ヲ詳記シタル書類ヲ但書丁名簿ニ添附スヘシ  
 第三條 町村(戶)長ハ毎年十二月五日迄二月終

第五條 編入隊第三條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其  
 名簿ヲ師團司令部ニ返還スヘシ  
 第六條 施行細則第五條前段該當者ノ身體檢査ハ  
 札幌聯隊區司令部ニ於テ毎年三月一日迄ニ之ヲ  
 行ヒ同條後段該當者ノ身體檢査ハ各聯隊區一般  
 徵兵檢査同時ニ之ヲ行フモノトス  
 第七條 聯隊區司令部ニ通知ケタルトキハ速  
 ニ前項ノ檢査期日ヲ北海道區長ニ通知スヘシ  
 第八條 聯隊區司令部第二十二條ノ届出ヲ受ケタ  
 ルトキハ其事由ヲ審査シ該屆書ヲ師團長ニ進達  
 スヘシ  
 第九條 聯隊區司令部第三十條ノ通知ヲ受ケタル  
 トキハ師團長ニ報告スヘシ  
 第十條 北海道區長官第十六條及第三十一條ノ報  
 告ヲ受ケタルトキハ其師團學校生徒ニ係ルモノハ  
 二月十日迄ニ札幌聯隊區司令部ニ徵兵令第十三  
 條第三項ニ當ルモノハ二月二十日迄ニ所轄聯隊  
 區司令部ニ其職氏名ヲ通知スルモノトス  
 第十一條 北海道區長官ハ六週間陸軍現役ニ服セシ  
 ムヘキ者ノ氏名ヲ本籍所管ノ支隊區長官ニ進達  
 スルモノトス  
 第十二條 北海道區長官第六條第一項ノ通知ヲ受  
 ケタルトキハ師團學校長及本人在職地ノ支隊區  
 區長ニ進達スルモノトス  
 第十三條 北海道區長官施行細則第二條ノ名簿一通  
 ナ製シ之ニ連名簿(左記書式ニ準ス)一通ヲ添ヘ  
 身體檢査ニ先テ聯隊區司令部ニ送付スルモノト  
 ス  
 第十四條 北海道區長官陸軍六週間現役合格者ノ身體檢査  
 支隊區長官ニ通知スルモノトス  
 第十五條 北海道區長官ハ兵事主任官更テシテ第  
 一 第二基キ翌年度ニ於ケル明治二十八年勅令第百  
 二十六條第三條第一項該當壯丁ヲ取調ヘ明治三  
 十年北海道總令第三十五號徵兵事務規程第十三  
 號書式ニ準シ人名簿ニ通テ作リ其一通ヲ毎年十  
 二月十日迄ニ支隊區長官ニ進達シ爾後異動アルトキ  
 ハ速ニ報告スヘシ  
 區長ハ前項ノ例ニ依リ人名簿ヲ調製シ置キ異動  
 アル毎ニ訂正スヘシ  
 第四條 前條ノ人名簿ニハ其徵集又ハ免除セラレ  
 タル者及爾後更ニ徵集ニ應ゼシメラレタル者ノ  
 亦由ヲ摘要ニ記シ其他必要ノ記入ヲナスヘシ  
 ○明治三十六年二月四日告示第七十八號  
 明治三十二年(一月)當總令第六十七號第七師管陸軍  
 六週間現役兵事務取扱手續左ノ通り改正セラル  
 第七師管陸軍六週間現役兵事務取扱手續  
 第一條 陸軍六週間現役兵事務取扱手續施行細則  
 (明治三十年陸軍省令第九號陸軍六週間現役兵  
 條例施行細則ヲ云フ以下同シ)ニ依リノ外尙ホ  
 手續ニ依ルモノトス  
 第二條 師團長ハ身體檢査合格者中入營ヲ命スヘ  
 キ者ヲ編入隊長(名簿ヲ添ヘ)並ニ聯隊區司令  
 官ニ進達シ同時ニ北海道區長官ニ通知スルモノト  
 ス  
 師團長第十五條第一項ノ書類ヲ受領シタルトキ  
 ハ之ヲ編入隊長ニ送付スルモノトス  
 第三條 師團司令部施行細則第六條及本手續第十  
 五條第二項ノ通報ヲ受ケタルトキハ編入隊長並  
 ニ聯隊區司令部ニ通知スルモノトス  
 第四條 師團長第七條ノ届出ヲ正當ト認ムルトキ  
 ハ翌年度ノ處分ヲ爲シ編入隊長並ニ聯隊區司令  
 官ニ進達シ同時ニ北海道區長官ニ通知スルモノト  
 ス  
 第五條 編入隊第三條ノ通知ヲ受ケタルトキハ其  
 名簿ヲ師團司令部ニ返還スヘシ  
 第六條 施行細則第五條前段該當者ノ身體檢査ハ  
 札幌聯隊區司令部ニ於テ毎年三月一日迄ニ之ヲ  
 行ヒ同條後段該當者ノ身體檢査ハ各聯隊區一般  
 徵兵檢査同時ニ之ヲ行フモノトス  
 第七條 聯隊區司令部ニ通知ケタルトキハ速  
 ニ前項ノ檢査期日ヲ北海道區長ニ通知スヘシ  
 第八條 聯隊區司令部第二十二條ノ届出ヲ受ケタ  
 ルトキハ其事由ヲ審査シ該屆書ヲ師團長ニ進達  
 スヘシ  
 第九條 聯隊區司令部第三十條ノ通知ヲ受ケタル  
 トキハ師團長ニ報告スヘシ  
 第十條 北海道區長官第十六條及第三十一條ノ報  
 告ヲ受ケタルトキハ其師團學校生徒ニ係ルモノハ  
 二月十日迄ニ札幌聯隊區司令部ニ徵兵令第十三  
 條第三項ニ當ルモノハ二月二十日迄ニ所轄聯隊  
 區司令部ニ其職氏名ヲ通知スルモノトス  
 第十一條 北海道區長官ハ六週間陸軍現役ニ服セシ  
 ムヘキ者ノ氏名ヲ本籍所管ノ支隊區長官ニ進達  
 スルモノトス  
 第十二條 北海道區長官第六條第一項ノ通知ヲ受  
 ケタルトキハ師團學校長及本人在職地ノ支隊區  
 區長ニ進達スルモノトス  
 第十三條 北海道區長官施行細則第二條ノ名簿一通  
 ナ製シ之ニ連名簿(左記書式ニ準ス)一通ヲ添ヘ  
 身體檢査ニ先テ聯隊區司令部ニ送付スルモノト  
 ス  
 第十四條 北海道區長官陸軍六週間現役合格者ノ身體檢査  
 支隊區長官ニ通知スルモノトス  
 第十五條 北海道區長官ハ兵事主任官更テシテ第



場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ犯罪ノ場合ニハ罪名刑期及宣告ノ年月日ヲ記入スヘシ以下同シ）  
 シメ検査當日迄ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ  
 第二十一條 本籍所管ノ支隊長第三十七條ノ報告ヲ受ケタルトキハ北海道支隊長ニ報告スヘシ  
 第二十二條 在職地ノ支隊長ハ六週間現役軍現役ノ爲メ入營期日後三日以内ニ入營シ難キ者アルトキハ第二十九條ノ例ニ依リ入營期日前聯隊區司令官ニ送付スヘシ  
 第二十三條 本籍所管ノ支隊長第二十二條第二項ノ通知ヲ受ケ又施行細則第三條第二項ノ徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ受領シタルトキハ其成績ヲ町村（戸）長（本籍所管町村（戸）長ヲ云フ以下同シ）ニ送付スヘシ  
 第二十四條 本籍所管ノ支隊長ハ陸軍六週間現役軍現役ノ爲メ入營期日後三日以内ニ入營シ難キ者ハ二十八歳迄ニ合格者ハ徵集終結處分迄運動アルニシテ其事由ヲ記入スヘシ  
 第二十五條 本籍所管ノ支隊長ハ第三十九條ノ報告ヲ受ケタルトキハ北海道支隊長ニ報告スヘシ  
 第二十六條 本籍所管ノ支隊長第四十條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其合格者ニ係ルモノハ北海道支隊長ニ報告スヘシ  
 第二十七條 本籍所管ノ支隊長第四十二條ノ報告ヲ受ケタルトキハ北海道支隊長ニ報告スヘシ  
 第二十八條 本籍所管ノ支隊長ハ第三十九條乃至第四十二條ノ異動ニシテ他區區長ニ轉籍シタルモノアルトキハ速ニ轉籍地ノ支隊長區長ニ通知スヘシ  
 第二十九條 本籍所管ノ支隊長區長ハ陸軍六週間現役兵條第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ

授與セラルモノアルトキハ支隊長ハ其姓名ヲ町村（戸）長ニ送シ區長ハ其事由ヲ陸軍六週間現役兵名簿備考ニ記入スヘシ  
 第三十條 本籍所管ノ支隊長第四十五條ノ報告ヲ受ケタルトキハ北海道支隊長ニ通知スヘシ  
 第三十一條 師範學校長ハ師範學校生徒ニシテ其年卒業スヘキ者及徵兵令第十三條第三項ニ該當シテ師範學校附屬小學校ノ教職ニ在ル者ヲ（左記書式ニ準シ）毎年一月十五日迄ニ北海道支隊長ニ報告スヘシ  
 第三十二條 師範學校長第十一條ノ送付受ケタルキハ之ヲ本人ニ送付スヘシ  
 第三十三條 師範學校長ハ師範學校生徒及附屬小學校ノ教職ニ在リ六週間現役軍現役ニ服スヘキ者ニシテ傷疾痼疾ハ犯罪ノ爲メ身體検査ヲ受ケ難キ者アルトキハ本人ヨリ聯隊區司令官宛テ届出シ爲サシメ検査當日迄ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ  
 第三十四條 師範學校長ハ陸軍六週間現役軍現役ニ服スヘキ者傷疾痼疾ハ犯罪ノ爲メ入營期日後三日以内ニ入營シ難キ者アルトキハ前條ノ例ニ依リ入營期日前聯隊區司令官ニ送付スヘシ  
 第三十五條 師範學校長ハ陸軍六週間現役兵検査合格者ニシテ師範學校卒業シタルトキハ其卒業成績並ニ性質品行等ニ關スル考査表ヲ調製シ毎年五月二十五日迄ニ北海道支隊長ニ送付スヘシ  
 第三十六條 町村（戸）長第十七條ノ送付受ケタル

ルトキハ三日以内ニ施行細則第三條ニ依リ陸軍六週間現役兵名簿ヲ作り支隊長ニ送付スヘシ  
 第三十七條 區長町村（戸）長ハ身體検査ニ合格シテ入營期日後三日以内ニ入營シ難キ者アルトキハ其事由ヲ徵集終結處分迄運動アルニシテ其事由ヲ記入スヘシ  
 第三十八條 町村（戸）長ハ陸軍六週間現役兵名簿ヲ備置キ第二十四條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ  
 第三十九條 區長町村（戸）長ハ陸軍六週間現役兵名簿進達後検査前名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ戸主又ハ親族ヨリ届出シ速ニ區長ハ北海道支隊長ニ町村（戸）長ハ支隊長ニ報告スヘシ  
 第四十條 區長町村（戸）長ハ身體検査後合格者ハ入營前又不合格者ハ徵集終結處分前名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ戸主又ハ親族ヨリ届出シ速ニ町村（戸）長ハ支隊長ニ報告スヘシ  
 第四十一條 區長町村（戸）長ハ六週間現役兵入營中名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ戸主又ハ親族ヨリ届出シ速ニ町村（戸）長ハ支隊長ニ報告スヘシ  
 第四十二條 區長町村（戸）長ハ本手帳第四條ニ依リ翌年廻リ下リタル者ノ名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ戸主又ハ親族ヨリ届出シ速ニ區長ハ北海道支隊長ニ町村（戸）長ハ支隊長ニ報告スヘシ  
 第四十三條 區長町村（戸）長ハ六週間現役兵ノ服役ヲ終リタル者年齢二十八歳迄ニ名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ戸主又ハ親族ヨリ届出シ速ニ町村（戸）長ハ支隊長ニ報告スヘシ

召集

第四十四條 町村（戸）長第二十九條ノ送付受ケタルトキハ其事由ヲ陸軍六週間現役兵名簿備考ニ記入スヘシ  
 第四十五條 區長町村（戸）長ハ陸軍六週間現役兵條第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ授與セラルモノアルトキハ速ニ轉籍地ノ支隊長區長ニ通知スヘシ  
 第四十六條 町村（戸）長ハ施行細則第九條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ返還シ命セラレタル者アルトキハ其事由ヲ陸軍六週間現役兵名簿ニ記入スヘシ  
 第四十七條 區長町村（戸）長ハ其管内官立公立小學校ノ教職ニ在ル者ニシテ陸軍六週間現役兵ニ服スヘキ者アルトキハ學校卒業年月日及現職職學校名ヲ記シ毎年一月十日迄ニ其現職地所管ノ支隊長區長ニ在テハ區長宛届出シ町村（戸）長ハ速ニ之ヲ支隊長ニ送付スヘシ  
 明治何年陸軍六週間現役兵運名簿

○明治三十五年二月五日訓令第八號（支隊長等召集事務規則）  
 同分署區役所町村役場戸長役場宛  
 海軍召集事務規則別冊ノ通定ム  
 但シ別冊ハ別ニ頒ツ  
 明治三十二年（十月）北海道訓令第五十九號海軍召集事務規則ハ廢止ス  
 （別冊）  
 第一條 本規則ハ海軍召集條例海軍召集條例施行細則及海軍召集費支出規程ニ關スル事務取扱方ヲ規定スルモノトス  
 第二條 本規則中條例トアルハ海軍召集條例細則トアルハ海軍召集條例施行細則規程トアルハ海軍召集費支出規程ト云フ  
 第三條 町村（戸）長役場ニ於テハ細則様式第四ノ例ニ依リ所轄内ニ在ル海軍現役軍現役下士卒ノ名簿ヲ調製シ置キ異動アル毎ニ訂正スヘシ但入寄留者ニシテ應召ノ者アルトキハ之ヲ朱書スヘシ  
 他（寄留又ハ旅行スル者アルトキハ本人ノ行先並ニ通報人ノ住所氏名ヲ記シタル附箋ヲ爲シ置クヘシ）  
 第四條 支隊長ニ於テ細則第十四條ノ被召集員到着豫定表ヲ受領シタルトキハ其豫定日數ヲ町村（戸）長ヘ送付スヘシ  
 第五條 支隊長區長ハ細則第二十四條前段ノ手續ヲ履行スル場合ニ於テハ本人ニ係ル名簿ノ謄本ヲ應召地支隊長區長ニ送付スヘシ  
 第六條 區長及町村（戸）長ハ其所轄内沿道ノ旅店者クハ民家ニ就キ海軍軍用旅舎ヲ指定シ第一様式ノ事項ヲ所轄警察官吏及所在憲兵隊ニ通知

町村（戸）長ハ支隊長ニ警察官吏（警察署長ノ除キ）ハ警察署長ニ支隊長區長ハ之ヲ北海道支隊長ニ報告スヘシ其異動ヲ生シタルトキハ亦同シ  
 支隊長區長町村（戸）長ハ役場警察署警察分署ニ於テハ海軍軍用旅舎名簿（第一様式）ヲ備ヘ置クヘシ  
 海軍軍用旅舎名簿（第一様式）ヲ備ヘ置クヘシ  
 第七條 區長及町村（戸）長ハ海軍軍用旅舎ヲシテ平常第二様式ノ看板ヲ掲ケシムヘシ  
 第八條 軍事警察第三様式ニ依リ調製スヘシ  
 第九條 軍事警察及標旗標燈ハ其各地方ノ被召集員出發シ終ル迄之ヲ掲ケヘシ但被召集員ナキ地方ニ在テ召集令ノ通達ヲ受ケタル場合其掲示期間ハ適宜トス  
 第十條 支隊長警察署長充員（演習）召集者クハ召集解除令受ケタルトキハ直ニ召集官報ノ電信ヲ以テ支隊長ハ町村（戸）長ニ警察署長ハ之ヲ其部下ニ送付スヘシ電信ノ便ナキトキハ使丁ヲ用ユルモノトス但シ被召集員ナキ町村（戸）長此邊警察官吏前項ノ通（召集解除令除キ）ヲ受ケタルトキ軍用旅舎ヘノ告知ハ第四様式ニ依リ第九號ノ場合ニ於ケル標旗標燈ノ撤去ハ之ヲ日誌スヘシ  
 第十一條 前條電報ヲ受ケタルモノハ細則第三號使丁ヲ用ユルモノハ同第四條ニ依リ但召集解除令受ケタルトキハ其前項ノ撤去ノ手續ヲ確定シタル旨ヲ附記シ郵便ヲ以テ回答スヘシ  
 第十二條 支隊長區長町村（戸）長ハ役場及警察署警察分署ニ於テハ海軍召集費（第五様式）及發受番號録日誌ヲ備ヘ置クヘシ  
 第十三條 召集令狀封筒ノ發附時刻ハ各其保管者

本籍	在職地	職名	氏名	生年月日

其年師範學校卒業スルモノハ在職地ナキ者

第四類 兵事 召集

ノ發送スル時刻ヲ記入スヘシ  
 第十四條 町村(戶)長ニ於テ召集令狀交付済ノ封筒ハ之ヲ取纏メ速ニ支廳長ニ差出スヘシ  
 第十五條 細則第三十五條ニ依リ召集令狀中ニ記入スヘキ旅費支給日時ハ支廳區長(區長ハ細則第三十六條ニ依リ職務署長ト協議シ)又ハ召集令狀ヲ保管セル町村(戶)長ニ於テ適當ト認ムル日時ヲ定メ記入スヘシ  
 第十六條 條例又ハ細則ニ係ル諸届ニシテ町村(戶)長)役場ヲ經由スルモノハ總テ支廳ヲ經由スヘシ  
 第十七條 支廳區役所町村(戶)長)役場警察署警察分署ニ於テハ海軍召集實施事務手續書ヲ調製備置クヘシ  
 第十八條 條例第二十六條末項ノ令狀交付人名通知書ハ第六樣式令狀交付シ得サル人名通知書ハ第七樣式ニ依ルヘシ  
 第十九條 召集令狀書ハ第八樣式召集旅費令狀書ハ第九樣式條例第三十二條ノ證明書ハ第十樣式ニ依ルヘシ  
 第二十條 召集準備書類ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ一箇年度トシ三月三十一日ニ於テ翌年度ノ準備ヲ完了スヘシ  
 第二十一條 充員召集及演習召集準備トシテ備ヘ置クヘキ書類等概テ左ノ如シ  
 支廳、區役所  
 一 海軍備後後備役編入下士卒名簿並召集令狀  
 二 海軍軍用旅舍名簿 本規程第六條  
 三 軍事警報並二點燈器 同第八條  
 四 召集令狀書(區役所ニハ之ヲ要セス) 同第十條

五 召集解除證書(同右) 同第十一條  
 六 返信用電報信紙 細則第四條  
 七 召集用封筒 同第十一條  
 八 召集旅費領收證書(區役所ニハ之ヲ要セス) 規程第十五條  
 九 旅費令狀書(同右) 本規程第十九條  
 十 被召集員到着豫定表 細則第二十二條  
 十一 發受番號錄 本規程第十二條  
 十二 日誌 同  
 十三 使丁人員及受持區域表 同  
 十四 海軍召集令狀交付人名及交付スルコトヲ得サル人員通知書 同第十八條  
 十五 證明書用紙(支廳ニハ之ヲ要セス)(三十一年一月訓令第五號ニテ改正) 同第十九條  
 十六 海軍召集實施事務手續書 同第十九條  
 十七 海軍召集ニ關スル規則書 同第十七條  
 十八 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十九 海軍備後後備役下士卒名簿並召集令狀 本規程第三條

十一 日誌  
 十二 使丁人員及受持區域表  
 十三 海軍召集令狀交付人名及交付スルコトヲ得サル人名通知書  
 十四 證明書用紙  
 十五 海軍召集ニ關スル規則書  
 十六 前各項ノ外執務必要ノ書類  
 十七 警察署、警察分署、巡查駐在所、巡查派出所(分署、駐在所及派出所ニ所屬ナキモノハ之ヲ除ク)  
 一 海軍軍用旅舍名簿  
 二 軍事警報並二點燈器  
 三 召集令狀書  
 四 召集解除證書  
 五 返信用電報信紙  
 六 召集用封筒  
 七 發受番號錄  
 八 軍用旅舍ヘノ告知書 本規程第十條  
 九 日誌  
 十 使丁人員及受持區域表  
 十一 證明書用紙  
 十二 海軍召集實施事務手續書  
 十三 海軍召集ニ關スル規則書  
 十四 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十五 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十六 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十七 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十八 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 十九 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 二十 前各項ノ外執務上必要ノ書類  
 第二十三條 支廳區長ハ規程第四條ノ召集旅費概算表ヲ領守府ニ送付シタルトキハ速ニ其原本ヲ北海道廳長官ニ差出スヘシ支廳區長同第六條ノ召集旅費概算表ヲ送付シタルトキ亦同シ

第一樣式(二十六年一月訓令第五號ニテ樣式中改正) 海軍軍用旅舍名簿

宿泊料	一食料	住 所	旅舍ニ充ツヘキ坪數	摘要	屋號	氏 名
金何程	金何程	何村何番地	何十坪	何	何	何某
同	同	同	同	同	同	同

第二樣式 (木質適宜)

○ 海 軍 軍 用 旅 舍
---------------

第三樣式 (其一)

一 陸軍軍用旅舍ヲ兼ヌルモノハ便宜陸海軍軍用旅舍ト記スルモ妨ケナシ
軍事警報
海軍備後後備役下士卒召集相成候事
明治 年 月 日 官 衙 公 署 名

寸五尺一

一 軍事警報ノ四字ハ大書スル事  
 二 揭示場一箇所毎ニ其一、其二、其三、各一枚ヲ調製シ別ニ豫備トシテ文字記入セサルモノ若干枚及點燈器ヲ備ヘ置ク事  
 三 地質ハ白布ノ類ヲ用ユル事  
 第三樣式 (其二)

第四類 兵事 召集

軍事警報

海軍 備後下士卒召集相成候事
明治 年 月 日 官 衙 公 署 名

寸五尺一

海軍 備後下士卒召集相成候事
明治 年 月 日 官 衙 公 署 名

尺五尺一

軍事警報
明治 年月以後現役ヲ離レタル海軍 備後下士卒召集相成候事
明治 年 月 日 官 衙 公 署 名

寸五尺一

海軍軍人(充員)(大演習)(小演習)召集令アリ標旗標燈ヲ掲ケ且ツ相當準備ヲ爲スヘシ
明治 年 月 日 時 何 村 何 番 地 海軍軍用旅舍 氏 名
何 時 何 分 何 人
何 時 何 分 何 人

第五樣式 (用紙適宜)

使丁受持區域	受持區域	所要時間	使丁人員	備 考
何所何ヲ經	一週里程	何時 何分	何 人	
何所何ニ至ル	何里何町	何時 何分	何 人	
所要時間ハ使丁發程ヨリ歸著迄ノ時間トス				

第四類 兵事 召集

第六様式 (用紙半紙罫紙)

海軍召集令状交付人名左記ノ通り候條及御通知候也  
明治 年 月 日 何支廳長(區長)町村(戶)長 氏 名 印

Table with columns: 召集場所, 住 所, 官(兵種)氏名, 抽 要. Includes rows for 海軍兵團 and 同.

第七様式 (用紙半紙罫紙)

海軍召集令状交付シ得サルモノノ人名及事由左記ノ通り候條及御通知候也  
明治 年 月 日 何支廳長(區長)町村(戶)長 氏 名 印

Table with columns: 召集場所, 住 所, 官(兵種)氏名, 召集令状交付シ得サル事由. Includes rows for 海軍兵團 and 同.

第八様式 (其一) (用紙半紙罫紙)

何町村(戶)長(役場) 何  
何日午(前後)海軍 備役軍人ノ(充員)(大演習)(小演習)召集ヲ令セラル  
明治 年 月 日 何職(官) 氏 名 印  
電信ノ便アル箇所ヘハ電信トス

二 書信電信トモ本文ハ豫メ記入セラルベシ

第八様式 (其二) (用紙半紙罫紙)

何町村(戶)長(役場) 何  
何日午(前後)明治 年 月以後現役ヲ離レタル海軍 備役下士卒ノ(充員)(大演習)(小演習)召集ヲ令セラル  
明治 年 月 日 何職(官) 氏 名 印

第八様式 (其三) (用紙半紙罫紙)

何町村(戶)長(役場) 何  
何日(午前、午後)何年何月何日何日何日(小)演習施行ノ爲メ何年何月何日何日何年何月何日迄ニ現役ヲ離レタル海軍召集區(第何コリ)第何ニ至ル召集區)ノ備役(後備役)下士卒ノ召集ヲ(令セラル)行フ  
明治 年 月 日 何職(官) 氏 名 印

一 冒頭ノ何日(午前、午後)ハ海軍召集條例施行細則第三十五條第二項ニ依ル鎮守府司令官ヨリ通知ノ日ナリ

第九様式

金 何 圓  
此封筒ハ應召員ノ數ニ應ジ豫メ調製シ置キ召集令ニ際シ旅費金配當ノ便ニ供スルモノトス  
二 人員又ハ金額等ニ異動ヲ生シタルトキハ其都度訂正加除スルベシ  
第十様式 其一 (用紙半紙罫紙)  
證明書  
何國郡(區)町(村) 兵種官等 氏 名

右何何ノ爲メ 月 日ヨリ 月 日迄何地ニ滞在セシコトヲ證明ス  
明治 年 月 日 何職(官) 氏 名 印  
第十様式 其二 (用紙半紙罫紙)  
證明書  
何國郡(區)町(村) 兵種官等 氏 名 印  
右何何ノ爲メ何地ノ交通斷絶シ 月 日ヨリ何地滞在 月 日開通ニ付何日何地ニ向テ出發セシコトヲ證明ス  
明治 年 月 日 何職(官) 氏 名 印  
第十一様式 (用紙四ノ内紙大袋)

Table with columns: 明治何年度, 海軍充員(演習)召集書類, 官衙, 公署名

Table with columns: 真, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何, 一何何

○明治三十三年五月二十六日訓令第三十九號(支廳區役所戶長役場宛)  
陸軍備後後備補充兵役ニ在ル者ニシテ召集事務ヲ掌管スル官吏及公吏(當廳官吏、區長、區町村書記、戶長及之ニ準スヘキ者)ト爲リ戰時餘人ヲ以テ代フヘカサル者ハ其官名若クハ職名兵役ノ種類武官名(兵卒ハ兵種

第四類 兵事 召集

海軍召集所 費支給場所 札帳稅務署 札帳支廳 手稻村役場 石狩町花川 村組合役場 廣島村役場 江別外二箇 村戶長役場 新篠津村戶 長役場 常呂村役場 厚田村役場 厚田村組合 役場 濱益村役場 濱益村組合 役場 濱外一箇村 戶長役場 小樽稅務署 小樽支廳 朝里村役場 朝里村役場 余市町役場 余市町役場 美國町役場 美國町役場 空知支廳 幌向村戶長 役場 沼貝村戶長 役場	支給地方區城 札帳區役所管內一箇 札帳、豐平村、白石村役場、鐵路 長役場管內一箇村、山鼻外一箇村戶 手稻村役場管內一箇 石狩町花川村組合役場管內一箇 廣島村役場管內一箇 江別外二箇村戶長役場管內一箇 新篠津村戶長役場管內一箇 常呂村役場管內一箇 厚田村役場管內一箇 厚田村組合役場管內一箇 濱益村役場管內一箇 濱益村組合役場管內一箇 濱外一箇村、千歲外三箇村戶長役場 管內一箇 小樽區管內一箇 高島村役場、忍路外一箇村、鹽谷外 一箇村戶長役場管內一箇 朝里村役場管內一箇 朝里村役場管內一箇 余市町、大江村、古平町役場、赤江 川村戶長役場管內一箇 美國町役場、野澤外七箇村戶長役場 管內一箇 岩見澤村役場、市來知外二箇村、栗 澤村、月形村、北村戶長役場管內一箇 幌向村戶長役場管內一箇 沼貝村、浦白村戶長役場管內一箇	瀧川村戶長 役場 新十津川村 役場 奈江村役場 深川村役場 一已村戶長 役場 秩父別村戶 長役場 山仁村役場 室蘭支廳 幌別外二箇 村戶長役場 伊達村役場 伊達村役場 苦小牧村役 場 安平村戶長 役場 厚真村戶長 役場 白老外二箇 村戶長役場 前田外二箇 村戶長役場 村戶長役場 俱知安村戶 長役場 浦河支廳 門別外八箇 村戶長役場	瀧川村戶長役場管內一箇 新十津川村役場、雨龍村戶長役場管 內一箇 奈江村役場、歌志內村、雁別村戶長役 場管內一箇 深川村役場、音江村戶長役場管內一 箇 一已村戶長役場管內一箇 秩父別村戶長役場管內一箇 山仁村、角田村、長沼村役場、登川 村戶長役場管內一箇 室蘭町役場管內一箇 幌別外二箇村、輪外二箇村戶長役 場管內一箇 伊達村役場、虻田村、辨別組合役場、 濱外一箇村、野太村戶長役場管內一箇 苦小牧村役場、越川外七箇村戶長役 場管內一箇 安平村戶長役場管內一箇 厚真村戶長役場管內一箇 白老外二箇村戶長役場管內一箇 岩内町役場、野東外一箇村、前田外 二箇村、小澤外一箇村、棚外二箇 村、泊外二箇村、神惠內外二箇村戶 長役場管內一箇 俱知安村戶長役場管內一箇 浦河町役場、四舍村、作村組合役 場、橋外七箇村、幌外八箇村戶 長役場管內一箇 門別外八箇村、平取外八箇村戶長役 場管內一箇	下下方外二 十六箇村戶 長役場管內 上川支廳 東旭川外一 箇村戶長役 場 東旭川外一 箇村戶長役 場 當麻村戶長 役場 愛別村戶長 役場 劍淵村戶長 役場 增毛支廳 留前村三箇 村戶長役場 留前村組合 役場 留前村役場 苦前村役場 苦前村役場 苦前村役場 天鹽外三箇 村戶長役場 天鹽外三箇 村戶長役場 宗谷支廳 枝幸外三箇 村戶長役場 枝幸外三箇 村戶長役場 鬼島村役場 香深村役場 網走支廳 野付外一箇 村戶長役場	下下方外二十六箇村、蝦布外五箇村 戶長役場管內一箇 旭川町役場、豐利村、神樂外一箇村、 美瑛村、富良野村戶長役場管內一箇 永山村戶長役場管內一箇 東旭川外一箇村戶長役場管內一箇 當麻村戶長役場管內一箇 愛別村戶長役場管內一箇 劍淵村、土淵村、上名外三箇村戶 長役場管內一箇 增毛町役場管內一箇 留前村三箇村組合役場、東原外一箇 村戶長役場管內一箇 留前村役場、初山別村戶長 役場管內一箇 媛尻村、天賣村戶長役場管內一箇 天鹽外三箇村戶長役場管內一箇 雜内町役場、宗谷外二箇村戶長役場 管內一箇 枝幸外三箇村戶長役場管內一箇 鬼島村、愛田村、香形村、仙志支 廳管內一箇 香深村、船泊村役場管內一箇 網走町役場、網走村組合役場、美瑛 外五箇村、針原外四箇村戶長役場管 內一箇 野付外一箇村戶長役場管內一箇
--	--	---	--	---	--

教別外三箇 村戶長役場 濱別村戶長 役場 河西支廳 芽室外六箇 村戶長役場 大津外三箇 村戶長役場 調寒外七箇 村戶長役場 幕別外四箇 村戶長役場 茂寄村戶長 役場 歷舟外二箇 村戶長役場 劍路支廳 白樺外六箇 村戶長役場 熊牛外四箇 村戶長役場 厚岸町役場 太田村戶長 役場 根室支廳 別海外四箇 村戶長役場 標津外五箇 村戶長役場 泊外三箇村 戶長役場 留夜別外一 箇村戶長役	教別外三箇村、濱別村、雄武外三箇 村戶長役場管內一箇 濱別村、常呂外四箇村戶長役場管內 一箇 帶廣町上帶廣村、古村、幸賀村、寶賀村 組合役場、音更外二箇村戶長役場管 內一箇 芽室外六箇村戶長役場管內一箇 大津外三箇村、生剛外二箇村、豐頃 外一箇村戶長役場管內一箇 調寒外七箇村、木別外五箇村戶長役 場管內一箇 幕別外四箇村戶長役場管內一箇 茂寄村戶長役場管內一箇 歷舟外二箇村戶長役場管內一箇 劍路町役場、島取村、昆布外二箇 村、舌幸外二箇村戶長役場管內一箇 白樺外六箇村戶長役場管內一箇 熊牛外四箇村戶長役場管內一箇 厚岸町役場、露多布外五町村戶長役 場管內一箇 太田村戶長役場管內一箇 根室支廳、根室町役場、齒舞外 五箇村戶長役場管內一箇 別海外四箇村戶長役場管內一箇 標津外五箇村、植別村戶長役場管內 一箇 泊外三箇村戶長役場管內一箇 留夜別外一箇村戶長役場管內一箇	斜古丹村戶 長役場 和田外五箇 村戶長役場 紗那支廳 留別外四箇 村戶長役場 藥取外一箇 村戶長役場 函館稅務署 函館支廳 湯川村役場 森村役場 長萬部村戶 長役場 松前支廳 福島村役場 檜山支廳 假山外六箇 村戶長役場 熊石村役場 利別村戶長 役場 函館支廳 磯谷村役場	斜古丹村戶長役場管內一箇 和田外五箇村戶長役場管內一箇 紗那支廳、直轄管內一箇 留別外四箇村戶長役場管內一箇 藥取外一箇村戶長役場管內一箇 函館區役所管內一箇 湯川村、錢龜澤村、戸芥村役場、尻 内村、檜法華村、尾札部村、白尻 外一箇村、八雲村役場、砂原外一箇村、 落部村戶長役場管內一箇 長萬部村戶長役場管內一箇 福山町役場、江瓦町外二箇村、根部 田外四箇村戶長役場管內一箇 福島村役場、吉岡外二箇村、大澤外 四箇村戶長役場管內一箇 江差町、上ノ國村役場管內一箇 乙部村役場、俄虫外六箇村、泊村外 六箇村戶長役場管內一箇 熊石村、久遠村役場、具取、洞外六箇 村、釣懸外三箇村戶長役場管內一箇 瀨木村、東瀨木村、利別村、太 濇町外三箇村戶長役場管內一箇 赤松町役場、政治村、檜山、外箇村、 木目外二箇村、永野外三箇村戶長役 場管內一箇 磯谷村役場、南尻別村、有戸外三箇 村、熱部外一箇村、墨松內村戶長役 場管內一箇	〇明治三十五年九月二十五日訓令第八百八十號(支 廳町村役場戶長役場)一 海軍召集費支給場所ニ於ケル戶長若クハ戶長事務 兼掌者ハ自今附令ヲ用ヒス其職權ノ日ヨリ海軍召集 費支給所ニ出納官吏トス 町村制施行地ニ於ケル支給場所ノ諸分任出納官吏ハ 支給所ノ内ケル支廳長之ヲ任命シ即其支給場所 及人名ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ爾後異動ノト キ亦同シ但賃地ノ便宜ニ從ヒ一人ト以テ數所ヲ兼 任セシムルヲ得 戶長又ハ支廳屬ニシテ出納官吏タル者更迭ノ際 報告ニ係ル從前ノ訓練ハ終止ス 〇明治三十年三月四日訓令第三十號(郡區役所警務 課)一 陸軍召集費北海道廳出納官吏ノ分任出納官吏ノ 各郡區役所ニ置キ警務課官吏ノ出張旅費、郵便電信 料使了資金等ノ支給ヲ擔任シシメ候條左ノ通リ心 得ヘシ 一 郡區長ハ郡區書記ノ内一名陸軍召集費北海道 廳出納官吏ノ分任出納官吏ヲ任命シ其官氏 名ヲ明治三十年三月二十日迄ニ當廳ヘ報告シ 同時ニ其地ノ警務課長ヘ通知スヘシ 一 分任出納官吏タル郡區書記轉免等ニ依リ異動 スルシタルトキハ後任者ヲ任命シ其郡區前項 同報報告及通知ヲ爲スヘシ 一 警務課長ハ別紙書式ニ依リ召集費計算書、 通テ作リ毎年二月十日迄ニ所在地郡區長ニ送 付スヘシ 一 郡區長前項ノ召集費計算書ヲ受ケタルトキ ハ調査ノ上一通ハ分任出納官吏ニ交付シ他ノ 一通ハ毎年二月十五日迄ニ當廳ヘ差出スヘシ (別紙書式略ス)
---	--	--	---	--

明治何年度召集諸費概算表

區分	警務官出張旅費		郵便電信料		使丁賃金		金額計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	金額計	支出金額出納官吏官職名
何警察署								
何警察分署								
何巡查駐在所								
何巡查派出所								
計								
國民兵召集ノ部								
何警察署								
何警察分署								
何巡查駐在所								
何巡查派出所								
計								
合計								

○明治三十二年二月八日訓第六十三號(支廳長)フヘシ  
 陸軍召集旅費現金前渡金取扱順序別紙ノ通知相定候  
 旨第七師團長ヨリ通牒アリタルニ付右ニ依リ取扱

一 現金前渡金ノ支出ハ聯隊區司令部ニ於テ現金  
 二 現金前渡金ノ決算ハ別紙ニ付ス

前渡金調査ヲ作リ仕拂請求書ヲ附シ第七師團  
 司令部ニ出シ師團司令部ハ關係簿ノ記入ヲ  
 了シ第七師團監督部ニ致ス  
 現金前渡金ノ決算ハ別紙ニ付ス

一 仕拂殘金ナキ場合  
 仕拂殘金アル場合  
 仕拂殘金ナキ場合ニ在リテハ現金前渡ヲ受ケ  
 タル官吏證憑書ヲ一冊ニ纏メ紙數ノ多少ニ拘  
 ラス表紙ヲ附シ仕拂計算及仕拂計算ト現金出  
 納簿トノ符合ヲ認メタル監督官ノ認定保證書  
 ナシ添ヘ聯隊區司令部ニ發送ス  
 仕拂殘金アル場合ニ在リテハ現金前渡ヲ受ケタ  
 ル官吏其殘金ノ返納證書ヲ作リ聯隊區司令部  
 ニ出シ司令部ハ戻入納票ヲ添付シテ第七師團  
 監督部ニ致ス監督部ハ之ニ依リ返納告知書  
 ナ製シ現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ送付ス  
 現金前渡ヲ受ケタル官吏返納告知書ノ送付ヲ  
 受ケタルトキ告知書中指定ノ期日内ニ指定ノ  
 金庫へ現金ヲ返納シ然ル後仕拂計算書ヲ作リ  
 證憑書及符合認定保證書ト共ニ聯隊區司令部  
 ニ發送スルコト仕拂殘金ナキ場合ニ同シ聯隊  
 區司令部現金前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ決算書  
 類ノ送達アリタルトキハ受拂計算表ヲ添付シ  
 第七師團監督部ニ出ス  
 檢査済受拂計算表及戻入済戻入納票ノ一片ヲ  
 監督部ヨリ聯隊區司令部ニ送付スルハ總テ第  
 七師團司令部ヲ經由ス師團司令部ハ之ニ依リ  
 テ關係簿ノ記入ヲナスモノトス  
 現金前渡金決算ノ後返納若クハ追給ヲ要スル  
 場合ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏其事由ヲ聯隊  
 區司令部ヲ經テ第七師團司令部ニ開陳ス師團  
 司令部ハ一般ノ規定ニ依リ之ヲ取扱ヒ返納若  
 クハ追給若シノ後之ヲ第七師團監督部長ニ通  
 牒ス  
 現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ對スル注意  
 現金前渡金ハ召集一回毎ニ決算スヘシ若シ不  
 得止後任官吏へ引繼ヲ要スル場合ニ在リテハ  
 仕拂計算書中前任官吏ノ分ニハ殘金後任官吏  
 へ引繼濟ナルコトヲ備考ニ記入シ後任官吏ノ  
 分ニハ前月迄領收高本月領收高前月迄清算高  
 本月清算高ハ前任官吏ノ計算ヲ併算シ引繼キ  
 ヲ受ケタル現金ノコト共ニ其詳細ヲ備考ニ  
 記入スヘシ仕拂殘金ヲ返納シタルトキハ仕拂  
 計算書中返納高ノ欄ニ其金額ヲ記入シ備考欄  
 ニ於テ(返納高)ハ年月日其金庫(返納高)ト記  
 入スヘシ  
 仕拂計算書ノ宛名ハ第七師團監督部長ニ充テ  
 る  
 旅費受領證書ニハ豫後備役ノ區別、補充兵ノ  
 種別、兵種官等及(何地)ヨリ(何地)ニ至ル旅  
 費ト記入ナラス(三十三年一月訓第二號)以  
 テ本項改正  
 三 審理書ノ答辯ハ必ス審理書指定ノ期日内ニ於  
 テシ其報告書ノ如キハ成ルヘク迅速ヲ務ムヘ  
 シ  
 四 證憑書ノ如キ再ヒ原本ノ得難キモノノ發送ハ  
 書留郵便ニ付スル等成ルヘク紛失ノ預防ニ注  
 意ナラス  
 ○明治三十五年九月二十五日訓第八百七十九號  
 (支廳區役所町村役場長役場宛)  
 陸軍召集諸費支給場ニ於ケル町村長又ハ町村長事  
 務管掌者若クハ其代理者(疾病事故等一時ノ代理  
 者ヲ除ク)及ハ長又ハハ長事務兼掌者ハ自今辭令  
 ヲ用ヒス其就職ノ日ヨリ陸軍召集諸費出納官吏ト  
 ス  
 前項町村長ノ代理者ニ限リ支廳長ニ於テ即時該代  
 理擔任ノ月日及其職氏名ヲ電信(札幌小樽上川空  
 知室蘭ハ書面)ヲ以テ報告シ爾後異動ノトキハ直  
 ニ後任者ノ就任月日及職氏名ヲ報告スヘシ但後任  
 者新任ノ町村長タル場合ハ報告ヲ要セス  
 陸軍召集諸費出納官吏タル者更迭ノ際報告ニ係ル  
 從前ノ訓達ハ總テ廢止ス  
 ○明治三十三年七月三十日訓第四百四十八號(支  
 廳區役所宛)  
 海軍豫備役後備役下士召集員ノ兵種官等氏名及  
 住所ヲ取調ヘ此際當廳ニ報告スヘシ  
 但シ自後異動アルトキハ其都度速ニ報告スヘキ  
 義ト心得ヘシ

●徵發  
 ○明治二十一年十二月二十六日陸令第七十六號  
 徵發事務取扱手續ノ通定ム  
 第一條 徵發ノ命令應答ハ便宜電信其他迅速ノ方  
 法ニ依ルヘシ  
 第二條 徵發書ヲ受ケタルトキハ北海道廳長官ハ  
 郡區長ニ賦課シ郡區長ハハ長ニ賦課シ郡區長ハ  
 人民ニ賦課ス但時機ニ依リ直ニ賦課スルコトア  
 ルヘシ此場合ニ於テハ北海道廳長官ハ郡區長ニ  
 郡長ハハ長ニ告知スヘシ  
 第三條 郡區長ハハ長ニ徵發命令書ヲ受領スルトキ  
 ハ其旨ヲ回報スヘシ  
 第四條 徵發書賦課スルニハ其供給力ヲ費リ便宜  
 ノ郡區町村ヨリ始メ其營業者ヲ先トス  
 第五條 徵發人員供給ノ組合ハ人員營業組合ニ依  
 ルコトヲ得  
 第六條 徵發課セラルル者期限内ニ供給スル  
 コト能ハサルトキハ區長ハ長ニ届出ヘシ此場合  
 ニ於テハ區長ハ長實地ニ就キ點檢スルコトアル  
 ヘシ

第七條 宿舎ノ徵發ヲ課セラレタル者其家ニ病者又ハ死者アルトキハ區長ハ長ノ届出ヘシ

第八條 宿舎ノ徵發ヲ課セラレタル者物品又ハ手傳人不足シ供給スルコト能ハサルトキハ區長ハ長ニ於テ便宜之ヲ調達ス此賠償ハ本人ノ負擔トス

第九條 公有家屋ニ在テハ區長ハ長ハ營業者ナシテ食飼其他ヲ請負ハシムルモノトス

第十條 徵發物件ヲ領收スルトキハ領收證書ヲ交付ス

第十一條 陸海軍官憲ヨリ受ケタル受領證書ハ區長ハ長ニ差出ヘシ徵發令第四條第一項及第二項ニ係ルモノハ區長ヨリ北道區長官ニ差出ヘシ第十二條 徵發令第四條第一項及第二項ノ徵發區ニ於テ負擔スヘキ費用ハ正當證書ヲ添ヘテ區長ヨリ北道區長官ニ申出ヘシ

第十三條 徵發令第三十條ニ依リ負擔スヘキ費用ノ賦課徵收方法ハ左ノ如シ

一 徵發令第四條第一項ノ場合ニ於テハ北海道區長官其費用ノ全額ヲ各郡區ニ配賦ス

二 同條第二項ノ場合及前項ノ課額ハ郡長之ヲ關係町村ニ配賦スヘシ但シ區ニ在リテハ區會又ハ總代人ノ評決ヲ經テ區長之ヲ定ムヘシ

三 同條第三項ノ場合及前項ノ課額ハ町村總代人會ノ評決ヲ經テ區長之ヲ定ムヘシ(二十年八月一月總令第一號ヲ以テ本條改正)

第十四條 評價委員ノ旅費日當ハ明治二十年(六月)北海道訓令第七十七號ニ據リ支給セララル

第十五條 徵發令第四條第四項ニ係ルモノハ此手續ヲ適用セズ

第十六條 明治十七年(一月)函館縣甲第一號布達及同年(一月)札幌縣乙第十二號布達ハ廢止ス

第十七條 明治三十年十一月二十九日訓令第二百六十一號(支廳宛)(紗那支廳ヲ除ク)(三十一年十月訓令第四百三十三號ヲ以テ宛名中改正)

第十八條 明治三十年(二月)陸軍省令第四號馬匹調査及檢査施行規則第四條第二項(函館札幌兩支廳ヘハ)第二項ノ下及第五條ノ四字アリ)ノ馬匹調査表同第十條ノ條ノ馬匹檢査下調査ヲ差出シタルトキ並同第十條ノ條ノ邊シテ受ケタルトキハ各其寫ヲ添ヘ當廳ヘ報告スヘシ(三十三年三月訓令第八十六號ヲ以テ本令中改正)

第十九條 明治三十五年五月五日訓令第四百八十四號(支廳區役所町村役場區長役場宛)(本道所屬島嶼所在ノ官衙公署ヲ除ク)

第二十條 馬匹ノ出入ハ明治三十年(二月)陸軍省令第四號馬匹調査及檢査施行規則ニ據リ調査スヘキモノニシテ

馬匹所有者ニ在リテハ同條第二條ニ據リ其出入ヲ届出スヘキハ勿論ノ處往住居洩等有之調査ノ確實ヲ得サル向有之趣有ハ有事ニ際シ至大ノ關係ナリ長ヲ關係ナシテ嚴重注意セシメ各部内ノ狀況等所屬警察官憲(時時移轉協議セシメ)候條有届出ノ動行ヲ促ス爲メ警察官口調査ノ際其他適宜視察ノ方法ヲ以テ違犯者ナキヲ期スヘシ

第二十一條 明治二十九年五月三十日訓令第二十九號(郡區役所宛)

凡ソ登簿噸數一百噸以上ノ内外國航ノ船舶ヲ新造若クハ外國ヨリ買入レタルモノアルトキハ海上運輸ニ係ル調査ニ必用ノ諸件ニ關シ自今海軍省令部ニ於テ該船舶ニ檢査シ調査ヲ送ケ又既ニ調査シ了リタル船舶ト雖モ爾後構造ヲ變更シタル等ノ場合ニ於テハ更ニ檢査調査候旨其筋ヨリ送相成候條此旨所轄各船主ニ通知スヘシ

第二十二條 明治二十九年七月三十一日訓令第二百十五號(郡區役所宛)

海上運輸ニ係ル必要ノ諸件調査ノ爲メ海軍省令部員ヲ派遣シ各港ノ汽船ニ就キ實地調査セシムルコト可有之旨其筋ヨリ送相成候條此旨所轄各船主ニ通知スヘシ

但日本形船舶ニシテ本道調査ノ必要有之節ハ更ニ通知候條此旨心得ヘシ

● 雜

○ 明治三十二年五月九日告示第三百十三號

第七師團ニ於テ在郷軍人願屆書式左ノ通規定セラレタリ(本令發布以來應改正アリ)今一註記ヲ略シ三十二年三月三十一日現行ノモノヲ掲グ

一 後備役屯田下士卒ハ本規定及當廳規定ノ願書

式ヲ准用スヘシ

一 在郷軍人(歸休兵、補充兵ヲ含ム)ノ願書ニ記載スヘキ各要件ヲ列舉シタルモノナルヲ以テ各屆書ニハ其要件ヲ記載シ市、町、村戶長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ツヘシ

注意 入夫又ハ養子ナレハ入夫又ハ養子ノ結婚云ト記載ス

結婚願 (用紙半紙)

何府(縣)何郡(市)何町(村) 姓名印

字何何族籍職業何某何女(姉)(妹)

明治何年何月何日生 某

明治何年何月何日生 儀

今般熟談ノ上右ニ記載ノ者ト結婚致度依テ別紙身元證書相添ヘ差出候間御許可被下度此段奉願候也

明治何年何月何日

何府(縣)何郡(市)何町(村) 姓名印

字何何

明治何年徵兵(下士)ニ在テハ記スルヲ要セス

以下同シ(後)備

陸軍何兵何官(何兵何) 姓名印

卒)

何聯隊區司令官姓名殿

前書之趣篤下取調候處不都合無之ニ付御許可相成度候也

明治何年何月何日

何府(縣)何郡(市)何町(村)長(戶長) 姓名印

身元證書 (用紙半紙)

何府(縣)何郡(市)何町(村)字何

何族籍職業何某何女(姉)(妹)

明治何年何月何日生 某

右ノ行狀端正ノ者ニ有之候此段致保護候也

明治何年何月何日

何府(縣)何郡(市)何町(村)長(戶長) 姓名印

結婚願

一 結婚許可年月日

一 妻ノ本籍地及族籍職業

一 嫁入(何某何女(何某姉妹等))

一 妻ノ名及生年月日並二年齡

一 結婚年月日

一 結婚ノ種類(娶、養子、入夫等)

一 本籍地

一 徵集年

右御届仕候也

年 月 日 兵役兵種官等 氏 名印

聯隊區司令官宛

注意 此屆書ハ出產ノ日ヨリ十四日以内ニ届出ツヘシ

但シ入夫養子等ノトキハ新住所新氏名ヲ記シ婦人ノ名及字體ハ願書ト同一ナルヲ要ス又此場合ハ戶籍原本軍隊手帳ヲ添附スヘシ

出產届

一 妻、母、某

一 出產ノ年月日

一 本籍地

一 徵集年

右御届仕候也

年 月 日 兵役兵種官等 氏 名印

聯隊區司令官宛

注意 此屆書ハ出產ノ日ヨリ起算シ十四日以内ニ届出ツヘシ

一 本籍地

一 轉籍届

一 轉籍年月日

一 徵集年

右御届仕候也

年 月 日 兵役兵種官等 氏 名印

聯隊區司令官宛

注意 此屆書ハ十四日以内ニ軍隊手帳ヲ添ヘテ差出スヘシ但シ他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ其地ノ聯隊區司令官ニ届出ツヘシ

轉籍復籍届

一 養家ノ本籍地

一 實家ノ本籍地

一 離縁復籍年月日

一 徵集年

右御届仕候也

年 月 日 兵役兵種官等 氏 名印

聯隊區司令官宛

注意 此屆書ハ十四日以内ニ軍隊手帳及戶籍原本ヲ添附シ差出スヘシ但シ他ノ聯隊區ヨリ復籍スル者ハ其他ノ聯隊區司令官ニ届出ツヘシ

分家轉籍届

一 實家ノ本籍地

一 分家年月日



注意 此屆書ハ傷疾疾病等ノ爲メ應召スル不能トキ充員召集ニ在リテハ令狀受領後二十四時間以内ニ市町村戸長ニ差出シ其他ノ召集ニ在リテハ入隊期日迄ニ聯隊區司令部ニ到着スル如ク差出スヘシ(傷疾疾病ノトキハ醫師ノ診断書ヲ添付スヘシ)

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 簡點呼執行月日
- 一 聯合シ能ハサル事由
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ傷疾疾病等ノ爲メ令狀受領後二十四時間以内ニ市町村戸長ニ差出シ其他ノ召集ニ在リテハ入隊期日迄ニ聯隊區司令部ニ到着スル如ク差出スヘシ(傷疾疾病ノトキハ醫師ノ診断書ヲ添付スヘシ)

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ本人犯罪失踪等ニ係ルトキ戸主若クハ家事ヲ擔當スル者ヨリ差出スヘシ若シ家族ナキモノハ市町村長ニ於テス

- 一 本籍地(寄留地ノモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 召集令セラレタル年月日
- 一 召集ノ種類(充員、勤務演習、教育召集等)
- 一 召集不應(簡點呼不應)ノ事由
- 一 召集不應者ノ徵集年兵役、兵種、官等、兵名
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ乘組ノ属入レテ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ届出ツヘシ但シ本屆ニハ市町村長又ハ浦役人ノ證明書ヲ受ケレテ添フヘシ

- 一 本籍地
- 一 就職ノ場所及職名就職年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ就職ノ日ヨリ十四日以内ニ差出スヘシ就職トハ市町村長、助役、收入役又ハ法律ヲ以テ定メタル議會ノ議員トナリタルトキ等ヲ云フ

- 一 本籍地
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ本人犯罪失踪等ニ係ルトキ戸主若クハ家事ヲ擔當スル者ヨリ差出スヘシ若シ家族ナキモノハ市町村長ニ於テス

- 一 本籍地
- 一 召集令セラレタル年月日
- 一 召集ノ種類(充員、勤務演習、教育召集等)
- 一 召集不應(簡點呼不應)ノ事由
- 一 召集不應者ノ徵集年兵役、兵種、官等、兵名
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ落失セシヨリ七日以内ニ届出ツヘシ、自償金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルモ妨ケナシ

- 一 本籍地(寄留地ノモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 召集令セラレタル年月日
- 一 召集ノ種類(充員、勤務演習、教育召集等)
- 一 召集不應(簡點呼不應)ノ事由
- 一 召集不應者ノ徵集年兵役、兵種、官等、兵名
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ本人犯罪失踪等ニ係ルトキ戸主若クハ家事ヲ擔當スル者ヨリ差出スヘシ若シ家族ナキモノハ市町村長ニ於テス

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ傷疾疾病等ノ爲メ令狀受領後二十四時間以内ニ市町村戸長ニ差出シ其他ノ召集ニ在リテハ入隊期日迄ニ聯隊區司令部ニ到着スル如ク差出スヘシ(傷疾疾病ノトキハ醫師ノ診断書ヲ添付スヘシ)

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 簡點呼執行月日
- 一 聯合シ能ハサル事由
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ落失セシヨリ七日以内ニ届出ツヘシ、自償金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルモ妨ケナシ

- 一 本籍地(寄留地ノモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 召集令セラレタル年月日
- 一 召集ノ種類(充員、勤務演習、教育召集等)
- 一 召集不應(簡點呼不應)ノ事由
- 一 召集不應者ノ徵集年兵役、兵種、官等、兵名
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ落失セシヨリ七日以内ニ届出ツヘシ、自償金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルモ妨ケナシ

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ落失セシヨリ七日以内ニ届出ツヘシ、自償金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルモ妨ケナシ

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也

注意 此屆書ハ落失セシヨリ七日以内ニ届出ツヘシ、自償金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルモ妨ケナシ

- 一 本籍地(寄留地ニ於テ許可ヲ受ケタルモノハ寄留地ニ記入ヲ要ス)
- 一 就職年月日
- 一 就職中ノ場所及職名退職(免職)年月日
- 一 徵集年
- 一 右御届仕候也







何年何月何日何縣何郡(市)何町(村)長(助役) (收入役) (何何諸員) 在職離任候處今般(何何)ニヨリ何月何日退職致候間此段御届仕候也

何縣何郡(市)何町(村)何番地 横須賀鎮守府兵事官宛 豫(後)備役(官職) 姓名

注意 原籍地町村役場及郡市役所經由ノ事 死亡御届 (服役條例第三十六條) 豫(後)備役(官職) 姓名

右者明治何年何月何日何病ニテ(或ハ何何ニヨリ)死亡致候間此段御届仕候也

何縣何郡(市)何町(村)何番地 右實父(母)(兄) 姓名

横須賀鎮守府兵事官宛 注意 應召地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 失跡御届 (前同條) 豫(後)備役(官職) 姓名

右之者明治何年何月何日無斷家出(或ハ何何)致候儘歸宅不致踪跡不明ニ有之候間此段御届仕候也

明治何年何月何日 何縣何郡(市)何町(村)何番地 右戸主 姓名

横須賀鎮守府兵事官宛 注意 應召地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 行衛(所在)不明御届 (前同條) 豫(後)備役(官職) 姓名

右之者明治何年何月何日漁業出稼中暴風ノ爲メ船體覆没(或ハ何何)行衛不明ニ付此段御届仕候也

明治何年何月何日 何縣何郡(市)何町(村)何番地 横須賀鎮守府兵事官宛 豫(後)備役(官職) 姓名

注意 元在籍地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 結婚許可ノ時 何年何月何日 原籍地 何縣何郡(市)何町(村)何番地 豫(後)備役(官職) 姓名

右者今般何縣何郡(市)何町(村)何番地何某方(何某子(入夫)縁組致候間戸籍原本相添へ此段御届仕候也

今般何縣何郡(市)何町(村)何番地へ分家致候間戸籍原本相添へ此段御届仕候也

横須賀鎮守府兵事官宛 注意 元在籍地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 結婚許可ノ時 何年何月何日 原籍地 何縣何郡(市)何町(村)何番地 豫(後)備役(官職) 姓名

右者今般何縣何郡(市)何町(村)何番地何某方(何某子(入夫)縁組致候間戸籍原本相添へ此段御届仕候也

何縣何郡(市)何町(村)何番地 横須賀鎮守府兵事官宛 豫(後)備役(官職) 姓名

注意 元在籍地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 結婚許可ノ時 何年何月何日 原籍地 何縣何郡(市)何町(村)何番地 豫(後)備役(官職) 姓名

右者今般何縣何郡(市)何町(村)何番地何某方(何某子(入夫)縁組致候間戸籍原本相添へ此段御届仕候也

何縣何郡(市)何町(村)何番地 横須賀鎮守府兵事官宛 豫(後)備役(官職) 姓名

注意 元在籍地ノ町村役場及郡市役所經由ノ事 結婚許可ノ時 何年何月何日 原籍地 何縣何郡(市)何町(村)何番地 豫(後)備役(官職) 姓名

右者今般何縣何郡(市)何町(村)何番地何某方(何某子(入夫)縁組致候間戸籍原本相添へ此段御届仕候也

體覆没(或ハ何何)行衛不明ニ付此段御届仕候也 明治何年何月何日 何縣何郡(市)何町(村)何番地 横須賀鎮守府兵事官宛 豫(後)備役(官職) 姓名

Table with columns for 兵種 (兵種), 在籍地 (在籍地), 現住所 (現住所), 氏名 (氏名), 出生年月日 (出生年月日). Includes detailed regulations for military service and conscription.

○明治三十年五月十九日訓第七號(內務部郡區役所宛)  
兵事事務ノ一時期スルニ毎年一回以上兵事擔任ノ郡區書記ヲ札帳ニ會  
同セシメ兵事會ヲ開クヘシ  
但シ兵事會ニハ當廳兵事擔任ノ課長及課員ヲモ會同セシム  
○明治三十三年四月二十一日訓第二百四十四號(支廳警察署宛)  
管内支廳ハ戶長役場警察署ハ警察分署以下ニ於ケル兵事事務ヲ毎年四月  
ヨリ九月迄ノ間ニ於テ左ノ各項ニ就キ檢閱監査シ又ハ主任者ヲシテ檢査セ  
シメ速ニ其狀況ヲ詳具報告スヘシ  
支廳ニ對スル明治三十二年(三月)當廳訓第六十五號ハ廢ス  
陸軍召集事務ノ整否  
馬匹徵發事務ノ整否  
海軍召集事務ノ整否  
前各號ノ外諸般ノ兵事事務ニ關スル整否(警察署ハ之ヲ要セス)  
○明治二十七年八月八日訓第二百三十八號(郡區役所宛)  
今般別紙陸軍第七十九號ノ通り陸軍士官適任證書付與規則ヲ候ニ付  
同則第五條ニ該當シ士官適任證書ヲ返還セシムヘキ事項ニ關シ陸軍官憲ヨ  
リ調査ノ要求アルトキハ島前郡區長サシテ其求メニ應ジシムヘキ旨陸軍大  
臣ヨリ達セラレ候條此旨心得ヘシ  
(別紙)

陸軍第七十九號  
陸軍士官適任證書付與規則別紙ノ通定メラル  
但明治十四年送乙第千二百八十二號士官適任證書付與規則ヲ廢ス  
明治二十七年七月十七日  
陸軍大臣伯耆大山 殿

陸軍士官適任證書付與規則  
第一條 士官適任證書ハ各兵科特務曹長及曹長ニシテ豫備將校ノ任ニ堪ユ  
ヘキ材幹ヲ具有シ品行方正勤務勤勵ノ者ニ付與ス  
第二條 第一條ニ該當スルモノアルトキハ現役滿期前附ニ在テハ聯隊長  
(聯隊長ヲササリ聯隊長ニ在テハ聯隊長以下同シ)隊外ニ在テハ聯隊長同等  
以上ノ長官考科表寫ヲ添ヘ順序ヲ經テ師團長又ハ之ノ同等以上ノ權アル  
長官ニ適任證書付與ノ認可ヲ請フヘシ  
第三條 士官適任證書ハ各所管ニ於テ離形ノ如ク調製シ現役滿期ノ際聯隊  
長又ハ聯隊長同等以上ノ長官ヨリ本人ニ付與スヘシ  
第四條 士官適任證書ヲ付與セシトキハ其人名書ニ考科表寫ヲ添ヘ順序ヲ  
經テ陸軍大臣ニ報告スヘシ  
第五條 士官適任證書ヲ所持スルモノニシテ豫備將校ト爲ルヘキ品位ヲ廢  
フモノト認ムルトキ又ハ家實分散若クハ破産ノ宣告ヲ受ケ若クハ禁錮以

○明治三十年三月十六日訓第三十六號(郡區役所  
宛)  
(別紙)

陸海軍現役豫備役後備役軍人及補充兵國民兵諸生ニ報告スヘシ  
徒ノ人員ヲ調査シ別紙書式ニ依リ毎年五月十日迄ニ

(別紙)

明治何年陸海軍人員表

四月三十日調 何郡(區)役所

區分	陸							種別	郡區名	何郡區	何郡	何郡	何郡	何郡	計
	現役	豫備	後備	國民兵 兵編入志願許可者	第一補充兵	第二補充兵	第一國民兵								
	將校	同	同	同	同	同	同	將校	同	同	同	同	同	同	同
	兵卒	同	同	同	同	同	同	兵卒	同	同	同	同	同	同	同
	將校	同	同	同	同	同	同	將校	同	同	同	同	同	同	同
	兵卒	同	同	同	同	同	同	兵卒	同	同	同	同	同	同	同
	計	同	同	同	同	同	同	計	同	同	同	同	同	同	同

第四類 兵事 雜

五二

五二〇

上ノ利ニ處セラレタルトキハ師團長又ハ屯田兵司令官其證書ノ返還ヲ命  
シ陸軍大臣ニ報告スヘシ  
第六條 陸軍士官適任證書ヲ所持スル者死亡シ又ハ同證書ヲ有スル曹長ニシテ  
傷疾疾病等ニ依リ兵役ヲ免シタルモノアルトキハ師團長又ハ屯田兵司令  
官ヨリ陸軍大臣ニ報告スヘシ  
第七條 本規則ハ士官ノ戰時補充ニ缺員アル間之ヲ施行ス  
用紙爲ノ子紙 七寸八分 五寸六分

第何號  
士官適任證書  
府縣裁察  
何兵科特務曹長(曹長)位動姓名  
何兵科士官適任ノ者ト認定  
明治何年何月何日  
職官位動姓名  
印